

# 岡山県院内がん登録報告書

2019年版

2022年3月

発行：岡山県がん診療連携協議会事務局（岡山大学病院）

写真提供：岡山県観光連盟



# 目 次

はじめに .....	2
岡山県院内がん登録の概況 .....	3
2018年岡山県院内がん登録集計対象等 .....	5
参加施設（13施設）・担当者 .....	6
岡山大学病院 .....	8
岡山済生会総合病院 .....	11
岡山赤十字病院 .....	14
岡山医療センター .....	17
倉敷中央病院 .....	20
川崎医科大学附属病院 .....	23
津山中央病院 .....	26
金田病院 .....	29
高梁中央病院 .....	32
岡山労災病院 .....	35
岡山市立市民病院 .....	38
川崎医科大学総合医療センター .....	41
倉敷成人病センター .....	44
岡山県院内がん登録 初回治療数 集計結果 .....	48
胃 .....	60
大腸 .....	66
肝臓 .....	72
肺 .....	78
乳房 .....	84
膵臓 .....	90
子宮（頸部） .....	94
子宮（体部） .....	98
前立腺 .....	102
血液腫瘍 .....	106
小児・AYA世代 .....	112
希少がん .....	116
（奥付）	

# はじめに

今年度の岡山県院内がん登録集計報告書（2019年版）を上梓致します。今年度版でも昨年に続いて希少がん、小児がん、AYA（Adolescent and Young Adult）世代のがん、そして居住地と治療場所の関係にも注目して集計を行っております。本報告書上梓の時点では世界的なオミクロン株感染の増加によるCOVID-19の第6波がピークを迎えており、岡山県でも病床ひっ迫によってがん診療に支障が生じております。のみならず、県民自身による行動制限からがん検診の受診控えも生じ、早期がん発見数の減少が懸念されています。今回の集計には含まれておりませんが、直近の院内がん登録のデータをみると5大がんの新規診断数減少に比して希少がんの診断数の顕著な減少傾向が窺われます。また、以前の集計では希少がん患者が居住地域を超えて遠隔の high volume center で診療を受けている実態があり、COVID-19のパンデミックにより遠隔地の受診が困難となっている状況が窺われます。これらのがん死亡への影響が判明するにはまだまだ時間が必要ですが、今後のがん登録集計がいずれ訪れるであろう次のパンデミックへの備えに資することを祈念いたしております。

岡山大学病院腫瘍センター

センター長 田端 雅弘

# 岡山県院内がん登録の概況

## 【全体の動向】

2019年の全登録数は18,227件、うち初回治療数は14,580件と、2018年の全登録数17,786件より、441件増加しています。

## 【初回治療：全体の動向】

部位別でみると、全体では大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、血液腫瘍の順に多く、男性では肺がん、大腸がん、胃がん、前立腺がん、血液腫瘍の順、女性では乳がん、大腸がん、肺がん、子宮がん（頸部）、胃がんの順と、順位が異なってきます。

年齢階級別にみると、男女ともに70 - 74歳の年齢階級でがんの初回治療数が最も多く、また初回治療数全体の約80%を60歳以上の登録数が占めており、高齢化に伴って今後もがん患者の増加が予想されます。

男性では、初回治療を受ける方は、多くのがんで70 - 79歳の年齢階級で多く、肺がん、大腸がん、胃がん、前立腺がん、血液腫瘍においては70 - 79歳の年齢階級で4割弱から5割程度にのびります。一方、女性では、がんによりばらつきがありますが、多くのがんでは70 - 79歳の年齢階級で初回治療を受ける方が多くなります。乳がんは70 - 79歳、子宮がん（頸部）は30 - 39歳、子宮がん（体部）は50 - 59歳、卵巣がんは40 - 79歳と、女性特有の発生分布を呈しており、それを考慮した予防や検診が必要になってくると考えられます。

希少がん（表4に定義）は1,117件で全体の7.7%、小児がん（15歳未満）は52件で全体の0.4%となっています。

二次保健医療圏別にみると、県南東部・県南西部保健医療圏で約77%の登録があります。どの圏域でも、上位4種類のがん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳房がん）の2割から3割程度が、がん検診・健康診断・人間ドックによって発見されています。

## 【初回治療：がん種別の動向】

30頁からは、がんそれぞれの記述が紹介されています。

胃がんは、男性は70 - 74歳で発見される方が最も多く、女性は75 - 79歳で発見される方が多くなっています。I期に発見される方が65.8%を占めており、がん検診・健康診断・人間ドックで発見される割合は24.6%となっています。

大腸がんは、男女とも65 - 69歳を境に発症数が急速に増加します。大腸がんでは、胃がんとは対照的に、Ⅲ期以上の進行がんで発見される割合が増え、早期発見・早期治療が大きな課題となっています。胃がんと同様に19.5%の患者が、がん検診・健康診断・人間ドックで発見されています。

肝臓がんは、男性では75 - 79歳に、女性では75 - 84歳に発見のピークがあります。全体の74.5%が他疾患経過観察中に偶然発見され、その37.9%がⅡ期以上のがんであることから、肝機能障害を有するなどのハイリスク高齢者の一般診療においては、定期的な検査が望まれます。

肺がんは、男女とも70 - 74歳で発見される方が最も多くなっています。がん検診等で発見される患者の74.6%が早期がん（0期・Ⅰ期・Ⅱ期）で発見されていますが、有症状受診等では76.8%がⅢ期以上の

進行がんとなっています。

乳がんは40歳から急増し、45 - 49歳と70 - 74歳に発見のピークがあります。がん検診等で31.4%が発見されており、他のがんよりは多くなっています。がん検診等では78.6%が0期又はI期で発見されていますが、有症状受診等では18.3%がⅢ期以上の進行がんとなっています。

膵臓がんは、男女とも60歳から増え始め、発見時Ⅲ期以上の進行がんが半数近くを占め、早期発見が困難となっています。がん検診等で発見される患者は7.5%しかおらず、有症状受診等では63.1%がⅢ期以上の進行がんとなっています。

子宮がん(頸部)は、患者のほとんどが25歳から50歳代となっています。がん検診等で発見される割合は、35.6%で他のがんよりは多く、その95.7%が0期又はI期での発見となっています。有症状受診等での発見では42.3%がⅡ期以上のがんとなっています。

子宮がん(体部)は、50 - 54歳で発見される方が最も多くなっています。I期に発見される患者が76.8%を占めており、がん検診等で発見される割合は8.8%となっています。

前立腺がんは、70 - 74歳で発見される方が最も多くなっています。I期に発見される患者が46.8%を占めており、がん検診等で発見される割合は28.7%となっています。

小児・AYA世代のがんとしては、20歳までは男女差はありませんが、20歳代前半より徐々に発見数に差が出てきます。20歳代後半より子宮がん(頸部)が増加し、女性のがんの発見が増加しています。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野

教授 頼藤 貴志

# 2019年岡山県院内がん登録集計対象等

## ○参加施設（13施設）

### がん診療連携拠点病院（7施設）

- ・岡山大学病院
- ・社会福祉法人 恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院
- ・総合病院 岡山赤十字病院
- ・独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター
- ・公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
- ・学校法人 川崎学園 川崎医科大学附属病院
- ・一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

### 地域がん診療病院（2施設）

- ・社会医療法人 緑社会 金田病院
- ・医療法人 清梁会 高梁中央病院

### がん診療連携推進病院（4施設）

- ・独立行政法人 労働者健康安全機構 岡山労災病院
- ・地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院
- ・学校法人 川崎学園 川崎医科大学総合医療センター
- ・一般財団法人 倉敷成人病センター

## ○集計対象期間は診断日が2019年1月1日～2019年12月31日までの症例

## ○集計対象症例は「国際疾病分類-腫瘍学 第3版（ICD-O-3）」において性状コード2（上皮性悪性腫瘍）もしくは性状コード3（悪性腫瘍）の症例（例外として脳・中枢神経系腫瘍の性状コード0（良性）と性状コード1（良悪性の別不詳）の症例と胃腸間質腫瘍（GIST）の性状コード0（良性）と性状コード1（良悪性の別不詳）の症例、一部の卵巣腫瘍の性状コード1の症例）

## ○UICC「TNM 悪性腫瘍分類 第8版」を適用

UICC 病期分類が存在しない部位や取り扱われない組織型のステージは「該当せず」で登録

## ○施設における対象症例は入院・外来を問わず自施設における新規初回症例もしくは初診症例で、初発・再発例ともに含まれるが、登録済みの症例について経過観察中に再発を来した症例は登録対象とはならない

## ○原則、1腫瘍1登録、多重がんの判断は国立がんセンターの登録ルールに基づき登録

## ○同一患者が複数の施設を受診し、それぞれの施設で重複登録された症例では集計参加施設のがん診療情報を明らかにするため名寄せは行わず、各施設で計上

## ○小児がんについては、診断時年齢15歳未満、AYA世代については15歳から39歳に発生した上記条件の悪性および良性の新生物で集計

## ○希少がんについては、我が国において明確な定義はなく、本報告書ではヨーロッパの定義をもとに56ページにあげられている症例を集計

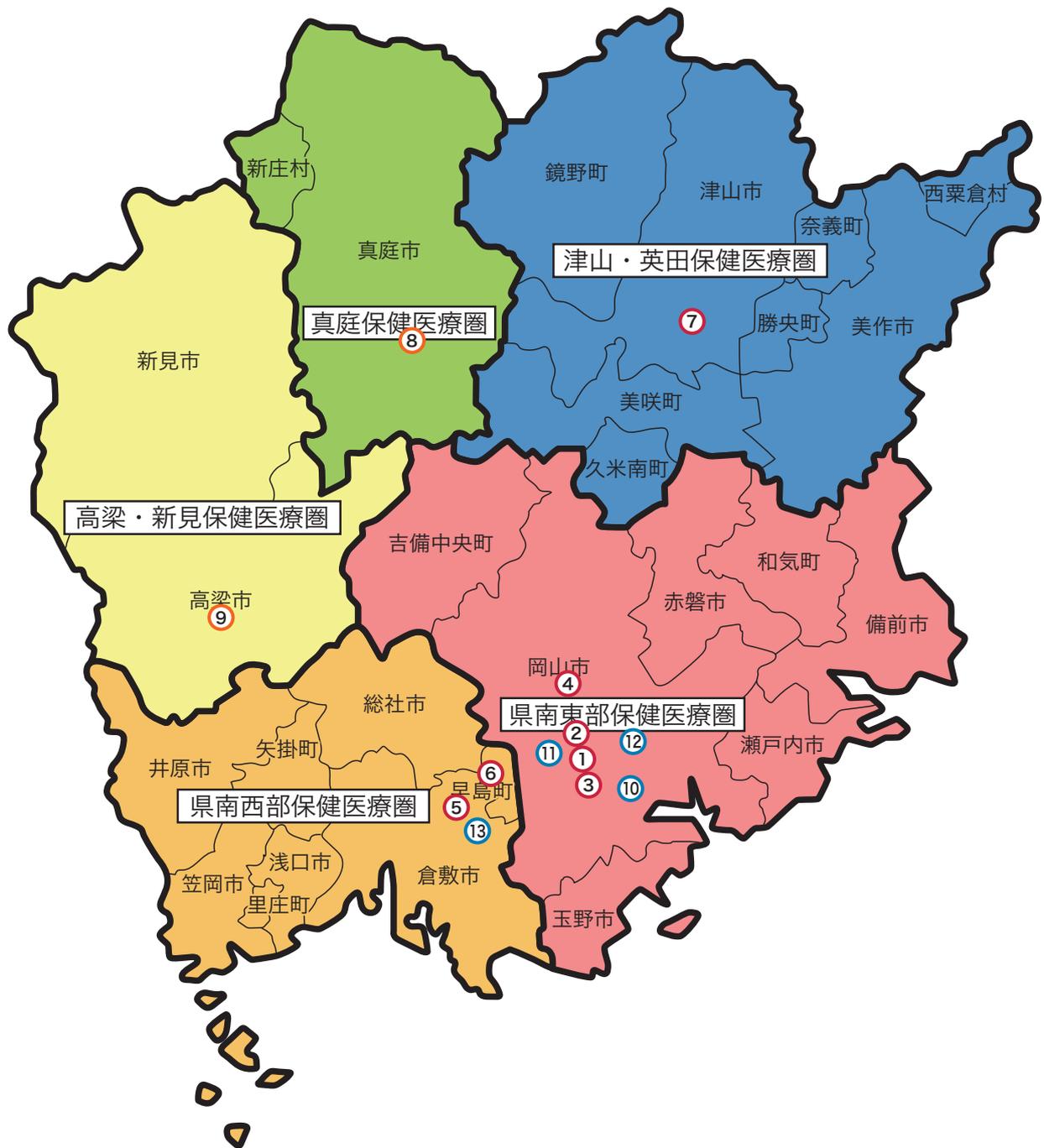
## ○表の中で10未満の数値については「1～3、4～6、7～9」で表記

## 参考

国立がん研究センター がん情報サービス

[http://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/brochure/hosp\\_c\\_registry.html](http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_registry.html)

## 参加施設（13 施設）・担当者



## 地域がん診療病院（2 施設）

- ⑧ 社会医療法人 緑社会 金田病院  
海野正俊 田澤利政 長田寛子 高田真奈美
- ⑨ 医療法人 清梁会 高梁中央病院  
滝澤宏和

## がん診療連携拠点病院（7施設）

---

### ① 岡山大学病院

田端雅弘 郷原英夫 榎本剛 瀬浪尚子 上原亜希 大塚理可 杉野理紗子  
大木康佑 中谷正美 貝原沙紀

### ② 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院

赤在義浩 塩出純二 高畑隆臣 近藤裕香

### ③ 岡山赤十字病院

藤井総一郎 別所昭宏 小田美恵 田中裕子

### ④ 独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター

米井敏郎 藤原慶一 倭ゆかり 戸村悦子

### ⑤ 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

河本和幸 岡部道雄 山部幸子 長久倫子 成友麻紀 木村郁美  
白根澤沙由里 諸上加代子 高木春奈 伊藤友美

### ⑥ 学校法人 川崎学園 川崎医科大学附属病院

中田昌男 上野富雄 山口佳之 湯浅加奈子 小西和子 浅雄真由美  
白川愛未 岡崎綾乃

### ⑦ 一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

林同輔 宮島孝直 野中泰幸 富岡貴美男 出原雄太 小西祐太

## がん診療連携推進病院（4施設）

---

### ⑩ 独立行政法人 労働者健康安全機構 岡山労災病院

古澤卓也 原修宙 山本瑞穂

### ⑪ 地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院

能祖一裕 西村守 佃和憲 山本和彦 木村雅一 田尾友哉

### ⑫ 学校法人 川崎学園 川崎医科大学総合医療センター

岸野由紀子

### ⑬ 一般財団法人 倉敷成人病センター

松本なみ 瀬戸渚

## 岡山大学病院

基本情報	
病院名	岡山大学病院
所在地	〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1
電話(代表)	086-223-7151
ホームページ	<a href="https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/">https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/</a>
交通アクセス	岡山駅より車で5～10分、バスで約10分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科※1	総合内科・総合診療科、消化器内科、血液・腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、腎臓・糖尿病・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、循環器内科、脳神経内科、感染症内科、消化管外科、肝・胆・膵外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌内科、泌尿器科、心臓血管外科、小児外科、小児心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科神経科、脳神経外科、麻酔科蘇生科、小児科、小児循環器科、小児神経科、小児血液・腫瘍科、小児麻酔科、小児放射線科、小児心身医療科、産婦人科、放射線科、救命救急科、病理診断科、緩和支援医療科、臨床遺伝子診療科、歯科 総合歯科部門 / 保存歯科部門 / 歯周科部門 / 口腔インプラント科部門 / 補綴科部門 / 予防歯科部門 / 歯科放射線科部門 / 歯科麻酔科部門、口腔外科 顎口腔再建外科部門 / 口腔顎顔面外科部門、矯正歯科、小児歯科 合計 50 診療科		
病床数※1	853 床	平均在院日数※2	11.1 日
入院患者延べ数※3	204,795 人	外来患者延べ数※4	509,221 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者 5 名 (中級者 2 名、初級者 3 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数



1870

OKAYAMA  
UNIVERSITY  
HOSPITAL





岡山大学病院 病院長  
前田 嘉信

### 1. がん診療連携拠点病院としての基本方針

岡山大学病院は平成18年8月に厚生労働大臣より岡山県の「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定され、地域における質の高いがん医療体制の整備、地域医療機関との診療連携の推進、がん患者と家族に対する相談支援及び情報提供に取り組んで参りました。

岡山大学病院の理念は、「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人材を育て、社会・地域の持続的な健康増進に貢献する」です。当院は、1870（明治3）年の岡山藩医学館大病院が開設して以来、150年を超える長い歴史と伝統を受け継いできた病院ですが、私達は、これまでも、そしてこれからも患者さんに最適な医療を届けたいと考えています。

### 2. がん診療・治療の特徴

本院は臓器移植、小児心臓外科、幹細胞移植などの高度先進医療の推進、遺伝子細胞治療などの先端的治療の開発において、全国で最も進んだ施設です。今後も新しい医療の開発を続け、他の施設ではみられない先進的な医療を創造し、実践を進めるために、本院ではさまざまなセンターを立ち上げております。腫瘍センター、乳がん治療・再建センター、頭頸部がんセンター、臓器移植医療センター、ゲノム医療総合推進センターを始めとする大学病院のユニークな診療科連携を活かした集学的チーム治療を提供するとともに、サルコーマセンター、メラノーマセンター、小児医療センターでは希少がんに対しても大学病院ならではの特性を活かした、わかりやすく高度な医療を提供したいと存じます。

### 3. 今後の課題と展望

岡山大学病院はがんの個別化医療、遺伝子細胞治療、臓器・幹細胞移植などの高度先進医療を進めるとともに、がんゲノム医療を担う専門医療人の育成に努めます。さらに、中国四国地方で唯一の厚生労働省の臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院として、日本発の革新的な医薬品・医療機器等及び医療技術の開発を創出する体制の構築を目指します。

取り組みのひとつとしては、新たながん遺伝子パネル検査に関する厚生労働省・先進医療技術【先進医療B】研究として、「国内完結型個別化医療に向けたマルチプレックス遺伝子パネル検査研究」が厚生労働省より承認され、2020年12月1日より、岡山大学病院が全国で初めて実施し、進めております。

これまで、がん遺伝子パネル検査は2種類ありましたが、がんの種類によっては十分な遺伝子が調べられないこともありました。今回承認された検査(TSO500)では、対象となる遺伝子の数がこれまでより多くなり、内科的・外科的治療の対象がなくなった患者さんにも治療法が見つかる可能性が高くなることが期待されます。

また、遺伝性の骨・軟部腫瘍の患者さんを診療する専門外来を2021年9月6日に全国で初めて開設しました。本外来では、骨・軟部腫瘍を専門とした遺伝性骨・軟部腫瘍を専門とする医師と認定遺伝カウンセラーにより、患者さんとその家族に疾患に関する適切な情報を提供します。当外来により、がんの早期診断・早期治療が可能となれば、死亡リスクの低減も期待されます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

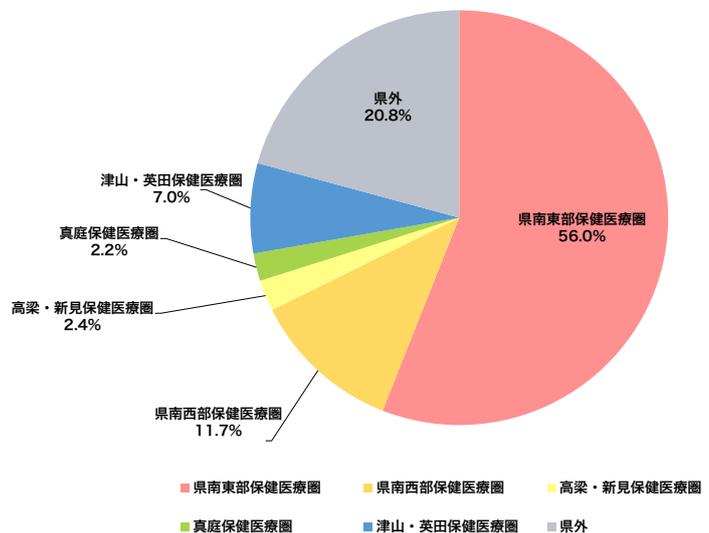
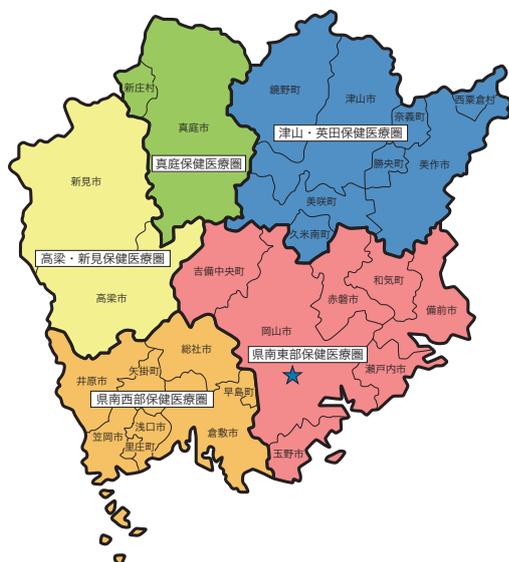
医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,949	56.0%	岡山市北区	541
			岡山市中区	299
			岡山市南区	342
			岡山市東区	259
			玉野市	157
			備前市	102
			瀬戸内市	102
			赤磐市	108
			和気郡和気町	29
			加賀郡吉備中央町	10
県南西部保健医療圏	407	11.7%	倉敷市	245
			笠岡市	28
			井原市	37
			総社市	50
			浅口市	21
			都窪郡早島町	12
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	11
			高梁・新見保健医療圏	84
			新見市	40
真庭保健医療圏	75	2.2%	真庭市	72
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	244	7.0%	津山市	126
			美作市	44
			苫田郡鏡野町	19
			勝田郡勝央町	10
			勝田郡奈義町	7~9
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	7~9
			久米郡美咲町	29
県外	723	20.8%		723
			合計	3,482

担当医療圏

担当医療圏  
岡山県全域

県内患者住所の割合  
79.2%

県外患者住所の割合  
20.8%



## 岡山済生会総合病院

基本情報	
病院名	岡山済生会総合病院
所在地	〒700-8511 岡山県岡山市北区国体町2番25号
電話(代表)	086-252-2211
ホームページ	<a href="http://www.okayamasaiseikai.or.jp/">http://www.okayamasaiseikai.or.jp/</a>
交通アクセス	岡山駅(運動公園口)より北に徒歩9分、岡山インターチェンジより国道53号を岡山方面へ約15分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、食道外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、美容外科、心療内科、精神科、神経内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、緩和ケア内科 合計 35 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	473 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	10.7 日 (緩和ケア内科除く)
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	125,089 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	31,505 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 1 名 (中級者 1 名 初級者 0 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数



岡山済生会総合病院 院長  
塩出 純二

私たちの岡山済生会総合病院は今年で創立 83 年ですが、50 年以上前から特に消化器疾患については数多く診療してきた経緯があり、2002 年に県下で初めて「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。今回、2019 年の院内がん登録の部位別症例数を見ますと、大腸がん、胃がんがそれぞれ 373 例、250 例と突出して多く、肝臓がん 105 例、胆のう・胆管がん 38 例、膵臓がん 97 例も多いことが示されていますが、消化器がん全体として多いのが当院の特色と言えます。

次に多いのが肺がん 178 例、乳がん 132 例、子宮がん 80 例で、これらは近年増加傾向にあります。がん発見経緯別では、当院関連の健診センターからは 15 - 16% 程度で、診療所・病院の先生方からのご紹介と他疾患経過観察中の発見が大多数を占めています。

診断・治療については、それぞれの診療科のカンファレンスはもちろん、複数科による合同カンファレンスあるいはカンサーボードで治療方針を決定しています。そして治療後の検討会も定期的に行っています。また、がん化学療法センターや放射線治療センターなどでは複数の専門医だけでなく、薬剤師や認定看護師などメディカルスタッフも加わってチーム医療を実践しています。ロボット支援手術は 2019 年 10 月直腸がんで導入し、2020 年に前立腺がん膵臓がん、2021 年には肺がんも開始しました。もはや「最新治療」ではなく「標準治療」になりつつあるようです。ステージ別生存率では、特に大腸がんについて全国の症例数の多い病院と同等の数値を示していますが、当院の平均年齢が 3 歳以上高いことを勘案すれば良好な治療成績であると言えます。

緩和医療については、1998 年に中四国の総合病院として初めて緩和ケア病棟を開設し、独立した緩和ケア科を設置しています。緩和ケアチームによる一般病棟の入院患者の治療介入や退院後の在宅支援も行っています。また、がん相談支援センターでは年間約 1,000 件の相談を受けています。このほか、がんサロン、家族会、遺族会の開催や就労支援なども行っています。

このように当院のがん診療は、早期発見のための検診、診断および治療、緩和医療、そして患者家族のケアまで全過程を通して行うことを目指し、それに多職種で関わるようにしています。今後の課題としては、がん発症のハイリスク因子を考えた効率的な検診と確実な精密検査を行い早期発見に努めることが重要と考えています。また、がんゲノム医療についての準備も継続して行います。

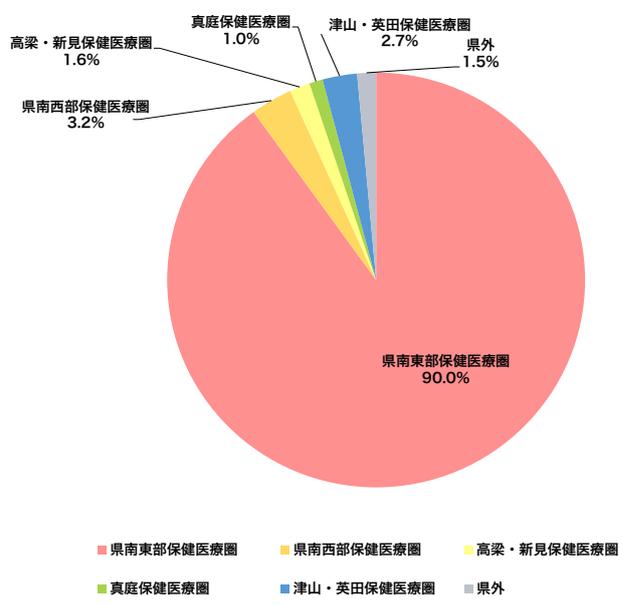
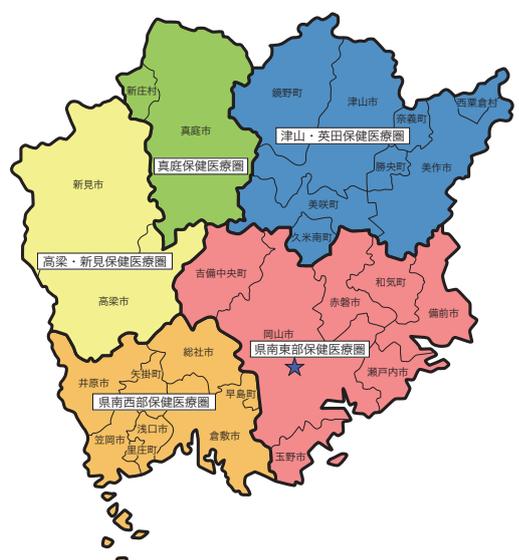
職員一同、「地域から信頼される病院であり続ける」ことをビジョンに掲げて頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,481	90.0%	岡山市北区	708
			岡山市中区	304
			岡山市南区	62
			岡山市東区	119
			玉野市	16
			備前市	65
			瀬戸内市	54
			赤磐市	106
			和気郡和気町	38
			加賀郡吉備中央町	7~9
県南西部保健医療圏	53	3.2%	倉敷市	22
			笠岡市	1~3
			井原市	1~3
			総社市	21
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	1~3
			高梁・新見保健医療圏	26
			新見市	12
真庭保健医療圏	17	1.0%	真庭市	17
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	44	2.7%	津山市	15
			美作市	7~9
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	1~3
			久米郡久米南町	10
			久米郡美咲町	4~6
県外	24	1.5%		
			合計	1,645

担当医療圏

担当医療圏  
 県南東部保健医療圏  
 担当医療圏内における  
 患者住所の割合  
 90.0%  
 県内担当医療圏外の割合  
 8.5%  
 県外患者住所の割合  
 1.5%



# 岡山赤十字病院

基本情報	
病院名	岡山赤十字病院
所在地	〒700-8607 岡山県岡山市北区青江 2-1-1
電話(代表)	086-222-8811
ホームページ	<a href="https://www.okayama-med.jrc.or.jp/">https://www.okayama-med.jrc.or.jp/</a>
交通アクセス	岡山駅より車で約 15 分、バスで約 20 分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	総合内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、肝臓内科、腎臓内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、緩和ケア科、膠原病・リウマチ内科、脳卒中科、精神神経科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ関節外科、脳神経外科、脳血管治療外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、形成外科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック科、歯科、救急科、病理診断科 合計 36 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	500 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	11.0 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	136,399 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	248,746 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 4 名 (中級者 2 名 初級者 2 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数 ÷ [(新入院患者数 + 退院患者数) × 0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数



岡山赤十字病院 院長  
辻 尚 志

#### 地域がん診療連携拠点病院としての基本方針

岡山赤十字病院は、全国に91か所ある日本赤十字社グループ病院のうちのひとつです。

基幹災害拠点病院、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院という3本柱に加え、患者さんのニーズに合わせて、さまざまな疾患・症状に対応できるよう、36の診療科を構えて病院機能の充実を図っています。また、全職員が優良な医療人となるべく、人材育成にも力を注いでいます。

さらに、がん検診にも力を入れており、早期発見・早期治療を目標にしていますが、進行がんの患者さんに対しても、寄り添い、患者さんにとっての最適な治療を提供することを心がけています。

これからも、「信頼され親しまれる病院に」をモットーに、地域の『マザーホスピタル』として愛と心が通う医療を提供していきます。

#### がん診療・治療の特徴

##### ●患者さんの治療も生活も支援できる体制づくり

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、がん診療においては、高度な医療の提供と共に、チーム医療によるがん診療の充実と患者さんのトータルケアを目指します。

院内にはがんセンターを設置しており、遺伝子検査を含めた正確な組織診断とエビデンスに基づいて、質が高く、そして個々の患者さんに合った最適な治療を行っています。

また、令和3年よりがんゲノム医療連携病院に認定されましたので、中核病院の岡山大学病院と連携してがんゲノム医療の充実を目指します。

手術においては、体への負担が少ない鏡視下手術を積極的に行っており、ご高齢の方でも手術を受けることが可能です。合併症などの対応が難しい症例に対しても、36診療科の総合力で、必要に応じた積極的な治療を実施しています。

外来化学療法室では、患者さんが家庭や社会生活を維持しながら、QOLを損なうことなく治療に専念できる環境を整え、年間延べ件数4300件以上の治療を行っています。また放射線治療室ではリニアックも導入し、常勤の放射線治療医が、強度変調放射線治療（IMRT）、体幹部定位放射線治療（SBRT）なども実施し、約5400件の入院治療と、約3100件の外来治療を行っています。

独立型緩和ケア病棟では、緩和ケア専任の医師を中心に、看護師や薬剤師、栄養士やソーシャルワーカーなど、多職種で患者さんのサポートを行っています。がんの進行によって生じる体のつらさ、気持ちのつらさを和らげ、生きることを考える治療とケアを提供しています。また、地域の開業医との連携を大事に考え、患者さんが病院と家の行き来ができる関係を作っており、体調がつかない時には入院し、病状が落ち着いたら家に帰り、その時々体調に適した生活の場を一緒に考えていきます。暮らしやすい場所でその人らしく生きることを大事にして、地域住民のよりよい生活を支えていくことを使命と考えています。

そのほかにも院内では、患者さん向けの、「がんサロン」や「雑談・相談・勉強会」なども定期的に開催し、患者さん同士の交流や不安・疑問の解消に努めています。

さらに、患者さんやご家族が利用できる「がん相談支援センター」、「がん専用図書室」を設置するなど、がん診療だけでなく、がん患者さんの生活も支援できる体制を整えています。

#### 今後の課題と展望

がんで命を落とす人を少しでも減らすために、またウィズコロナ時代でも患者さんの不安が増すことのないようしっかりとしたコロナ対策に加えて、がん検診体制のさらなる充実と、住民への啓発活動を継続し、有効な新規治療も積極的に取り入れていきます。そして、仮にがんに罹患したとしても治療と仕事の両立に向けた支援をすべく、就労を含む療養環境の調整などに係る窓口の充実も重要と考えます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,219	95.0%	岡山市北区	188
			岡山市中区	124
			岡山市南区	416
			岡山市東区	137
			玉野市	187
			備前市	46
			瀬戸内市	99
			赤磐市	10
			和気郡和気町	7~9
			加賀郡吉備中央町	1~3
県南西部保健医療圏	17	1.3%	倉敷市	14
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	1~3
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
			高梁・新見保健医療圏	4~6
			新見市	0
真庭保健医療圏	1~3	0.2%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	4~6	0.4%	津山市	1~3
			美作市	1~3
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1~3
			県外	34
			合計	1,283

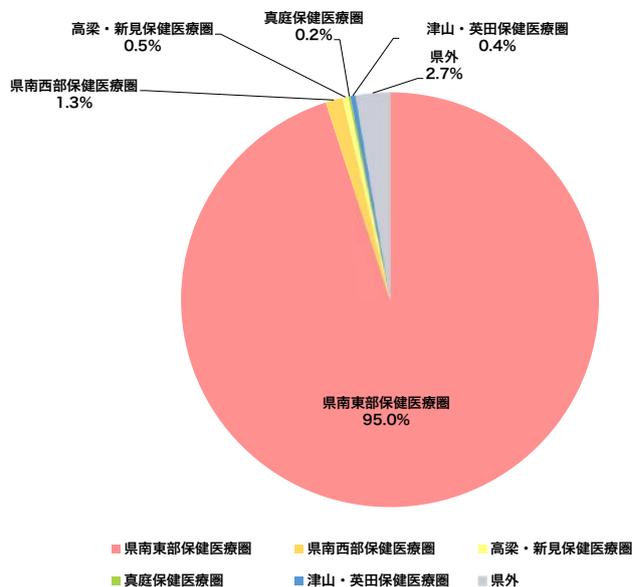
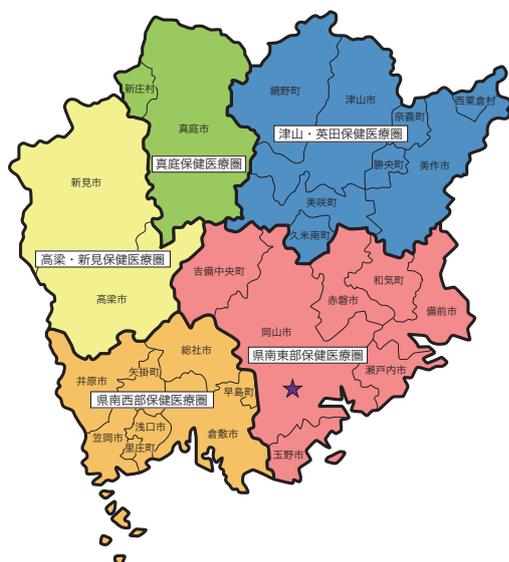
担当医療圏

担当医療圏  
 県南東部保健医療圏

担当医療圏内における  
 患者住所の割合  
**95.0%**

県内担当医療圏外の割合  
**2.3%**

県外患者住所の割合  
**2.7%**



## 岡山医療センター

基本情報	
病院名	岡山医療センター
所在地	〒701-1192 岡山県岡山市北区田益 1711-1
電話(代表)	086-294-9911
ホームページ	<a href="https://okayama.hosp.go.jp">https://okayama.hosp.go.jp</a>
交通アクセス	バスの場合、岡山駅より約25分 車の場合、山陽自動車道 岡山インターより約2分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科、感染症内科、救急科、リウマチ科、小児神経内科 合計 33 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	609 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	11.8 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	166,959 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	168,279 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 2 名 (中級者 2 名 初級者 0 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数





岡山医療センター 院長  
久保俊英

岡山医療センターは県南東部及び北部真庭保健医療圏の医療を支える、全33診療科を有する総合病院です。平成20年に「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、がん診療の均霑化を目標に地域におけるがん診療連携体制の構築、相談支援及び情報提供等に取り組んでいます。

当院では、がん専門医が多種多様な「がん」に対して先進的で高度な診療に取り組むのはもちろんのこと、泌尿器科では、これまで膀胱がんに対して小切開で行っていた膀胱全摘術を腹腔鏡下で行い、早期退院へとつなげています。呼吸器内科では悪性腫瘍に対する呼吸器インターベンションを行っており、がんによる気道狭窄に対するインターベンションとして、硬性鏡や気管支鏡を用いた「ステント」治療にも積極的です。また、消化器外科では腹腔鏡下手術がほぼ応用され、3D内視鏡システムによるハイレベルの手術手技を行っており、消化器内科とタイアップして難治の進行膵臓がんに対する術前化学療法への導入にも取り組んでいます。更に、皮膚科ではセンチネルリンパ節生検が可能です。今年度から新たに小児内科の専門医も迎え、今後は小児外科とタイアップして小児領域でのがん診療もさらに発展させていく予定です。

しかし、当院におけるがん診療の一番の特徴は、「がん診療を総合的に支える」の一言に尽きます。がん患者さんはがんを患っているだけでなく、多くの場合、循環器疾患や糖尿病など様々な疾患を併せて抱えています。そうした患者さんへのがん診療においては、専門的ながん診療だけでなく、様々な疾患を診療できる医療機関としての総合力が求められます。上述しましたように、当院は全33診療科を有する総合病院であり、総合病院の特長を生かして、各専門家が多種多様ながんに対して診療・治療を行うのはもちろん、がんの状態に応じて複数の診療科が協力し、がん診療・治療を行う万全の体制が整っています。また、がんに関連した身体的苦痛や精神的苦痛などの緩和を担い、がん患者さんに対しトータルな診療を提供できるよう努めている「緩和ケアチーム」が、各診療科を横断し活動しています。一般的ながんに関する相談については「がん相談支援センター」を設置しており、提供可能な地域医療連携施設の紹介や、がん患者さんやご家族の不安・悩みなどに対応しています。さらに、当院で診療を受けておられるがん患者さんやご家族を対象に、交流や情報交換をする場であるがんサロンとして、「ほのほのサロン」を開設しています。同じ病気を体験したがん患者さんやご家族などが、『仲間=ピア』として『体験を共有し、ともに考える』ことで支援していくピアサポートも開設しており、少しでもがん患者さんやご家族の不安感や孤独感など様々な思いが和らげられるよう努めています。

令和2年には岡山大学病院の協力病院として、がんゲノム医療連携病院の指定を受け、対象患者さんの数が飛躍的に伸びています。

今後も一層先進的ながん診療に取り組みつつも、当院の理念である「今、あなたに、信頼される病院」をモットーに全人的な診療に力を注いでいきたいと思っております。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	794	68.0%	岡山市北区	410
			岡山市中区	52
			岡山市南区	32
			岡山市東区	33
			玉野市	1~3
			備前市	46
			瀬戸内市	20
			赤磐市	91
			和気郡和気町	44
			加賀郡吉備中央町	63
県南西部保健医療圏	39	3.3%	倉敷市	13
			笠岡市	4~6
			井原市	0
			総社市	12
			浅口市	4~6
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	1~3
			高梁・新見保健医療圏	30
新見市	23			
真庭保健医療圏	68	5.8%	真庭市	67
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	189	16.2%	津山市	91
			美作市	33
			苫田郡鏡野町	7~9
			勝田郡勝央町	4~6
			勝田郡奈義町	4~6
			英田郡西粟倉村	1~3
			久米郡久米南町	21
			久米郡美咲町	24
			県外	47
			合計	1,167

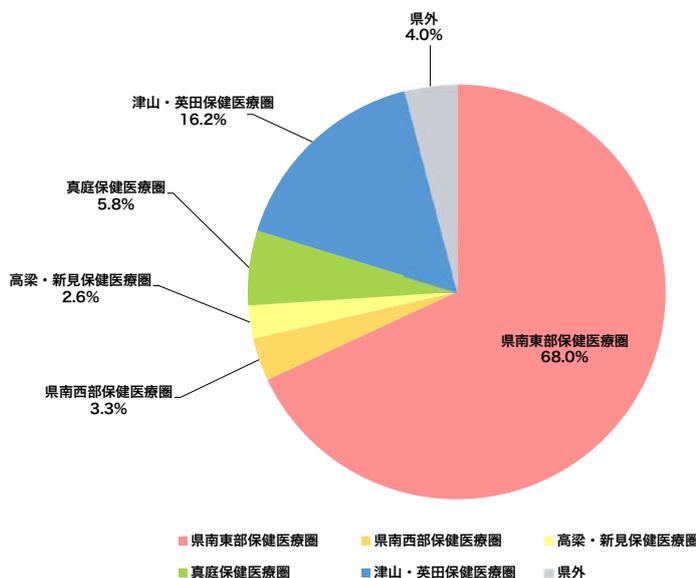
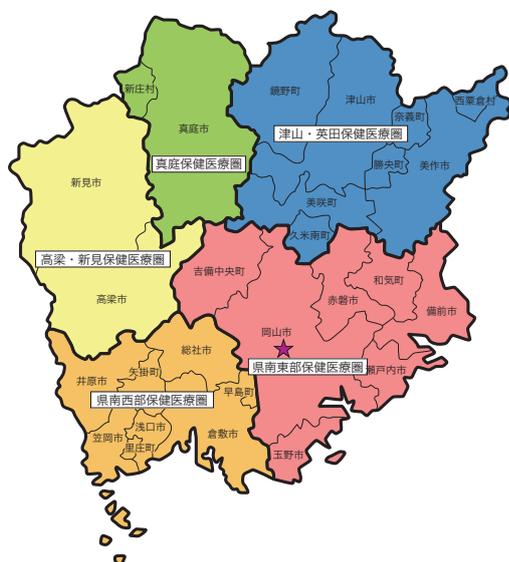
担当医療圏

担当医療圏  
 県南東部保健医療圏

担当医療圏内における  
 患者住所の割合  
**68.0%**

県内担当医療圏外の割合  
**27.9%**

県外患者住所の割合  
**4.0%**



基本情報	
病院名	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
所在地	〒710-8602 岡山県倉敷市美和 1-1-1
電話(代表)	086-422-0210
ホームページ	<a href="https://www.kchnet.or.jp/">https://www.kchnet.or.jp/</a>
交通アクセス	倉敷駅より徒歩 10 分、山陽自動車道倉敷 IC より車で 10 分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、形成外科、心臓血管外科、呼吸器外科、循環器内科、歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、脳神経内科、リハビリテーション科、美容外科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、リウマチ科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア外科、臨床検査科、病理診断科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、頭頸部外科、腫瘍内科 合計 42 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	1,172 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	11.4 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	341,960 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	618,042 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 6 名 (中級者 4 名 初級者 1 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数 ÷ {(新入院患者数 + 退院患者数) × 0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

## 倉敷中央病院





倉敷中央病院 院長

山形 専

当院は1923年に開設され、まもなく100周年を迎えることとなります。設立の理念は、創立者大原孫三郎氏の想い“病院らしくない医療環境の中で、全ての患者さんに平等に、治療本位で最高の医療の提供”です。病院経営の難しかった苦しい時代も、試行錯誤の中でこの理念に立ち戻って、職員全員で乗り越えてきた長い歴史があります。

当院は、岡山県の地域がん診療連携拠点病院です。がんに関する診療体制や設備、情報提供、他の医療機関との連携などについて国が定めた基準を満たし、質の高いがん医療の提供に努めています。院内の各診療科、部門と連携し、悪性腫瘍の診療全般を俯瞰して統括すること、横断的・集学的に診療できる体制を構築すること等を目的とし、オンコロジーセンターを設立しました。オンコロジーセンター内には、「ボーダレス医療チーム」があり、多職種のスタッフが診療科や部門を超えて柔軟かつ迅速に、治療やケアを提供する事を目指しています。また、院外の関係医療機関等とも連携を取りながら、患者さんにご満足していただけるよう様々な活動を行っています。

2019年4月にはがんゲノム医療連携病院の指定を受け、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学病院と連携して、がんゲノム医療を提供できる体制づくりを構築しています。ゲノム検査によってがんの特徴を詳しく捉えることができ、より適切な治療法につながります。また、希少がん、標準的な治療終了後のがん患者さんの新たな治療薬を探索することが可能となりました。

2019年症例の院内がん登録は、登録数3,755件と中四国地方の医療機関の中ではトップです。当院では、がん登録認定試験に合格した専任の診療情報管理士が登録業務を行っています。精度の高いがん情報を登録することで、がん診療の精度向上に寄与できるよう活動しています。この報告書が、患者さんやご家族への情報提供となり、治療の選択に役立てば幸いです。

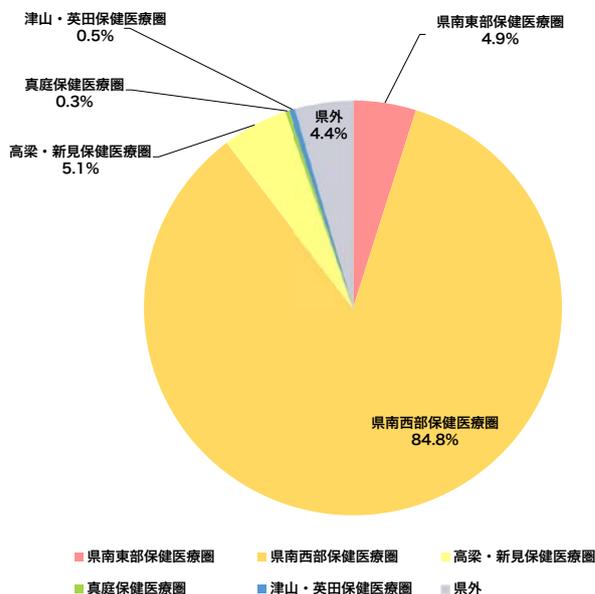
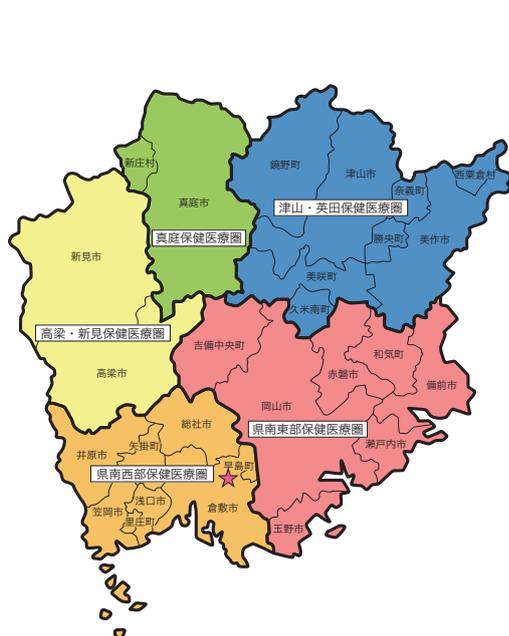
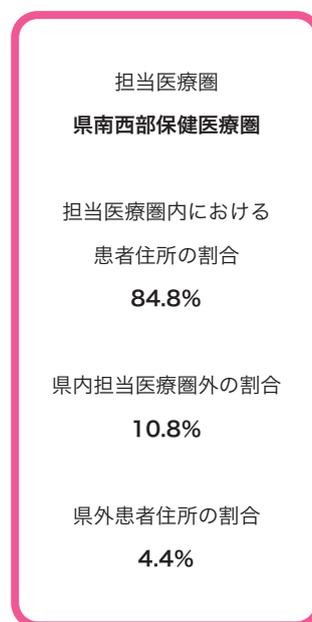
新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で、がん検診を受ける人が大きく減少しています。近年では女性特有のがんは若年化が進み、20～40歳代といったライフステージが大きく変化する年代で発症するケースが増えています。がんは早期発見出来れば高い確率で治療が可能で、身体的・経済的にも負担が少なく治療が行えます。

当院では、倉敷中央病院附属予防医療プラザとの連携により、予防医療（健診）を効果的に行うことを目指しています。そして、患者さんやご家族が、安心してがん治療を受けられるよう、職員一丸となって努力してまいります。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数			
県南東部保健医療圏	183	4.9%	岡山市北区	52			
			岡山市中区	7~9			
			岡山市南区	70			
			岡山市東区	7~9			
			玉野市	28			
			備前市	1~3			
			瀬戸内市	4~6			
			赤磐市	1~3			
			和気郡和気町	1~3			
			加賀郡吉備中央町	7~9			
県南西部保健医療圏	3,184	84.8%	倉敷市	2,304			
			笠岡市	174			
			井原市	71			
			総社市	333			
			浅口市	161			
			都窪郡早島町	37			
			浅口郡里庄町	40			
			小田郡矢掛町	64			
			高梁・新見保健医療圏	191	5.1%	高梁市	125
						新見市	66
真庭保健医療圏	12	0.3%	真庭市	12			
			真庭郡新庄村	0			
津山・英田保健医療圏	18	0.5%	津山市	11			
			美作市	1~3			
			苫田郡鏡野町	1~3			
			勝田郡勝央町	1~3			
			勝田郡奈義町	1~3			
			英田郡西粟倉村	0			
			久米郡久米南町	0			
			久米郡美咲町	0			
県外	167	4.4%		167			
			合計	3,755			

担当医療圏



## 川崎医科大学附属病院

基本情報	
病院名	川崎医科大学附属病院
所在地	〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
電話(代表)	086-462-1111
ホームページ	<a href="https://h.kawasaki-m.ac.jp/">https://h.kawasaki-m.ac.jp/</a>
交通アクセス	JR 山陽本線・伯備線「中庄(なかしょう)駅」下車、徒歩 10 分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	総合診療科、救急科、臨床腫瘍科、循環器内科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、腎臓内科、泌尿器科、血液内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、脳神経内科、脳卒中科、脳神経外科、心療科、小児科、新生児科、小児外科、産婦人科、乳腺甲状腺外科、皮膚科、リウマチ・膠原病科、整形外科、形成外科・美容外科、リハビリテーション科、食道・胃腸内科、肝・胆・膵内科、消化器外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、歯科・口腔外科、麻酔・集中治療科、放射線科(画像診断)、放射線科(治療)、放射線科(核医学診療)、健康診断センター 合計 36 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	1,182 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	13.0 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	205,621 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	403,891 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 4 名 (中級者 3 名 初級者 1 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数





川崎医科大学附属病院 病院長

永井 敦

## 当院におけるがん診療

当院は1973（昭和48）年12月に開院し、まもなく開設50周年を迎えます。「医療は患者のためにある」という病院の基本理念を継承し、がんを含むすべての疾患に対してチーム医療を展開し、安心・安全な医療を心がけています。2008年には地域がん診療連携拠点病院に指定されており、すべての領域のがん診療に対応できる体制を整備しています。

当院の特徴ですが、外来と病棟が臓器疾患・機能別編成となっていて、診療科間の垣根を低くし、がん診療においても良好な協力体制が構築されています。ロボット支援下手術は2017年に導入され、悪性腫瘍に対する治療は、前立腺がん、腎がん、膀胱がん、胃がん、直腸がん、そして子宮がんに対して実績があります。2018年にはがんゲノム医療連携病院、遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設に指定され、遺伝子情報に基づいた医療に対応しています。また、同年にはがん患者のQOL向上を目指し緩和ケア病棟を開設しました。残念ながら新型コロナウイルス感染症に対応するため、現在は緩和ケア病棟を一時的に閉鎖していますが、感染状況が落ち着けば速やかに再開する予定です。

## 当院のがん登録

当院のがん登録件数は2017年1,684件、2018年1,792件、2019年1,827件と年々増加していましたが、2020年は1,741件であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことが要因と考えます。2019年の医療圏別登録数は、当院の存在する岡山県南西部からの患者割合が57.2%と最も多く、次いで県北部3医療圏の16.4%、県南東部の15.1%の順でした。岡山県外からの受診は11.3%でした。紹介患者数は全体の63.9%を占めていました。

2019年の部位別がん登録件数は大腸がん、乳がんが226件ずつで1位でした。3位が血液腫瘍で179件、4位が肺がんで164件でした。5位は前立腺がんの149件となっています。2018年は大腸がん、乳がん、血液腫瘍、胃がん、肺がんの順でした。超高齢社会の特徴でもあるのですが、前立腺がんの増加が目立つ結果となっています。

## 今後の課題

新型コロナウイルス感染症による受診・検診控えが当院でも目立っています。過度な検診控えは、がんの早期発見や早期治療の機会を逸することになるので、心配しています。検診受診率の向上をはかり、がん患者の命を守ることが喫緊の課題だと思います。また、岡山県においてもがん治療の充実した医療施設の偏在化があります。医療施設の少ない圏域でのがん医療を充実させることも重要な課題の一つだと思います。地域の医療機関と連携を強化することも大切です。2024年に迫った医師の働き方改革と地域医療の充実をどうするか、これも大きな課題ではありますが、医師の過重労働を避けながら、患者の命を守る適切な方策について知恵を出す必要があると考えています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数			
県南東部保健医療圏	276	15.1%	岡山市北区	128			
			岡山市中区	30			
			岡山市南区	59			
			岡山市東区	14			
			玉野市	19			
			備前市	4~6			
			瀬戸内市	4~6			
			赤磐市	4~6			
			和気郡和気町	1~3			
			加賀郡吉備中央町	7~9			
県南西部保健医療圏	1,045	57.2%	倉敷市	667			
			笠岡市	69			
			井原市	29			
			総社市	128			
			浅口市	73			
			都窪郡早島町	34			
			浅口郡里庄町	24			
			小田郡矢掛町	21			
			高梁・新見保健医療圏	166	9.1%	高梁市	68
						新見市	98
真庭保健医療圏	51	2.8%	真庭市	50			
			真庭郡新庄村	1~3			
津山・英田保健医療圏	83	4.5%	津山市	37			
			美作市	18			
			苫田郡鏡野町	7~9			
			勝田郡勝央町	4~6			
			勝田郡奈義町	4~6			
			英田郡西粟倉村	0			
			久米郡久米南町	1~3			
			久米郡美咲町	10			
県外	206	11.3%		206			
			合計	1,827			

担当医療圏

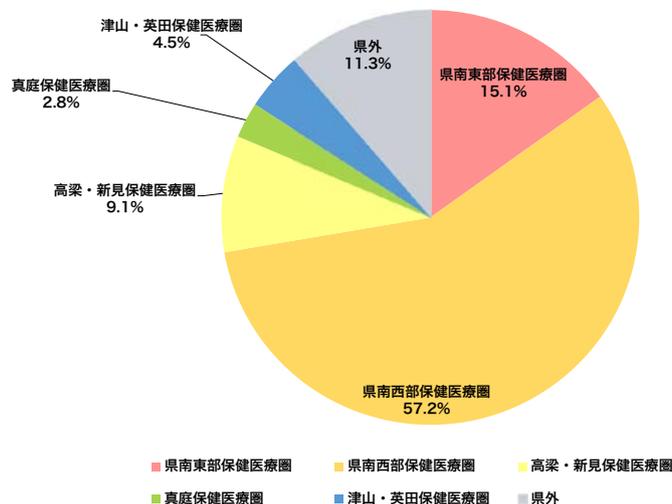
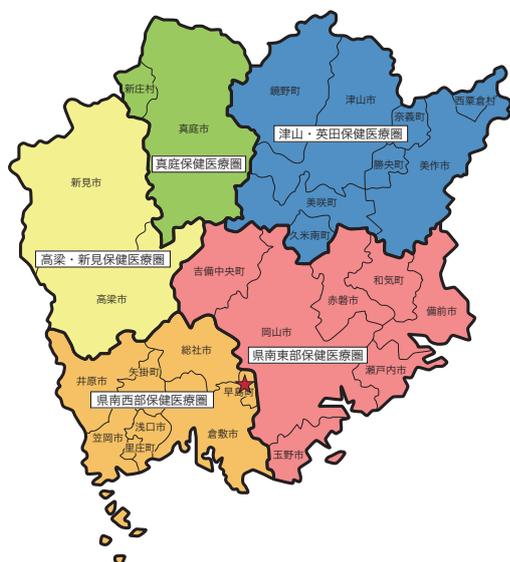
担当医療圏  
**県南西部保健医療圏**

担当医療圏内における  
 患者住所の割合  
**57.2%**

県内担当医療圏外の割合  
**31.5%**

県外患者住所の割合  
**11.3%**

川崎医科大学  
 附属病院



基本情報	
病院名	一般財団法人津山慈風会 津山中央病院
所在地	岡山県津山市川崎 1756
電話(代表)	0868-21-8111
ホームページ	http://www.tch.or.jp/
交通アクセス	津山駅より車で15分、津山ICより車で5分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、感染症内科、糖尿病内科、神経内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、救急科、眼科、歯科、歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、麻酔科、リハビリテーション科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科 合計 30 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	515 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	13.2 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	132,000 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	204,914 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 7 名 (中級者 2 名 初級者 5 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数 ÷ [(新入院患者数 + 退院患者数) × 0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数





津山中央病院 院長

林 同 輔

津山中央病院は、2010年に「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、がんの早期発見から検査・診断・治療・緩和まで一貫したがん診療に取り組んでいます。院内がん登録数も年々増加しており、2018年には1,531例を登録いたしました。当院は1999年に現在の地に新築移転いたしました。開院当初から「お断りしない救急」と「最先端のがん診療の提供」を2本の柱としており、開院後も様々な設備投資を行い施設設備の充実を図ってきました。

当院のがん治療の大きな目玉は、中四国で初となる「がん陽子線治療センター」です。岡山大学と共同運用しており、総合病院としては近畿以西の西日本では唯一で、合併症のある患者さんや化学療法併用の患者さん、全身麻酔が必要となる小児がんの患者さんも受け入れています。「身体にやさしいがん治療」「切らずに治すがん治療」をキャッチフレーズに運用を行っています。現在保険適応となっているのは、小児がん・骨軟部腫瘍・非扁平上皮の頭頸部がん・前立腺がんの4疾患ですが、肝臓がんや肺がんをはじめ食道がん・膵がん等、多くのがん腫で効果が認められており、次回診療報酬改定での追加適応承認が期待されています。また、医療インバウンドとして海外（特に中国）からの患者さんの治療も積極的に行ってきました。残念ながら新型コロナのために一時休止状態になっていましたが、少しずつ復活する気配が見えてきました。

がんの手術の低侵襲化も目指しており、従来の内視鏡手術に加えて2019年3月よりロボット手術を導入いたしました。2019年に増設した新手術室にはロボット手術用の広い部屋を確保しており、現在は前立腺がん・腎がん・肺がん・縦隔腫瘍などで症例を重ねており、胃がん・直腸がんへの適用も開始いたしました。また、早期の食道がんや胃がん・大腸がんに対しては、内視鏡的切除を積極的に行っており、患者さんのQOLの維持に努めています。

がん治療だけでなく、患者さんの身体的・精神的苦痛を和らげるための緩和ケアにも力を入れており、緩和ケアチームを中心とした入院患者さんのサポートや外来緩和ケア相談窓口の運用、がんサロン「なごみ」の開催等、医師・看護師・臨床心理士・医療ソーシャルワーカー・薬剤師等の多職種が協力して行っています。新病棟には14床の緩和ケア病棟も新設しており、人員の補充が完了出来次第、稼働を開始する予定です。

当院は第2種感染症指定病院であり、新型コロナの影響を大きく受けましたが、コロナ禍にあっても救急とがん診療を制限することなく、地域の医療機関と連携しながら県北住民の健康を守っていきたくと考えていますので、引き続きなお一層のご支援をお願いいたします。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数			
県南東部保健医療圏	42	2.8%	岡山市北区	12			
			岡山市中区	7~9			
			岡山市南区	4~6			
			岡山市東区	0			
			玉野市	1~3			
			備前市	1~3			
			瀬戸内市	1~3			
			赤磐市	7~9			
			和気郡和気町	0			
			加賀郡吉備中央町	1~3			
県南西部保健医療圏	15	1.0%	倉敷市	7~9			
			笠岡市	1~3			
			井原市	4~6			
			総社市	1~3			
			浅口市	0			
			都窪郡早島町	0			
			浅口郡里庄町	0			
			小田郡矢掛町	0			
			高梁・新見保健医療圏	13	0.9%	高梁市	1~3
						新見市	11
真庭保健医療圏	122	8.2%	真庭市	117			
			真庭郡新庄村	4~6			
津山・英田保健医療圏	1,190	79.8%	津山市	689			
			美作市	220			
			苫田郡鏡野町	87			
			勝田郡勝央町	58			
			勝田郡奈義町	38			
			英田郡西粟倉村	7~9			
			久米郡久米南町	19			
			久米郡美咲町	72			
			県外	109	7.3%		109
						合計	1,491

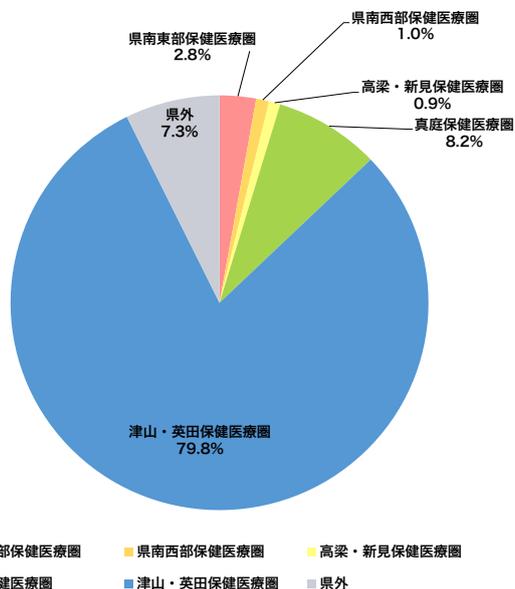
担当医療圏  
津山・英田保健医療圏

担当医療圏内における  
患者住所の割合  
79.8%

県内担当医療圏外の割合  
12.9%

県外患者住所の割合  
7.3%

担当医療圏



## 金田病院

基本情報	
病院名	金田病院
所在地	岡山県真庭市西原 63 番地
電話 (代表)	0867-52-1191
ホームページ	<a href="https://www.kaneda-hp.or.jp">https://www.kaneda-hp.or.jp</a>
交通アクセス	美作落合駅から徒歩 5 分 まにわくん・さくらバス金田病院前からすぐ

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	内科、循環器内科、糖尿病内科、脳神経内科、腎臓内科、リウマチ科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、乳腺外科、眼科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 合計 17 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	172 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	26.9 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	38,966 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	64,631 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 2 名 (中級者 2 名 初級者 0 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数





金田病院 院長  
水島孝明

日本では2人に1人はがんを患い、3人に1人はがんで死亡される時代となり、全国どこでも標準的ながん診療を受けられることを目的にがん診療拠点病院制度ができました。また、わが国のがん診療の質を高める事を目的に、がん対策基本法が施行されました。これらの理念は、当院の理念と合致するものです。

当院は、岡山県北部の真庭市西原（落合地区）に71年前に開設され、平成24年4月1日より、がん診療連携推進病院に認定され、県内のがん治療拠点病院と連携して、真庭地域を中心としたがん患者の診療に取り組んでまいりました。平成27年4月1日からは岡山県北部中央地区の地域がん診療病院に認定され、独立行政法人岡山医療センターおよび一般財団法人津山慈風会津山中央病院と連携し、がんの検査、治療、手術、化学療法に加え、緩和ケアの提供や緩和ケア研修会の開催、がん相談支援、セカンドオピニオン、がん情報提供、一般向けや医療者向けの講演会、患者会、がん登録を行っております。現在の許可病床は172床で、内科、外科、脳神経外科、整形外科の診療科を中心に、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟で構成しております。また岡山大学や川崎医科大学からの非常勤医師の派遣を通じて、多くの診療科に対応する体制を整えております。地域の病院・診療所と連携を取りながら、院内の勉強会、地区医師会の研究会の開催などを通じて、様々な状況の患者様に対して適切な医療を提供できるよう体制を整えていきたいと思っております。

当院は、人間ドック学会認定の人間ドック検診施設を併設しており、がんの早期発見、治療も力を入れて取り組んでおります。

あらゆるがん患者さんの治療に関し、外科、内科専門医のカンファレンスを通し、また、高難度症例に対しては専門病院と連携を行い、患者さんとそのご家族に対し、最善かつ質を重視した治療を行うように心がけています。

さらに在宅におけるがん医療や緩和ケア、相談支援など一層の充実が課題となっているなかで、訪問診療、訪問看護ステーションみどり、居宅介護支援事業所みどり、美咲町立西川診療所と連携し、在宅の患者様に対するがん治療についても取り組んでおります。

また医学部学生、看護学生、初期臨床研修医、内科学会総合内科専門医研修専攻医、外科学会専門医研修専攻医、日本プライマリケア連合学会専門医研修専攻医の受け入れを行っており、地域におけるがん診療を行う医師、看護師等の養成にも取り組んでおります。

最後に医家の皆様に置かれましては、より一層のご鞭撻をお願い申し上げます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数			
県南東部保健医療圏	1~3	1.0%	岡山市北区	0			
			岡山市中区	0			
			岡山市南区	0			
			岡山市東区	0			
			玉野市	0			
			備前市	0			
			瀬戸内市	0			
			赤磐市	0			
			和气郡和气町	0			
			加賀郡吉備中央町	1~3			
県南西部保健医療圏	0	0.0%	倉敷市	0			
			笠岡市	0			
			井原市	0			
			総社市	0			
			浅口市	0			
			都窪郡早島町	0			
			浅口郡里庄町	0			
			小田郡矢掛町	0			
			高梁・新見保健医療圏	7~9	4.1%	高梁市	0
						新見市	7~9
真庭保健医療圏	143	73.0%	真庭市	139			
			真庭郡新庄村	4~6			
津山・英田保健医療圏	42	21.4%	津山市	7~9			
			美作市	1~3			
			苫田郡鏡野町	10			
			勝田郡勝央町	1~3			
			勝田郡奈義町	0			
			英田郡西粟倉村	0			
			久米郡久米南町	0			
			久米郡美咲町	20			
県外	1~3	0.5%		1~3			
			合計	196			

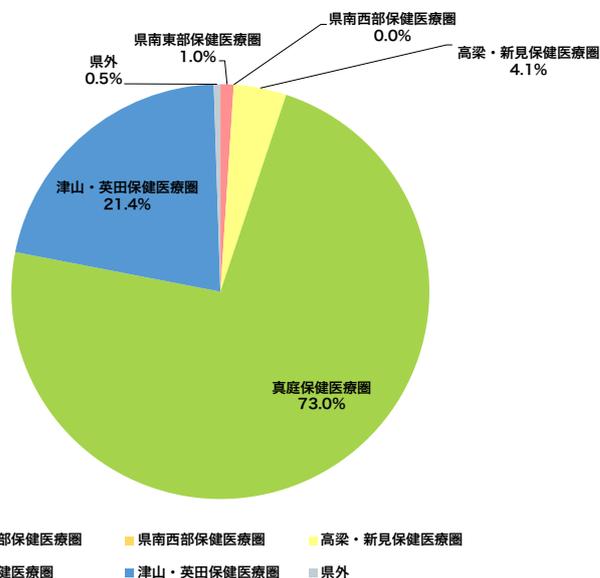
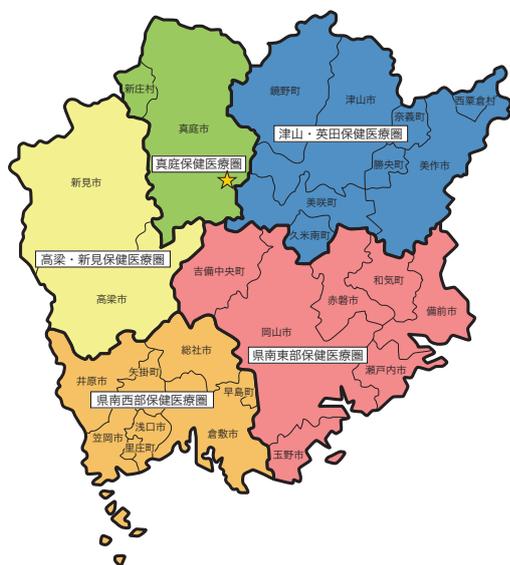
担当医療圏  
真庭保健医療圏

担当医療圏内における  
患者住所の割合  
**73.0%**

県内担当医療圏外の割合  
**26.5%**

県外患者住所の割合  
**0.5%**

担当医療圏



# 高梁中央病院

基本情報	
病院名	医療法人清梁会 高梁中央病院
所在地	岡山県高梁市南町 53
電話(代表)	086-22-3636
ホームページ	<a href="https://seiryokai.jp/">https://seiryokai.jp/</a>
交通アクセス	備中高梁駅より徒歩 5 分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	内科、外科、消化器内科、消化器外科、脳神経外科、肛門外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、眼科、循環器内科、皮膚科、心療内科、精神科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、内分泌内科、呼吸器外科、リウマチ科、肝臓内科、胆のう・膵臓内科、耳鼻咽喉科、乳腺・内分泌外科 合計 26 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	160 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	31.7 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	54,051 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	88,393 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 1 名 (中級者 1 名 初級者 0 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数 ÷ [(新入院患者数 + 退院患者数) × 0.5]、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数



SEIRYO GROUP

医療法人 清梁会 高梁中央病院

見つめているのは命、未来。



高梁中央病院 院長

吉田栄一

平素より当院に格別なご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。当院は岡山県における高梁・新見保健医療圏において中核病院としての役割を担っており、地域に根ざした病院としてより質の高い医療の提供と連携を目指し、地域医療への貢献に努めています。

病床の規模としては急性期一般、地域包括ケア、障害者施設等一般、医療療養のケア・ミックス型で構成されています。平成20年には地域災害医療センターとして指定を受け、平成23年にはおかやまDMAT指定医療機関を拝命する等、地域の災害医療にも対応できるよう体制を整えています。

そして平成27年より地域がん診療病院の指定を受け、当該地域におけるがん診療を更に幅広く担うこととなりました。当院の役割としては、がん診療連携拠点病院とよばれる高度ながん診療を行うことができる医療機関とグループ指定を結ぶことで、当院が所属する医療圏における患者さんを連携してカバーできる体制作りが主となります。当該地域にお住まいの患者さんの初期診療から、連携している拠点病院で高度ながん診療を終えてからのフォローまで当院で行えるという連携体制をとっています。また、患者さんの悩みに幅広く対応する窓口としてがん相談支援センターを立ち上げ、患者さんやご家族と気兼ねなく話し合える「がんサロンたかはし」を定期的で開催しています。

中枢のメンバーとして院内にがん診療推進室を立ち上げ、緩和ケア、化学療法、がん相談支援、がん登録など、それぞれ役割に応じたチームを編成し、地域がん診療病院としてのがん診療の質の向上を図るため日々業務に取り組んでいます。本誌における院内がん登録では、実務者を中心としたがん登録チームが平成25年の症例より運用を開始しています。実務内容としては、例年の国立がん研究センターでの院内がん登録全国集計への参加・統計分析協力と、並行して岡山県の地域がん登録（現在は全国がん登録）においても同様の協力をさせて頂いています。

ビッグデータによる分析などが医療分野においても求められている昨今の情報化社会において、がん登録事業は非常に重要な意味を持っています。今やがんは国民病とも呼ばれ、がん診療はそれぞれの地域になくはならないものとして認識されています。地域の皆さんと個々との通い合う信頼関係を築いていくためにもがん診療における当院の役割をしっかりと果たせるよう職員一同、尽力して参る所存です。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数			
県南東部保健医療圏	12	9.2%	岡山市北区	0			
			岡山市中区	0			
			岡山市南区	0			
			岡山市東区	0			
			玉野市	0			
			備前市	0			
			瀬戸内市	0			
			赤磐市	0			
			和気郡和気町	0			
加賀郡吉備中央町	12						
県南西部保健医療圏	4~6	3.1%	倉敷市	1~3			
			笠岡市	0			
			井原市	0			
			総社市	1~3			
			浅口市	0			
			都窪郡早島町	0			
			浅口郡里庄町	0			
			小田郡矢掛町	0			
			高梁・新見保健医療圏	109	83.2%	高梁市	104
						新見市	4~6
真庭保健医療圏	4~6	4.6%	真庭市	4~6			
			真庭郡新庄村	0			
津山・英田保健医療圏	0	0.0%	津山市	0			
			美作市	0			
			苫田郡鏡野町	0			
			勝田郡勝央町	0			
			勝田郡奈義町	0			
			英田郡西粟倉村	0			
			久米郡久米南町	0			
			久米郡美咲町	0			
			県外	0	0.0%		0
			合計	131			

担当医療圏  
高梁・新見保健医療圏

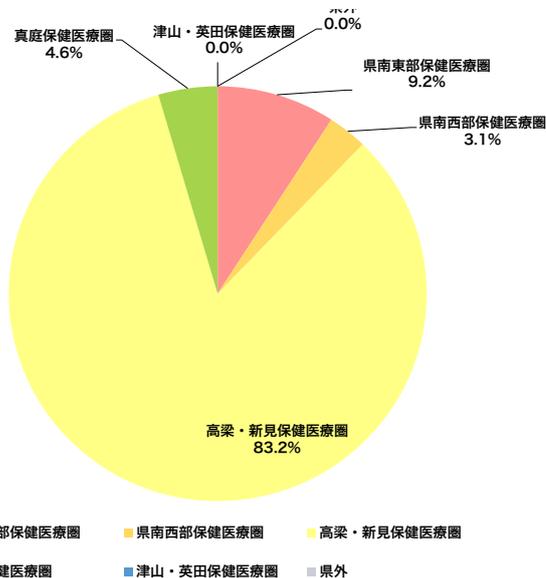
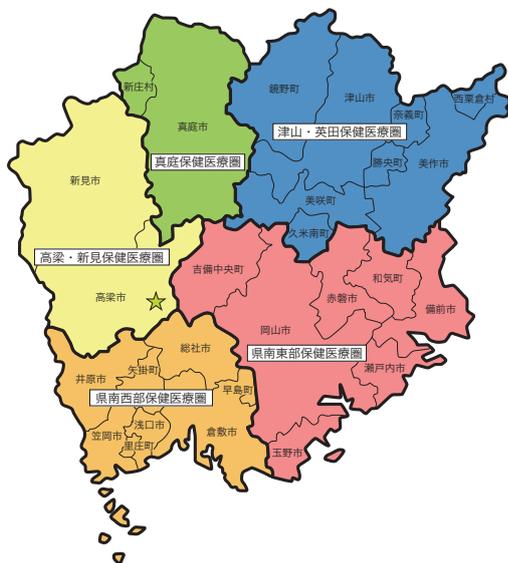
担当医療圏内における  
患者住所の割合  
**83.2%**

県内担当医療圏外の割合  
**16.8%**

県外患者住所の割合  
**0.0%**

担当医療圏

高梁中央病院



## 岡山労災病院

基本情報	
病院名	岡山労災病院
所在地	〒702-8055 岡山県岡山市南区築港緑町1-10-25
電話(代表)	086-262-0131
ホームページ	<a href="https://www.okayamah.johas.go.jp/">https://www.okayamah.johas.go.jp/</a>
交通アクセス	岡山駅より岡電バス「岡山ろうさい病院」行きに乗車後35分程度

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科※1	内科、精神科、心療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科 合計21診療科		
病床数※1	358床	平均在院日数※2	14.5日
入院患者延べ数※3	91,730人	外来患者延べ数※4	237,082人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※1	実務者3名(中級者1名 初級者1名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数





岡山労災病院 院長代理  
片山伸二

岡山労災病院の2019年度がん登録についてご報告申し上げます。

岡山労災病院は南区に位置する公的総合病院であり、岡山県指定の「がん診療連携推進病院」の一つです。2019年の悪性腫瘍全登録数は662例であり、2018年の登録数を55例上回りました。自施設診断・自施設初回治療開始は512例であり、他施設診断・自施設初回治療開始は48例でした。

当院は21診療科からなる総合病院であり、放射線治療機器も有しており、ほとんどの腫瘍の診断並びに外科的治療、化学療法、放射線治療を行っています。臓器別腫瘍の全登録数と初回治療数は、食道癌・胃癌・大腸癌・肝胆膵などの消化器系癌が251例と219例と最も多く、肺癌・胸腺・胸膜・縦隔などの呼吸器系腫瘍が110例と95例、泌尿器系が128例と117例、乳癌・甲状腺癌が52例と45例、血液系腫瘍が30例と28例、皮膚癌・軟部組織腫瘍が27例と21例、脳腫瘍が23例と16例、女性生殖器系癌が9例と1例、頭頸部癌が8例と0例、その他が24例と18例でした。2018年を上回る登録数でしたが、臓器別の比率割合は概ね前年と同様でした。

当院は全国の労災病院の中で、唯一アスベスト研究・研修センターを有しており、アスベスト関連胸膜疾患が全国から紹介されてきます。悪性胸膜中皮腫の治療実績は全国トップクラスです。

外科的処置においては低侵襲を心掛けており、食道癌・胃癌・大腸癌などの消化管系粘膜内癌に対しては、内視鏡的粘膜下層切開剥離術（ESD）を行っています。比較的早期の消化管系癌・肺癌・縦隔腫瘍においては腹腔鏡や胸腔鏡を用いた切除術を行っています。完全胸腔鏡下肺葉切除術も行っています。進行癌に対しては標準的な開腹・開胸術を行いますが、必要に応じて放射線治療科、腫瘍内科と共に集学的治療も行っています。

外科治療の適応のない進行癌では化学療法・分子標的薬剤やチェックポイント阻害剤を用いた新たな薬物治療も行っています。また、外来に化学療法センターを設置し、可能な限り患者さんのQOLを保ちながら外来化学療法を行っています。

全国の労災病院は治療と就労の両立支援に力を入れて取り組んでおり、当院は癌治療のモデル施設として、毎日相談窓口を開いています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	626	94.6%	岡山市北区	21
			岡山市中区	28
			岡山市南区	378
			岡山市東区	7~9
			玉野市	168
			備前市	10
			瀬戸内市	11
			赤磐市	1~3
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	1~3
県南西部保健医療圏	15	2.3%	倉敷市	7~9
			笠岡市	1~3
			井原市	0
			総社市	1~3
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	1~3	0.2%	高梁市	1~3
			新見市	0
真庭保健医療圏	1~3	0.5%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	4~6	0.6%	津山市	1~3
			美作市	1~3
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	0
県外	13	2.0%		13
			合計	662

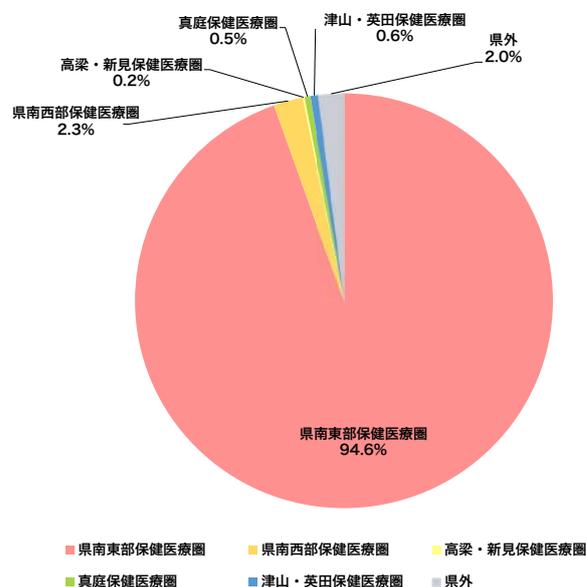
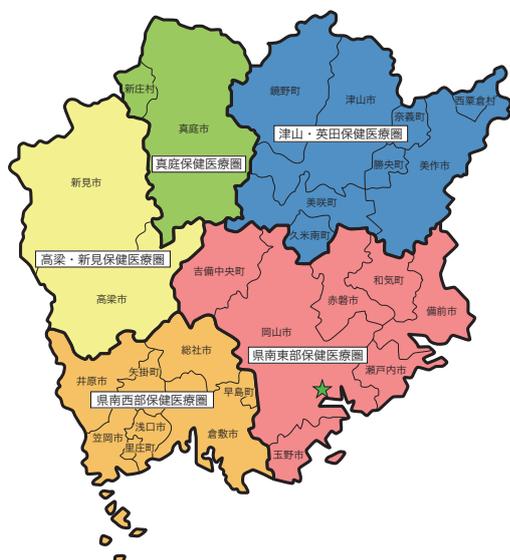
担当医療圏

担当医療圏  
 県南東部保健医療圏

担当医療圏内における  
 患者住所の割合  
**94.6%**

県内担当医療圏外の割合  
**3.5%**

県外患者住所の割合  
**2.0%**



# 岡山市立市民病院

基本情報	
病院名	地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院
所在地	岡山県岡山市北区北長瀬表町 3-20-1
電話(代表)	086-737-3000
ホームページ	<a href="https://okayama-gmc.or.jp/shimin/">https://okayama-gmc.or.jp/shimin/</a>
交通アクセス	山陽本線で岡山駅より北長瀬駅まで約 4 分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

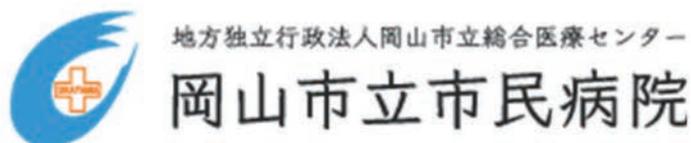
診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	内科、消化器内科、呼吸器内科、アレルギー科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、心療内科、精神科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、小児科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科、病理診断科、救急科 合計 31 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	400 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	13.0 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	104,106 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	121,112 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 1 名 (中級者 0 名 初級者 1 名)		

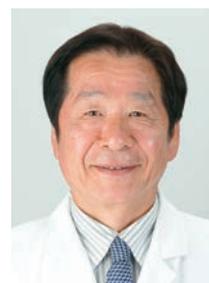
※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数





岡山市立市民病院 院長  
松本 健五

当院は自治体病院、公立病院として岡山市とその近郊の方々の健康を守るために日々診療を行っています。総合病院としてさまざまな症状を抱える患者さんを受け入れるため、各疾患の専門的なスタッフや高度な設備を備え対応しています。具体的には専門的なチーム医療を提供するために臓器別・疾患別のセンター化を採用しています。中でも専門医が多数在籍する脳疾患センターが高い技術を誇るほか、各センター、専門科にも多くの医師が加わり、がん診療も更に充実しています。

当院は平成24年に「がん診療連携推進病院」の指定を受け、質の高いがん治療を提供すべく積極的に取り組んでいます。がん登録数も年々増加しており、2019年は803例を登録しました。年齢分布では70歳以上が約63%を占めています。部位別の登録件数上位5部位では血液腫瘍、大腸、胃、肺、肝臓の順に登録が多いです。

血液腫瘍については当院の血液・腫瘍センターが対応し、岡山市だけでなく、岡山県全域など広範な地域より紹介患者を受けております。岡山大学病院と医療連携を進め、それぞれの得意分野を活かした診療を行っています。胃がん、大腸がんについては消化器内科と消化器外科が一緒になった消化器疾患センターが対応しております。内科と外科が密な連携を取り、診療が一貫して行えるよう体制を整えております。

また、今後のがん治療のさらなる推進や患者さんへのサポートの強化を図る必要性があると考え、平成29年にがん治療サポートセンターを創設しました。患者さんへの対応の改善とがん診療連携推進病院としての役割を目標に、相談支援、情報提供、院内がん登録の充実を図りながら取り組んでおります。少しでも患者さん・ご家族により良いがん治療を提供できる環境作りの形を考えております。

コロナ危機後、世界は大きく変わるといわれています。予測しづらい環境において大切なことは、予測不能な変化にも対応できるよう自身も変化し続けることです。「市民に必要とされる病院とは何か」を常に考え、質の高い医療に加え、信頼をも超える感動を提供すべく、引き続き努力を続けてまいります。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	716	89.2%	岡山市北区	386
			岡山市中区	106
			岡山市南区	117
			岡山市東区	48
			玉野市	11
			備前市	15
			瀬戸内市	10
			赤磐市	12
			和気郡和気町	4~6
			加賀郡吉備中央町	4~6
県南西部保健医療圏	42	5.2%	倉敷市	32
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	4~6
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	1~3
			高梁・新見保健医療圏	7~9
新見市	1~3			
真庭保健医療圏	1~3	0.4%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	21	2.6%	津山市	7~9
			美作市	4~6
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	1~3
			久米郡美咲町	1~3
			県外	14

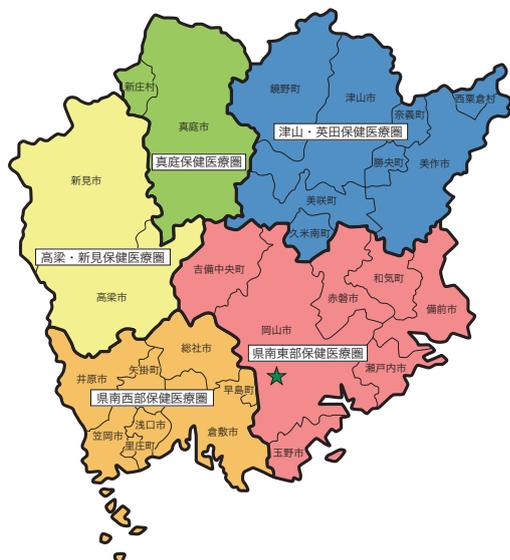
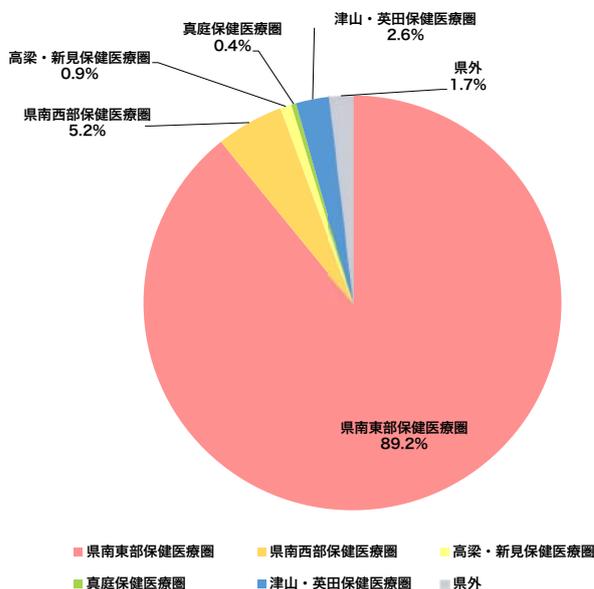
担当医療圏

担当医療圏  
 県南東部保健医療圏

担当医療圏内における  
 患者住所の割合  
**89.2%**

県内担当医療圏外の割合  
**9.1%**

県外患者住所の割合  
**1.7%**



## 川崎医科大学総合医療センター

基本情報	
病院名	川崎医科大学総合医療センター
所在地	〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下二丁目6番1号
電話(代表)	086-225-2111
ホームページ	<a href="https://g.kawasaki-m.ac.jp/">https://g.kawasaki-m.ac.jp/</a>
交通アクセス	岡山駅よりバス、タクシー、路面電車で約5～10分

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	救急科、内科、脳神経内科、内視鏡内科、循環器内科、老年内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、精神科、心療内科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、眼科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、産婦人科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科 合計 27 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	647 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	13.2 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	106,974 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	184,328 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 2 名 (中級者 2 名 初級者 0 名)		

※1 2021年11月1日現在

※2 在院患者延べ数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※3 在院患者延べ数(24時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数





川崎医科大学総合医療センター 病院長

猶本良夫

### 「がん登録への想い」

2019年1月17日、「初めて『全国がん登録制度』によるデータがまとめられ、2016年に「がん」と診断された人は995,131例でした」というニュースが、新聞やテレビで報道されました。私はこのニュースを「がん」に携わってきた一医師として、感慨深く聞いていました。

この報道に疑問を感じた人もいたと思います。今までも、わが国の「がん」に関する統計データの話がありました。例えば、「2～3人に1人はがんになる」等です。2019年のニュースとなったデータ（2016年～）と、2019年よりも前のデータ（～2015年）とでは、何が異なるのでしょうか？

2019年よりも前のデータ（～2015年）は、「地域がん登録制度」を元に作成されていました。この制度だと、県を跨いだ多重登録や登録を行わない医療機関の存在などにより、わが国の「がん」の正しい情報を得るのは難しいと言われていました。そこで法律などを整備し「全国がん登録制度」を作ったのです。実際のデータを見てみますと、2014年に新たに診断された「がん（罹患全国合計値）」は867,408例です。その2年後の「全国がん登録制度」の集計では、995,131例ですので、2年間で13万人も「がん」になる人が増えたこととなります。正しい数値は「全国がん登録制度」から得られた値ですので、2015年までの「がん統計」はかなりの誤差を含んでいることがわかります。これくらいの誤差は仕方ないのでしょうか？

「がん登録」の必要性は以下のように説明されます。

「がん」に対する正確なデータを基に、どの程度の医療施設をどの地域に配置が必要か、どのような技術を持った医師がどの程度必要か、がん検診の対象年齢は何歳から何歳までが妥当か、などの計画や対策を行うことができます。

それだけでしょうか？

私個人は、消化器がんの外科的治療に日々邁進してきました。一外科医が1日に治療（手術）できる患者は1人です。

私の治療は本当に有益なのか？間違っていないか？

答えの出ないかもしれない疑問や不安に対し自問自答しながら、毎日の診療を行ってきました。

医師個人や施設の治療成績は算出することは可能です。しかし、そのデータが地域や国にどのように反映されているのか、貢献しているのかを知るすべはありません。

私個人は、治療成績、例えば5年生存率の改善を「がん登録」データで確認することで、自分自身を鼓舞してきました。「がん」に携わる医師は、それら罹患率や治療成績に一喜一憂し、己の進んできた道やこれから進むべき道を確認めます。その道標となるのが「がん」に対する正確な情報です。私たちは2016年から、ようやく「全国がん登録制度」を開始し、2019年によりやうく我が国の「がん」の実態を知ることができました。これは、非常に大きな第一歩です。

この「がん登録」が、次の時代への大きなマイルストーンとなることを願っています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	778	83.0%	岡山市北区	222
			岡山市中区	215
			岡山市南区	68
			岡山市東区	110
			玉野市	27
			備前市	50
			瀬戸内市	42
			赤磐市	34
			和気郡和気町	7~9
			加賀郡吉備中央町	1~3
県南西部保健医療圏	42	4.5%	倉敷市	24
			笠岡市	1~3
			井原市	1~3
			総社市	7~9
			浅口市	4~6
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	22	2.3%	高梁市	11
			新見市	11
真庭保健医療圏	7~9	0.9%	真庭市	7~9
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	24	2.6%	津山市	7~9
			美作市	4~6
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	1~3
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	4~6
			久米郡美咲町	4~6
県外	63	6.7%		63
			合計	937

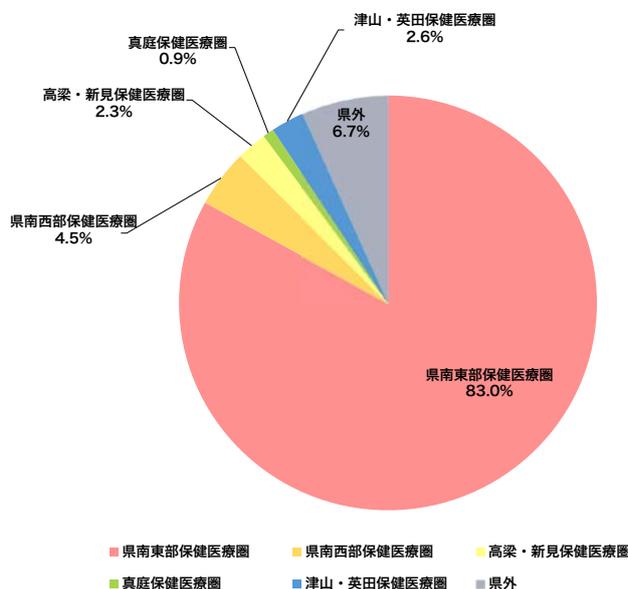
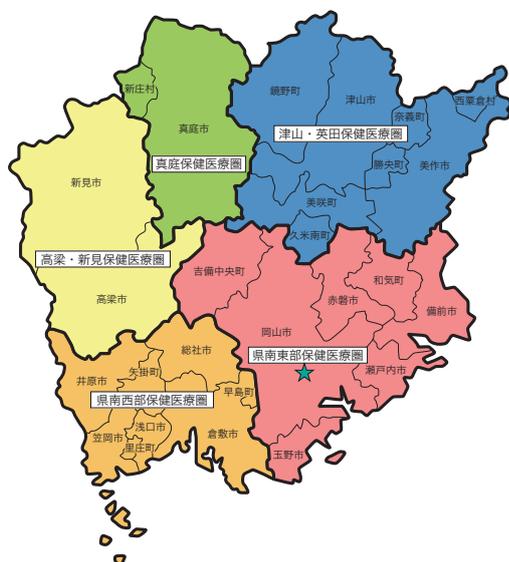
担当医療圏

担当医療圏  
 県南東部保健医療圏

担当医療圏内における  
 患者住所の割合  
**83.0%**

県内担当医療圏外の割合  
**10.2%**

県外患者住所の割合  
**6.7%**



## 倉敷成人病センター

基本情報	
病院名	一般財団法人 倉敷成人病センター
所在地	岡山県倉敷市白楽町 250 番地
電話 (代表)	086-422-2111
ホームページ	<a href="http://www.fkmc.or.jp/">http://www.fkmc.or.jp/</a>
交通アクセス	倉敷駅より徒歩約 20 分、バスまたはタクシーで約 5 分

集計期間：2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

診療案内			
診療科 <sup>※1</sup>	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、麻酔科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科 合計 20 診療科		
病床数 <sup>※1</sup>	269 床	平均在院日数 <sup>※2</sup>	6.3 日
入院患者延べ数 <sup>※3</sup>	75,957 人	外来患者延べ数 <sup>※4</sup>	260,023 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数) <sup>※1</sup>	実務者 2 名 (中級者 0 名 初級者 1 名)		

※1 2021 年 11 月 1 日現在

※2 在院患者延べ数 ÷ [(新入院患者数 + 退院患者数) × 0.5]、小数点第 2 位四捨五入

※3 在院患者延べ数 (24 時時点)

※4 初再診合わせた患者延べ数





倉敷成人病センター 病院長

梅川 康 弘

当院は平成24年に「がん診療連携推進病院」の指定を受け、婦人科、泌尿器科、外科、乳腺科などを中心に質の高いがん診療を提供すべく積極的に取り組んでいます。

2021年2月1日には念願であった新棟を開院することができました。新棟には放射線センターを新設し、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、肺がん、食道がんなどの根治治療や痛みを和らげるなどの緩和治療に広く対応できる高精度放射線治療装置（True Beam）を導入、積極的に放射線治療を行っています。また、前立腺がんに対する密封小線源療法を開始しました。以前は放射線治療だけは他院に紹介していましたが、現在は放射線治療を含む包括的がん治療を当院で切れ目なく行えるようになり、地域の患者さんに寄り添い続けられる体制が整いました。

センター棟から新棟へ拡大移転した通院治療センターでは、患者さんやご家族がゆっくり過ごしていただけるようプライバシーに配慮した治療ブースを構え（現在はコロナ禍の影響でご家族の付き添いはご遠慮いただいています）、治療当日の院内移動を最小限にとどめられるよう診察室や検査室を併設しています。医師はもちろんのこと、薬剤師、看護師、診療放射線技師はがんに特化した専門スタッフを配置し、チーム医療で患者さんをサポートしています。

手術領域では術前・術中の患者さんのストレス軽減を目指した「ロボット先端手術センター」を開設しました。専用手術室を4室新設し、手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”を2台体制に強化して、婦人科と泌尿器科を中心に低侵襲手術を提供しています。

2020年8月に開設したブレストセンターでは乳腺科、乳腺外科、放射線科、病理診断科の各専門医に加えて、診療放射線技師、看護師、薬剤師、管理栄養士などの専門スタッフが協力し、総合力を生かしたチーム医療で効率的で質の高い乳がん診療を行っています。がんを疑う病変には初診日にできるだけ細胞診あるいは針生検を実施することで、迅速な診断を心掛け、悪性と診断された場合は乳腺外科の担当となり、患者さんへの十分な説明とケアを行いながら、ガイドラインに沿った治療を多職種協働で丁寧に行っています。

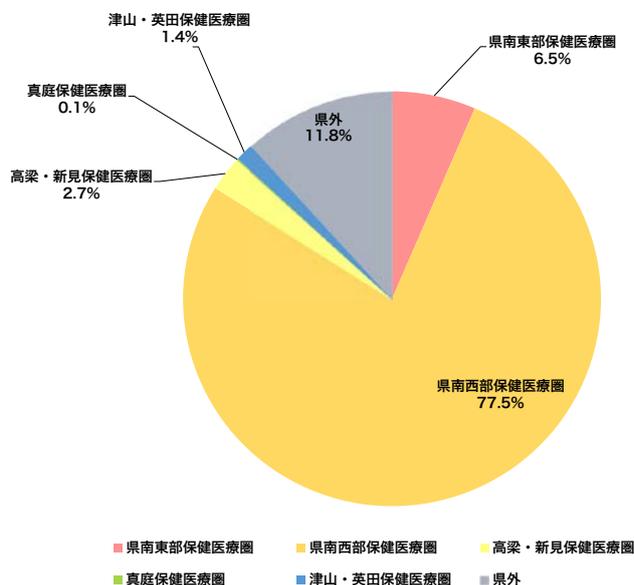
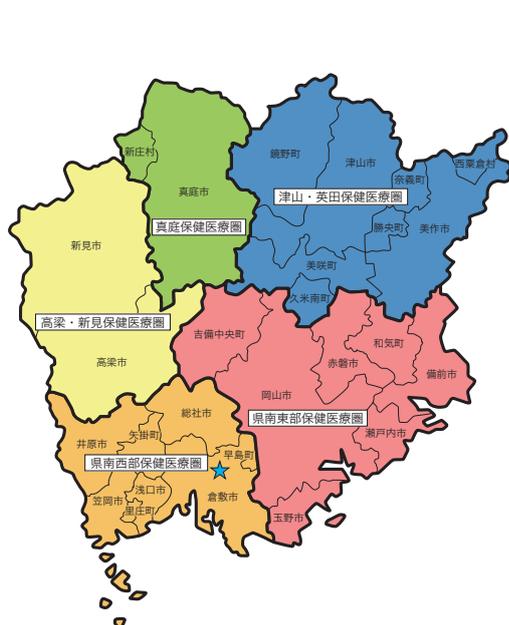
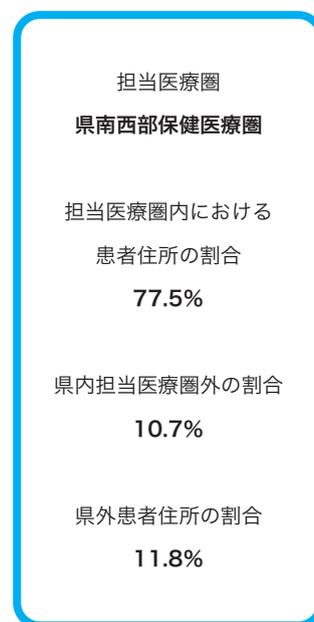
外科では、消化器領域とともに、臓器別専門外来として2017年に呼吸器外科外来を、2018年に肝胆膵外科外来を開設しました。それぞれの専門医を中心に幅広く手術を行っています。2020年4月には肝臓がんの腹腔鏡下手術の施設認定を取得したことで、肝臓がんの腹腔鏡下手術の一部（肝外側区域切除もしくは肝部分切除のみ）を保険診療で行えるようになりました。

今後も当院の特色を生かした質の高いがん診療を提供していくとともに、がん診療拠点病院と密に連携して岡山県内のがん診療連携の推進およびがん医療水準の向上に取り組んでまいります。

## 二次医療圏別 全登録数と登録割合

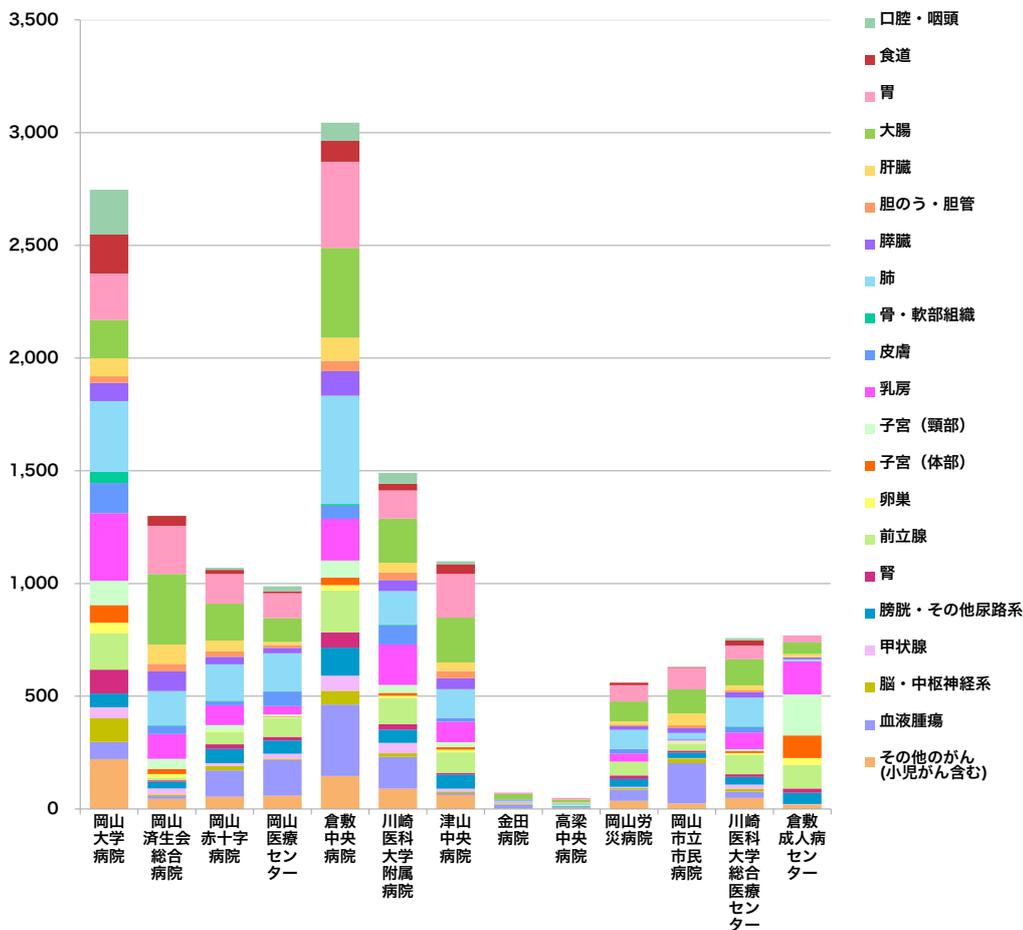
医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	55	6.5%	岡山市北区	15
			岡山市中区	4~6
			岡山市南区	15
			岡山市東区	4~6
			玉野市	7~9
			備前市	1~3
			瀬戸内市	1~3
			赤磐市	0
			和気郡和気町	0
加賀郡吉備中央町	1~3			
県南西部保健医療圏	657	77.5%	倉敷市	512
			笠岡市	18
			井原市	10
			総社市	58
			浅口市	29
			都窪郡早島町	4~6
			浅口郡里庄町	7~9
			小田郡矢掛町	17
			高梁・新見保健医療圏	23
			新見市	7~9
真庭保健医療圏	1~3	0.1%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	12	1.4%	津山市	7~9
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1~3
県外	100	11.8%		100
			合計	848

## 担当医療圏



# 岡山県院内がん登録 初回治療数 集計結果

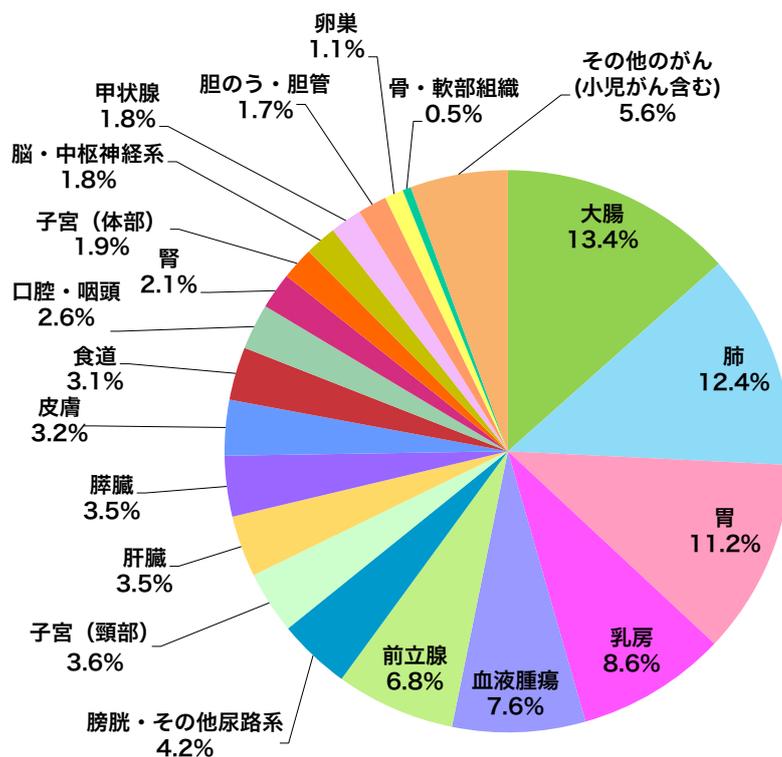
# 施設別 初回治療数



部位	岡山大学病院	岡山済生会総合病院	岡山赤十字病院	岡山医療センター	倉敷中央病院	川崎医科大学附属病院	津山中央病院	金田病院	高梁中央病院	岡山労災病院	岡山市立市民病院	川崎医科大学総合医療センター	倉敷成人病センター
口腔・咽頭	199	1~3	7~9	22	80	49	13	0	0	0	1~3	10	0
食道	173	44	18	7~9	93	29	43	0	0	11	1~3	23	0
胃	205	213	132	110	382	125	194	7~9	7~9	72	96	61	31
大腸	171	314	164	106	399	196	199	24	13	89	106	116	52
肝臓	80	85	48	13	102	43	38	0	1~3	14	53	22	14
胆のう・胆管	29	34	24	13	46	33	32	0	1~3	7~9	13	7~9	1~3
膵臓	81	87	34	24	109	49	49	4~6	1~3	16	21	24	7~9
肺	314	152	161	169	480	147	127	4~6	7~9	85	25	128	7~9
骨・軟部組織	49	1~3	1~3	1~3	7~9	4~6	0	0	0	0	0	1~3	0
皮膚	134	37	17	65	58	86	17	1~3	0	20	4~6	24	1~3
乳房	299	110	88	37	185	180	91	1~3	0	36	4~6	74	146
子宮(頸部)	108	45	27	7~9	75	35	22	1~3	1~3	1~3	7~9	7~9	182
子宮(体部)	78	22	0	1~3	34	13	11	1~3	0	0	1~3	7~9	100
卵巣	48	16	4~6	1~3	23	7~9	12	0	0	0	1~3	7~9	30
前立腺	161	12	53	85	186	117	91	1~3	1~3	60	31	87	105
腎	106	4~6	21	16	68	24	7~9	0	0	16	7~9	12	19
膀胱・その他尿路系	61	30	63	59	125	59	63	0	4~6	35	24	34	50
甲状腺	49	27	13	24	67	46	12	0	0	4~6	1~3	18	1~3
脳・中枢神経系	105	7~9	19	4~6	61	16	7~9	4~6	1~3	7~9	21	13	0
血液腫瘍	76	12	117	158	317	141	7~9	17	4~6	50	178	28	1~3
その他のがん (小児がん含む)	221	45	54	59	146	90	62	1~3	1~3	36	25	49	20
総計	2,747	1,301	1,070	988	3,044	1,491	1,099	73	49	560	630	758	770

# 部位別 初回治療数

部位別 全体

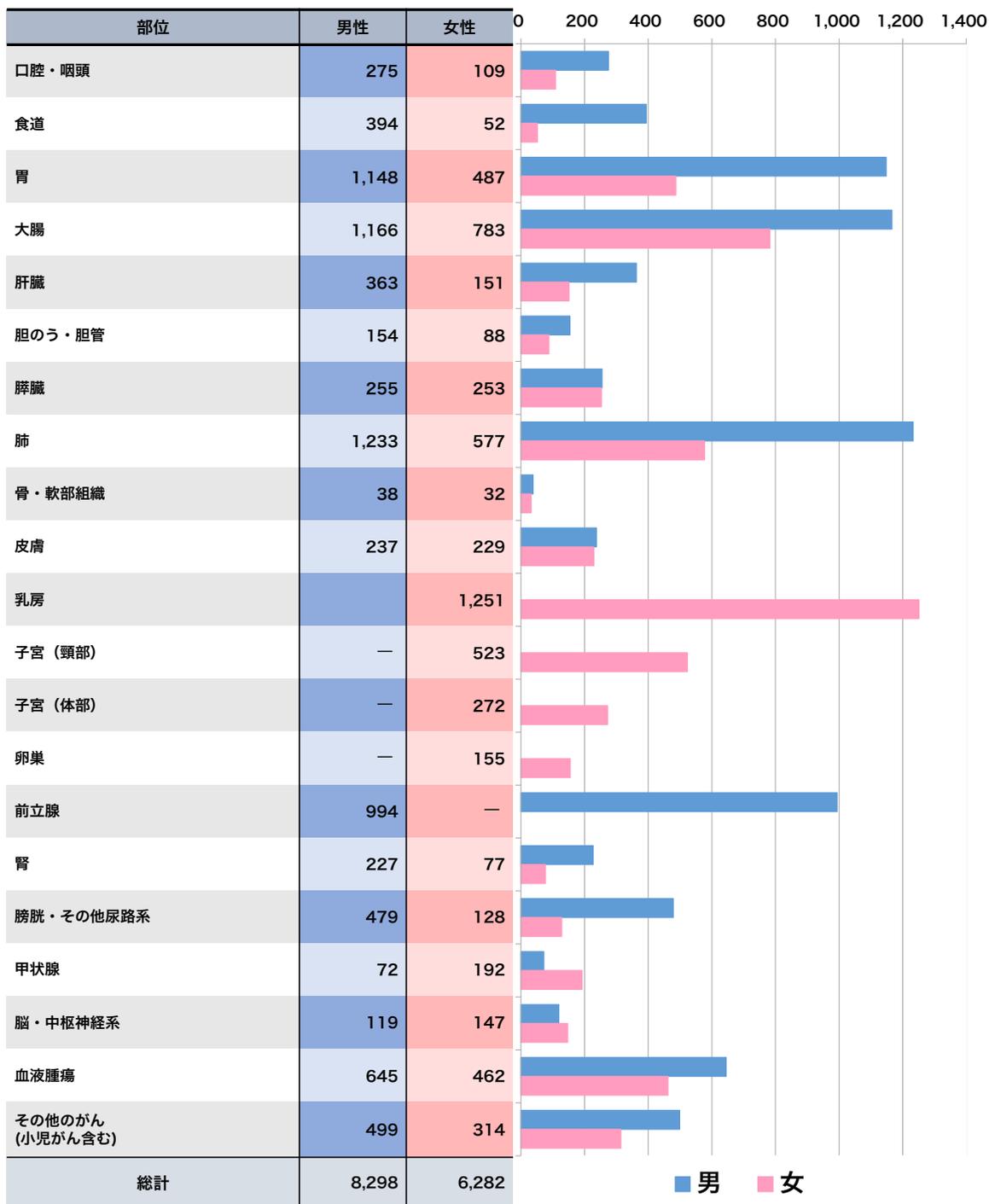


部位	登録数
大腸	1,949
肺	1,810
胃	1,635
乳房	1,251
血液腫瘍	1,107
前立腺	994
膀胱・その他尿路系	607
子宮(頸部)	523
肝臓	514
膵臓	508
皮膚	466
食道	446
口腔・咽頭	384
腎	304
子宮(体部)	272
脳・中枢神経系	266
甲状腺	264
胆のう・胆管	242
卵巣	155
骨・軟部組織	70
その他のがん(小児がん含む)	813
総計	14,580

## その他のがん 内訳

部位	登録数
小児がん	52
その他のがん	761
総計	813

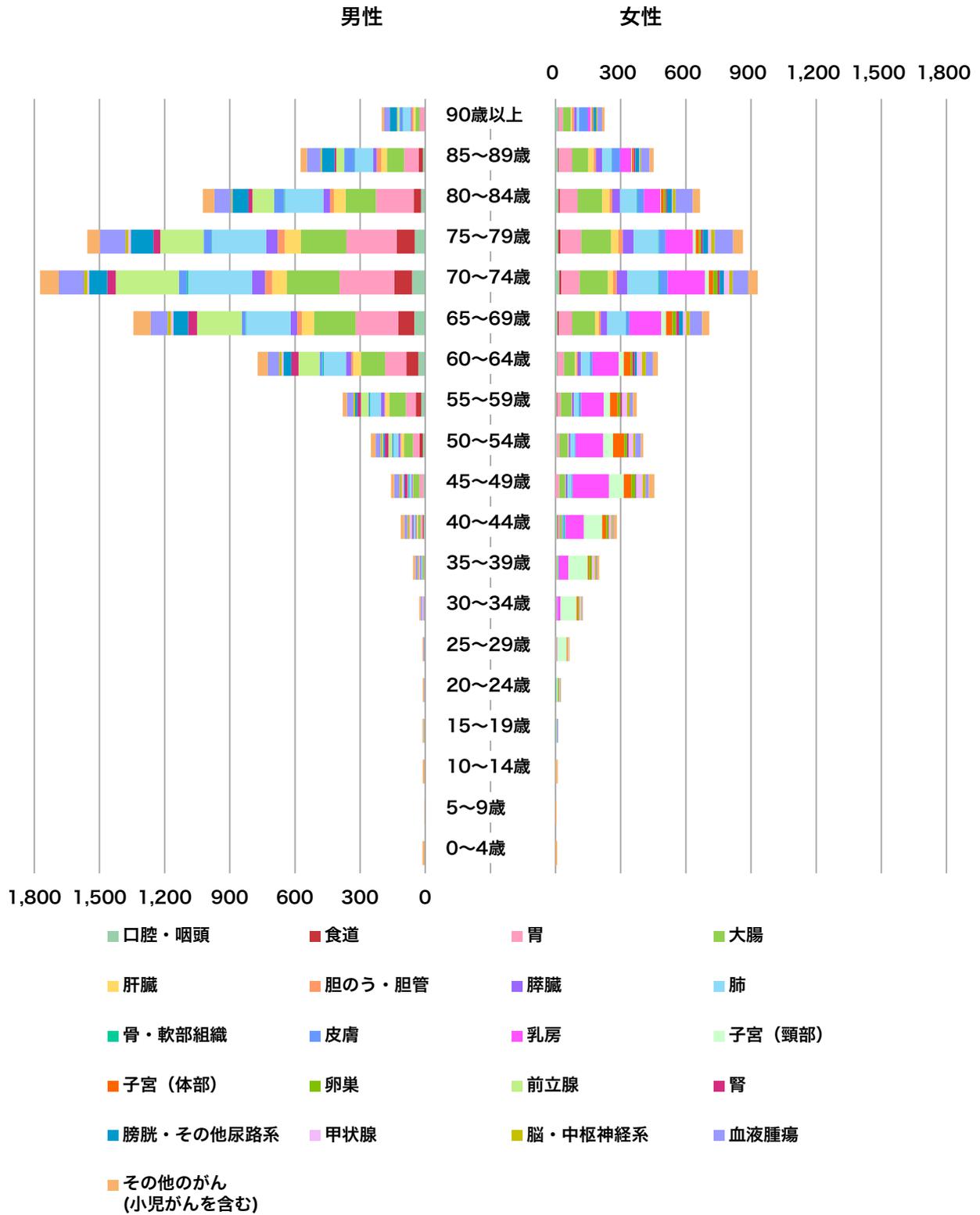
部位別 性別



その他のがん 内訳

部位	男性	女性
小児がん	29	23
その他のがん	470	291
総計	499	314

部位別 年齢階級別 性別



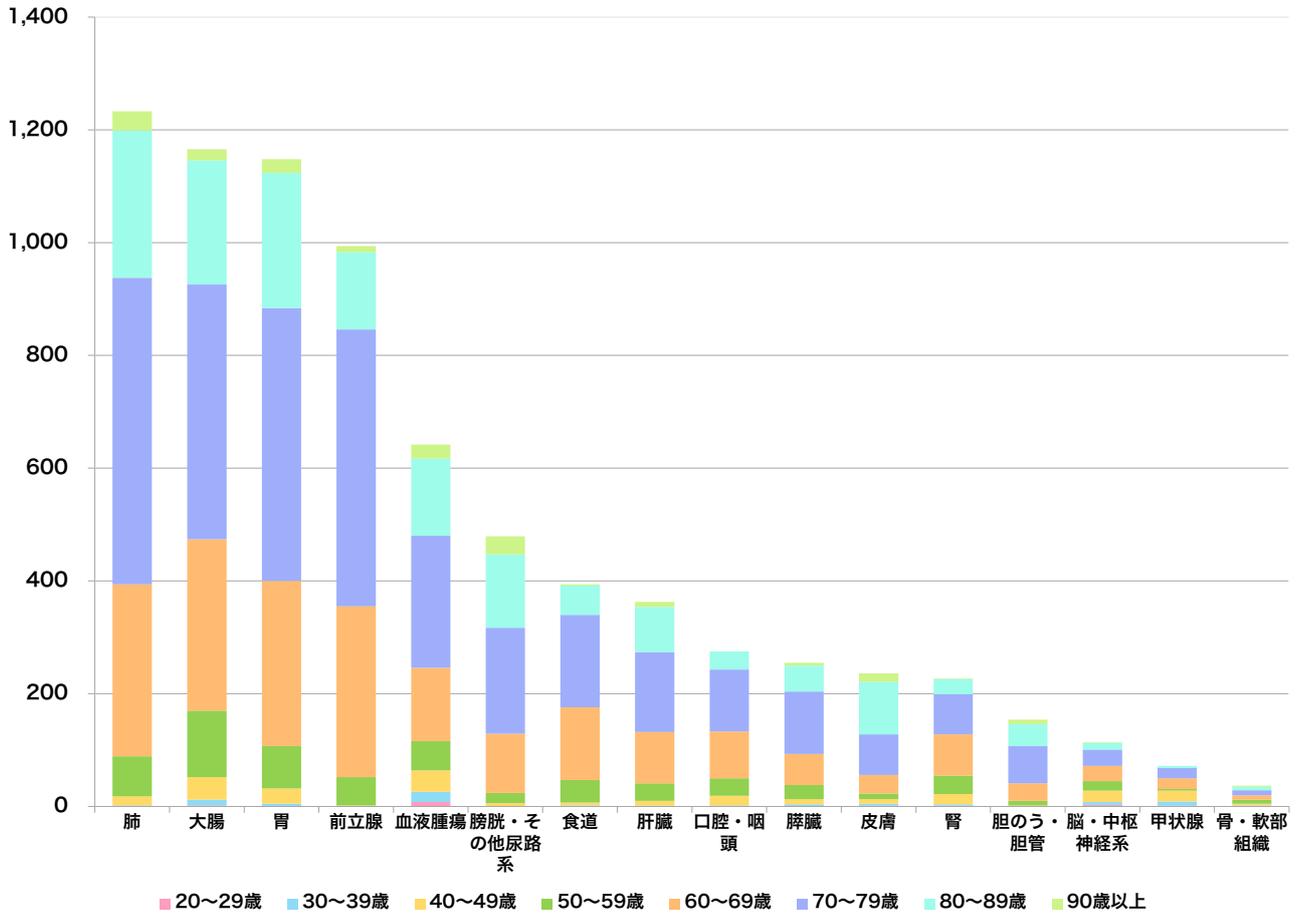
部位別 年齢階級別 男性

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆のう・胆管	膵臓	肺	骨・軟部組織	皮膚	前立腺	腎	膀胱・その他尿路系	甲状腺	脳・中枢神経系	血液腫瘍	(小児がん含む) その他のがん
90歳以上		1~3	24	20	7~9	7~9	4~6	34	1~3	15	11	1~3	32		1~3	25	12
85~89歳	12	18	67	80	26	21	16	84	1~3	47	37	7~9	58	1~3	4~6	62	29
80~84歳	20	34	173	140	54	18	30	177	4~6	46	100	19	72	1~3	4~6	75	53
75~79歳	49	83	231	210	74	33	52	250	1~3	36	200	32	104	11	13	118	58
70~74歳	61	81	253	242	68	33	59	294	7~9	36	291	39	84	7~9	16	116	86
65~69歳	51	74	195	193	55	22	31	203	1~3	18	206	41	68	11	15	78	80
60~64歳	32	55	98	111	36	7~9	24	102	4~6	15	97	32	37	7~9	12	52	47
55~59歳	19	25	45	77	18	4~6	17	49	4~6	4~6	34	17	10		7~9	30	19
50~54歳	12	15	30	41	13	4~6	7~9	22	1~3	4~6	16	16	7~9	1~3	7~9	22	23
45~49歳	7~9	1~3	17	28	1~3	1~3	4~6	10	1~3	4~6	1~3	14	4~6	7~9	11	24	15
40~44歳	7~9	4~6	10	12	7~9		4~6	4~6		4~6		4~6	1~3	11	7~9	14	17
35~39歳	1~3	1~3	1~3	7~9	1~3		1~3	1~3	1~3	4~6		1~3		4~6	4~6	11	12
30~34歳	1~3		1~3	1~3			1~3		1~3			1~3		1~3	1~3	7~9	7~9
25~29歳										1~3				1~3	1~3	4~6	4~6
20~24歳				1~3								1~3			1~3	1~3	4~6
15~19歳									1~3	1~3					4~6	1~3	1~3
10~14歳																	12
5~9歳																	4~6
~4歳																	13
総計	275	394	1,148	1,166	363	154	255	1,233	38	237	994	227	479	72	119	645	499

部位別 年齢階級別 女性

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆のう・胆管	膵臓	肺	骨・軟部組織	皮膚	乳房	子宮(頸部)	子宮(体部)	卵巣	腎	膀胱・その他尿路系	甲状腺	脳・中枢神経系	血液腫瘍	(小児がん含む) その他のがん
90歳以上	14	1~3	19	37	4~6	10	12	11		40	13	4~6	1~3	4~6	1~3	12	1~3	4~6	20	12
85~89歳	12	4~6	61	74	25	10	28	44	1~3	37	51	4~6	4~6	1~3	7~9	18	1~3	4~6	40	19
80~84歳	14	7~9	81	113	33	13	36	77	1~3	30	76	1~3	13	7~9	4~6	22	4~6	13	79	33
75~79歳	12	11	95	138	33	21	50	113	1~3	31	126	13	15	7~9	7~9	24	15	16	84	46
70~74歳	17	10	84	131	23	17	49	142	4~6	38	172	18	20	20	10	20	24	16	71	44
65~69歳	7~9	7~9	61	105	17	7~9	30	85	1~3	15	147	22	29	18	13	17	16	16	57	33
60~64歳	7~9	1~3	29	51	4~6	4~6	15	41	1~3	11	122	22	31	10	10	10	23	18	33	22
55~59歳	4~6	4~6	14	49	1~3	1~3	7~9	22	1~3	7~9	105	28	34	14	7~9	1~3	22	12	16	17
50~54歳	4~6	1~3	12	39	1~3	1~3	7~9	19	1~3	4~6	126	45	51	13	7~9	1~3	20	7~9	26	11
45~49歳			17	28	1~3		7~9	17	1~3	4~6	167	68	35	18	1~3	1~3	29	13	15	26
40~44歳	7~9	1~3	7~9	10	1~3		4~6	1~3	4~6	4~6	84	85	18	11	1~3		10	7~9	4~6	14
35~39歳	1~3	1~3	1~3	4~6				1~3	1~3	1~3	44	89	7~9	13			14	7~9	4~6	7~9
30~34歳	1~3	1~3	1~3	1~3			1~3	1~3		1~3	14	74	7~9	7~9			7~9	1~3	1~3	1~3
25~29歳	1~3		1~3	1~3	1~3				1~3		1~3	43	1~3	1~3			1~3	1~3	1~3	1~3
20~24歳				1~3			1~3	1~3	1~3	1~3	1~3	4~6		4~6			4~6	1~3	1~3	1~3
15~19歳									1~3	1~3		1~3		1~3				1~3	4~6	
10~14歳																				10
5~9歳																				4~6
~4歳																				7~9
総計	109	52	487	783	151	88	253	577	32	229	1,251	523	272	155	77	128	192	147	462	314

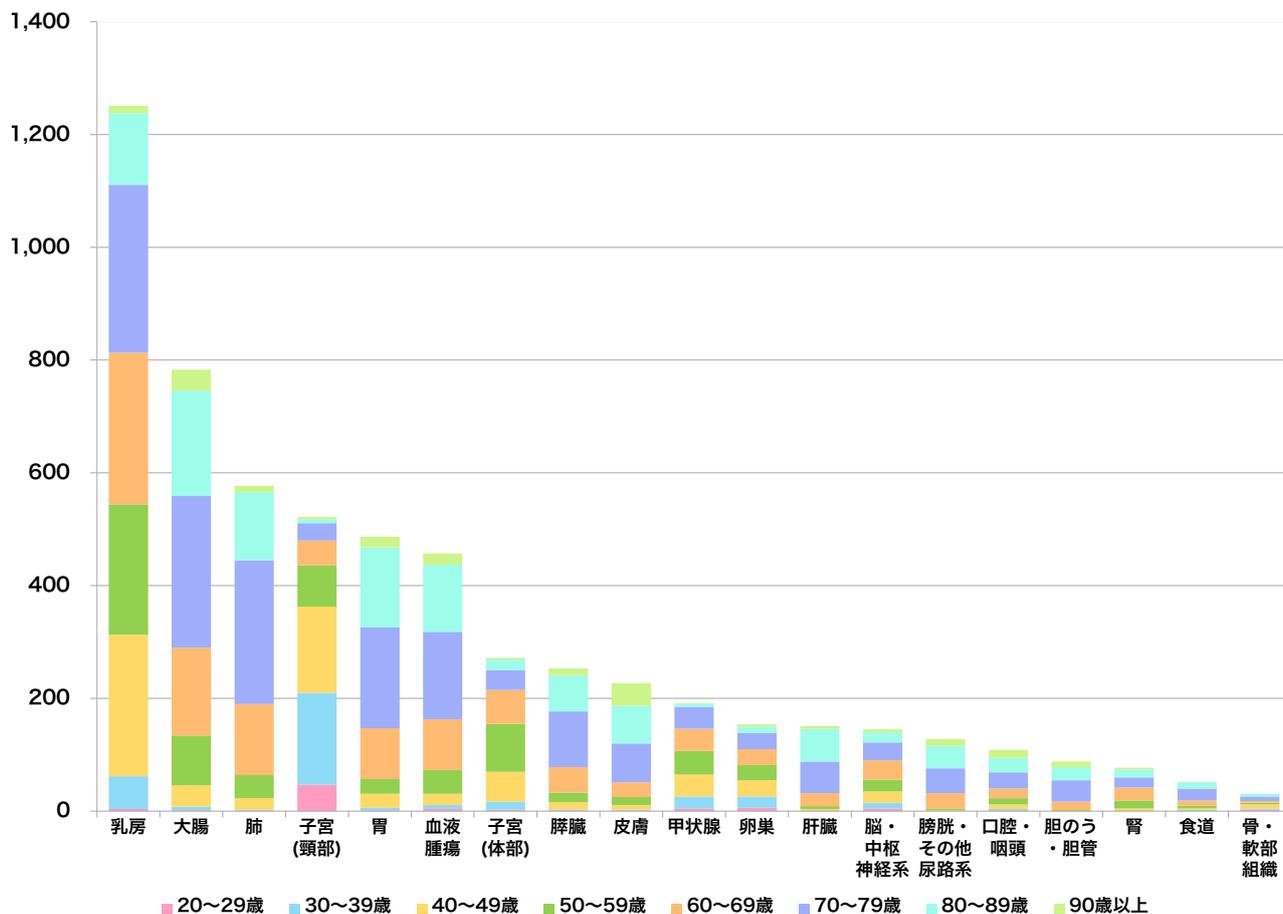
部位別 年齢階級別 男性



	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	合計
肺		1~3	16	71	305	544	261	34	1,233
大腸	1~3	10	40	118	304	452	220	20	1,166
胃		4~6	27	75	293	484	240	24	1,148
前立腺			1~3	50	303	491	137	11	994
血液腫瘍	7~9	18	38	52	130	234	137	25	642
膀胱・その他尿路系			4~6	18	105	188	130	32	479
食道		1~3	4~6	40	129	164	52	1~3	394
肝臓		1~3	7~9	31	91	142	80	7~9	363
口腔・咽頭		1~3	17	31	83	110	32		275
膵臓		4~6	7~9	25	55	111	46	4~6	255
皮膚	1~3	4~6	7~9	10	33	72	93	15	236
腎	1~3	1~3	18	33	73	71	27	1~3	227
胆のう・胆管			1~3	7~9	31	66	39	7~9	154
脳・中枢神経系	1~3	4~6	20	17	27	29	12	1~3	114
甲状腺	1~3	7~9	19	1~3	19	18	4~6		72
骨・軟部組織		1~3	1~3	7~9	7~9	7~9	4~6	1~3	37
その他のがん	7~9	19	32	42	127	144	82	12	467
総計	25	85	271	631	2,116	3,329	1,598	201	8,256

注) その他のがんについては数値のみ表記

部位別 年齢階級別 女性

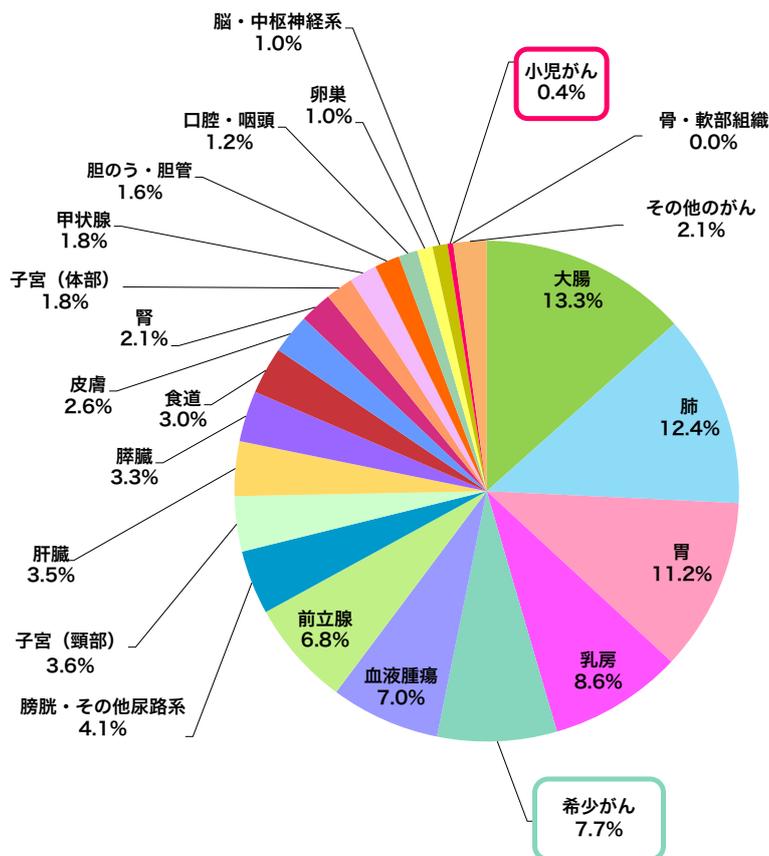


	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	合計
乳房	4~6	58	251	231	269	298	127	13	1,251
大腸	1~3	4~6	38	88	156	269	187	37	783
肺	1~3	1~3	20	41	126	255	121	11	577
子宮 (頸部)	47	163	153	73	44	31	7~9	4~6	522
胃	1~3	4~6	25	26	90	179	142	19	487
血液腫瘍	4~6	7~9	20	42	90	155	119	20	457
子宮 (体部)	1~3	14	53	85	60	35	19	1~3	272
膵臓	1~3	1~3	13	17	45	99	64	12	253
皮膚	1~3	1~3	7~9	14	26	69	67	40	227
甲状腺	4~6	21	39	42	39	39	4~6	1~3	192
卵巣	4~6	20	29	27	28	29	11	4~6	154
肝臓	1~3		1~3	4~6	23	56	58	4~6	151
脳・中枢神経系	4~6	10	20	21	34	32	18	4~6	145
膀胱・その他尿路系			1~3	1~3	27	44	40	12	128
口腔・咽頭	1~3	1~3	7~9	11	17	29	26	14	109
胆のう・胆管				1~3	15	38	23	10	88
腎			4~6	14	23	18	14	1~3	77
食道		1~3	1~3	4~6	7~9	21	11	1~3	52
骨・軟部組織	1~3	1~3	7~9	1~3	1~3	7~9	4~6		31
その他のがん	4~6	10	40	28	55	90	52	12	291
	89	327	737	778	1,179	1,794	1,117	226	6,247

注) その他のがんについては数値のみ表記

# 部位別 初回治療数（小児がん・希少がん別集計）

部位別 全体



部位	登録数
大腸	1,946
肺	1,810
胃	1,627
乳房	1,251
希少がん	1,117
血液腫瘍	1,022
前立腺	992
膀胱・その他尿路系	603
子宮(頸部)	520
肝臓	514
膵臓	480
食道	443
皮膚	374
腎	303
子宮(体部)	259
甲状腺	258
胆のう・胆管	236
口腔・咽頭	176
卵巣	146
脳・中枢神経系	140
小児がん	52
骨・軟部組織	1~3
その他のがん	309
総計	14,580

希少がん 内訳

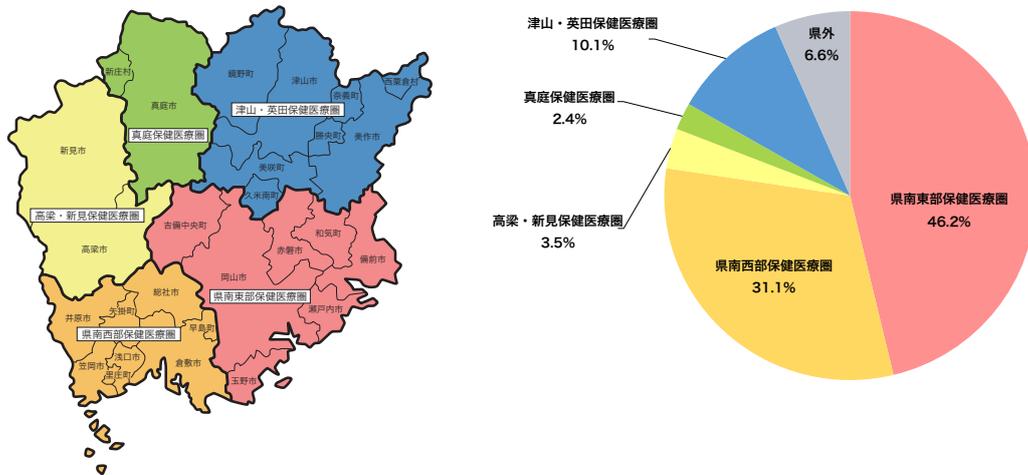
希少がん 種類	登録数
鼻腔、副鼻腔の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF NASAL CAVITY AND SINUSES)	17
鼻咽頭の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF NASOPHARYNX)	7~9
大唾液腺、唾液腺の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF MAJOR SALIVARY GLANDS AND SALIVARY-GLAND TYPE TUMOURS)	26
口腔の上皮性腫瘍 (Squamous cell carcinoma with variants of oral cavity)	175
小腸の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF SMALL INTESTINE)	32
肛門管の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF ANAL CANAL)	7~9
気管の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOUR OF TRACHEA)	1~3
胸腺の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF THYMUS)	48
子宮の上皮間葉系の混合性腫瘍 (MIXED EPITHELIAL AND MESENCHYMAL TUMOURS OF UTERUS)	15
卵巣の非上皮性腫瘍 (NON EPITHELIAL TUMOURS OF OVARY)	7~9
外陰、陰の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF VULVA AND VAGINA)	22
胎盤のトロボプラスト性腫瘍 (TROPHOBLASTIC TUMOUR OF PLACENTA)	1~3
精巣、精巣上体の腫瘍 (TUMOURS OF TESTIS AND PARATESTIS)	30
陰茎の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF PENIS)	12
眼と付属器の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF EYE AND ADNEXA)	4~6
中耳の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF MIDDLE EAR)	0
悪性中皮腫 (MALIGNANT MESOTHELIOMA)	29
皮膚のメラノーマ (MALIGNANT SKIN MELANOMA)	56
粘膜のメラノーマ (MALIGNANT MELANOMA OF MUCOSA)	4~6
ぶどう膜のメラノーマ (MALIGNANT MELANOMA OF UVEA)	0
皮膚付属器腫瘍 (ADNEXAL CARCINOMA OF SKIN)	29
胎芽性腫瘍 (EMBRYONAL NEOPLASMS)	0
性腺外胚細胞腫瘍 (EXTRAGONADAL GERM CELL TUMOURS)	4~6
軟部肉腫 (SOFT TISSUE SARCOMA)	138
骨肉腫 (BONE SARCOMA)	15
GIST、悪性 (GASTROINTESTINAL STROMAL SARCOMA)	86
カポジ肉腫 (KAPOSI'S SARCOMA)	0
神経内分泌腫瘍 (NEUROENDOCRINE TUMOURS)	140
中枢神経のグリオーマ (GLIAL TUMOURS OF CENTRAL NERVOUS SYSTEM (CNS))	59
中枢神経、松果体の非グリオーマ (NON GLIAL TUMOURS OF CNS AND PINEAL GLAND)	1~3
髄膜腫 (MALIGNANT MENINGIOMAS)	59
末梢神経、脳神経、自律神経のグリオーマ (GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM)	0
末梢神経、脳神経、自律神経、傍神経節の非グリオーマ (NON-GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM AND PARAGANGLIA)	4~6
T及びNK細胞リンパ腫 (Non Hodgkin Mature T cell and NK-cell neoplasms)	63
骨髄異形成症候群 (MYELODYSPLASTIC/MYELOPROLIFERATIVE DISEASES)	20
組織球、樹状細胞性腫瘍 (HISTIOCYTIC AND DENDRITIC CELL NEOPLASMS)	1~3

※複数該当の場合は両方でカウント

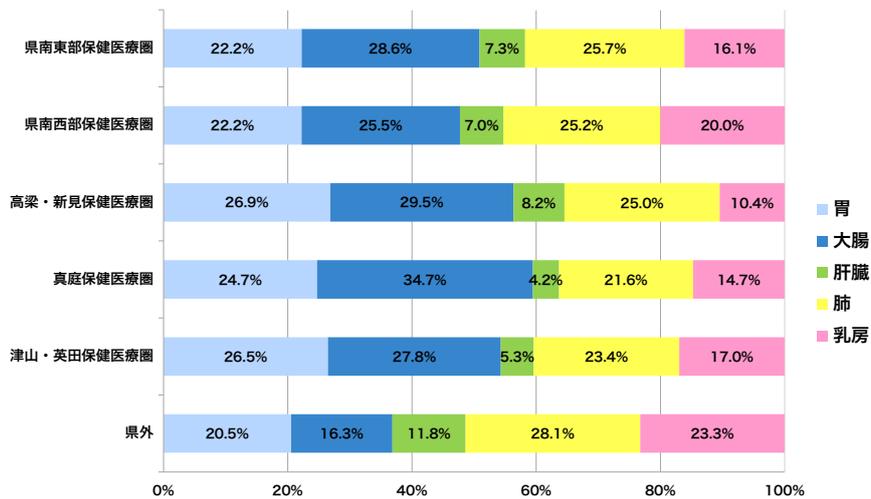
## 二次保健医療圏別の登録数

### 二次保健医療圏別 登録数と登録割合

圏域名	市町村名	13施設登録数	割合
県南東部保健医療圏	岡山市北区 岡山市中区 岡山市南区 岡山市東区 玉野市 備前市 瀬戸内市 赤磐市 和気郡和気町 加賀郡吉備中央町	6,742	46.2%
県南西部保健医療圏	倉敷市 笠岡市 井原市 総社市 浅口市 都窪郡早島町 浅口郡里庄町 小田郡矢掛町	4,540	31.1%
高梁・新見保健医療圏	高梁市 新見市	512	3.5%
真庭保健医療圏	真庭市 真庭郡新庄村	347	2.4%
津山・英田保健医療圏	津山市 美作市 苫田郡鏡野町 勝田郡勝央町 勝田郡奈義町 英田郡西粟倉村 久米郡久米南町 久米郡美咲町	1,479	10.1%
県外		960	6.6%
合計		14,580	100.0%



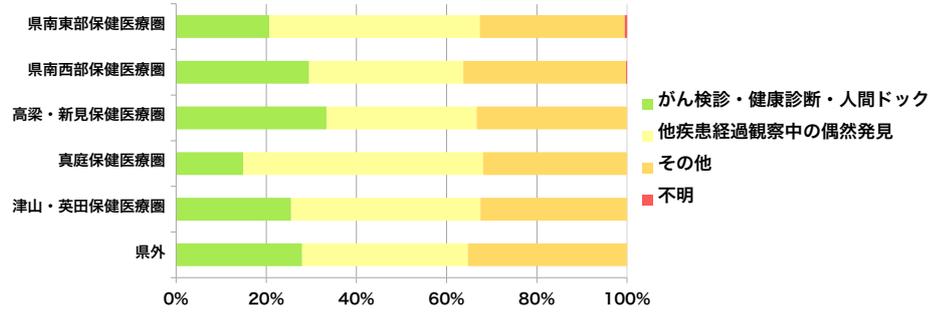
### 二次保健医療圏別 登録数と登録割合（5大がん）



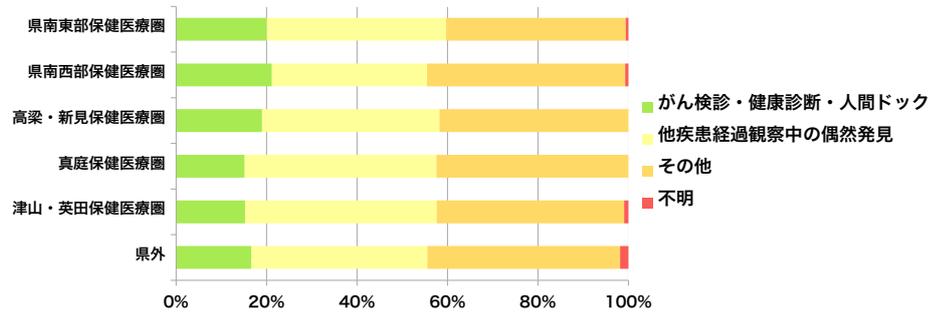
保健医療圏	医療圏別合計	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
県南東部	3,432	763 (46.7%)	983 (50.4%)	252 (49.0%)	881 (48.7%)	553 (44.2%)
県南西部	2,183	485 (29.7%)	557 (28.6%)	153 (29.8%)	551 (30.4%)	437 (34.9%)
高梁・新見	268	72 (4.4%)	79 (4.1%)	22 (4.3%)	67 (3.7%)	28 (2.2%)
真庭	190	47 (2.9%)	66 (3.4%)	7~9 (1.6%)	41 (2.3%)	28 (2.2%)
津山・英田	755	200 (12.2%)	210 (10.8%)	40 (7.8%)	177 (9.8%)	128 (10.2%)
県外	331	68 (4.2%)	54 (2.8%)	39 (7.6%)	93 (5.1%)	77 (6.2%)

二次保健医療圏別 部位別 発見経緯

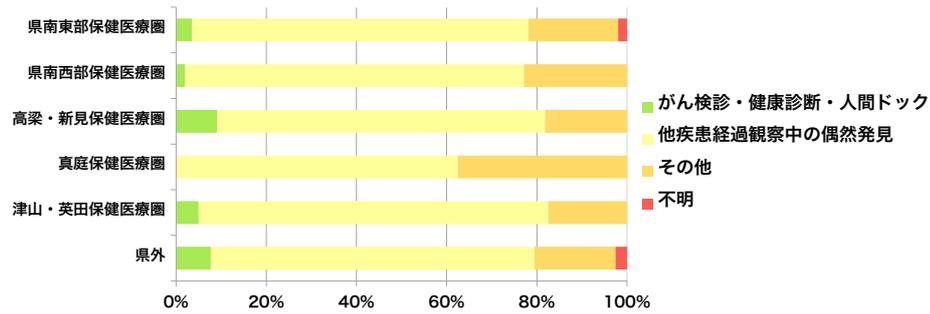
胃



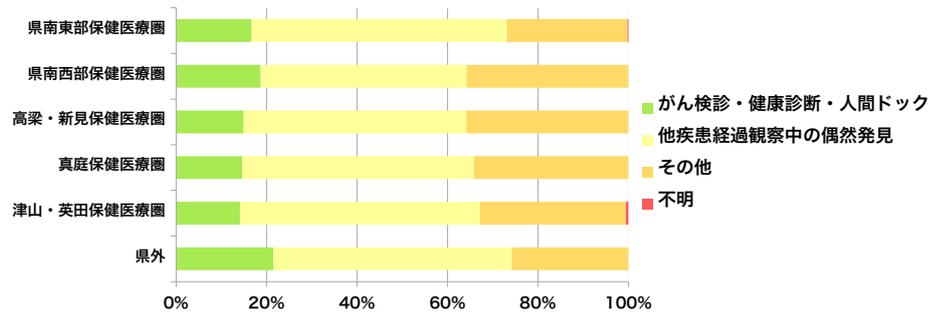
大腸



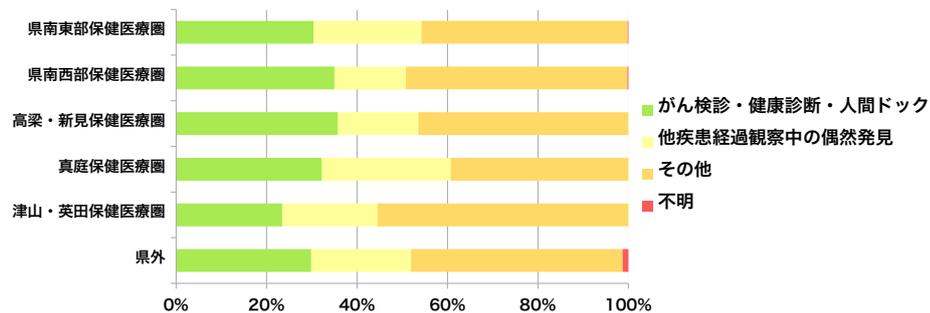
肝臓



肺

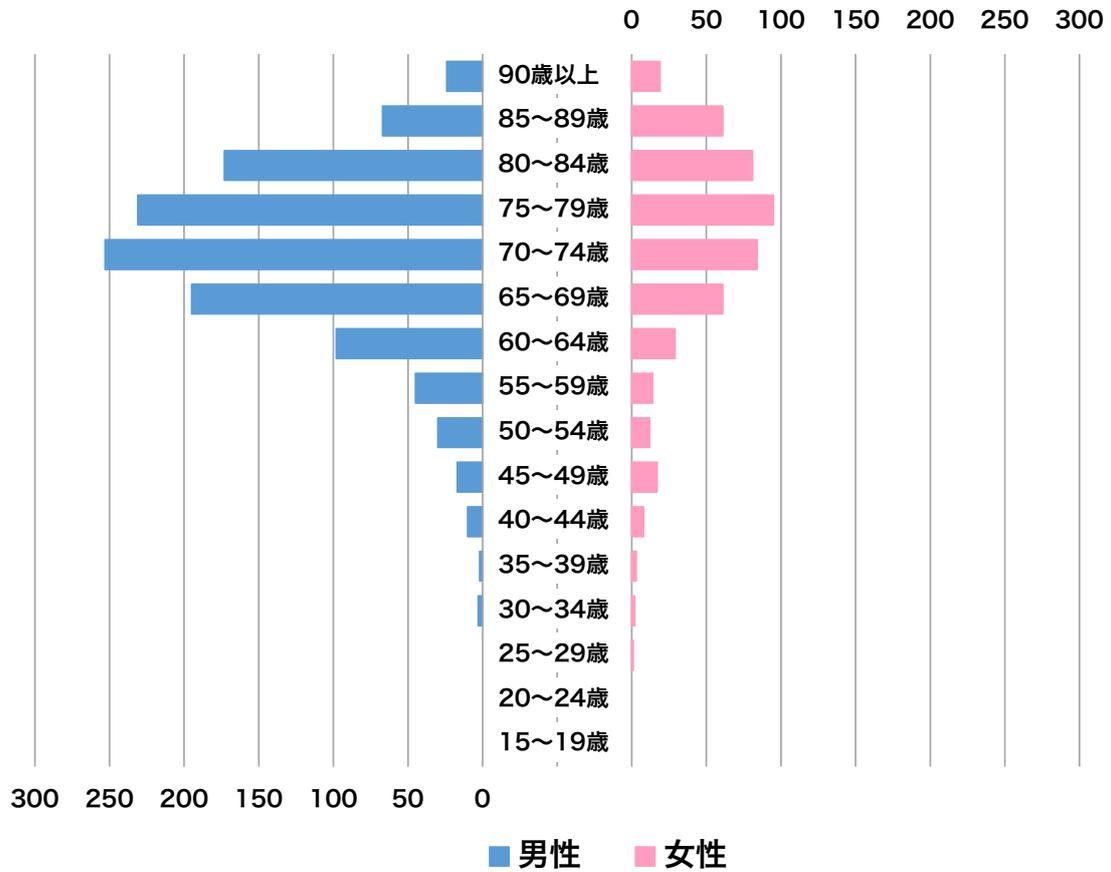


乳房

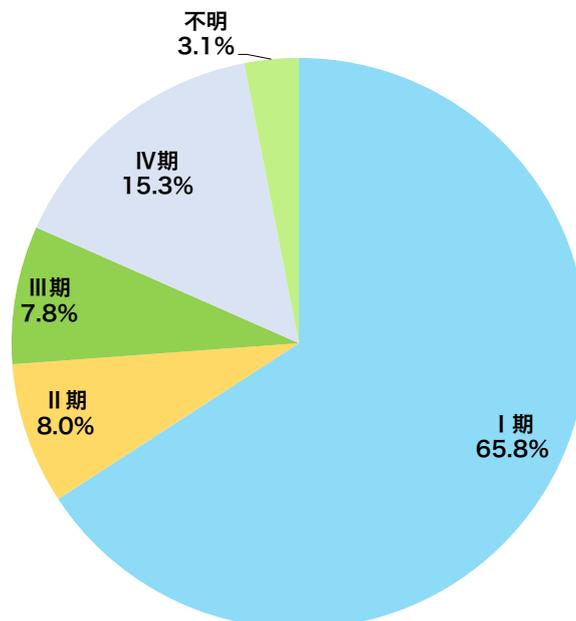


胃

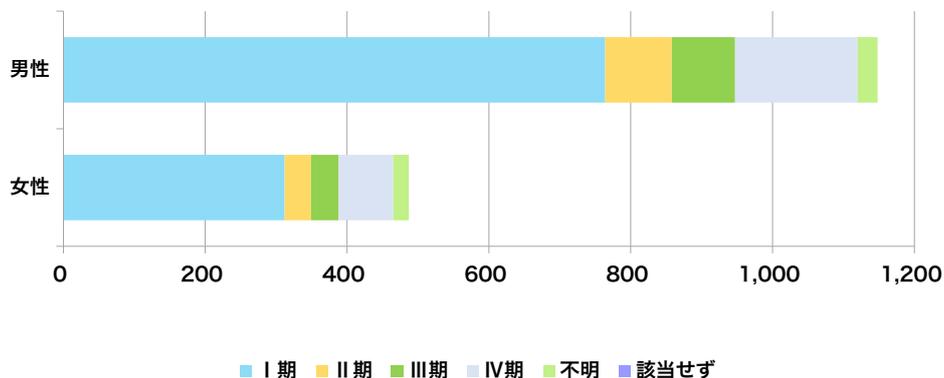
## 胃 年齢階級別



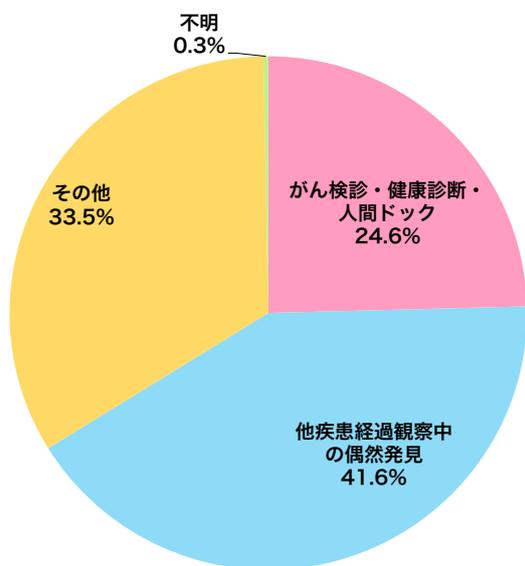
## 胃 ステージ 全体



胃 ステージ 性別



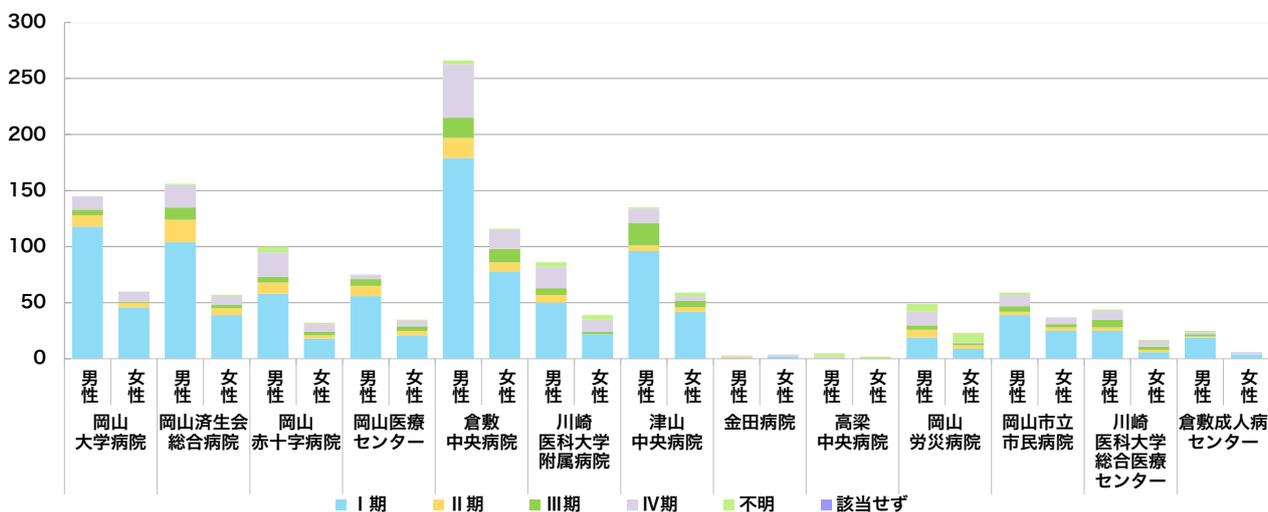
胃 発見経緯 全体



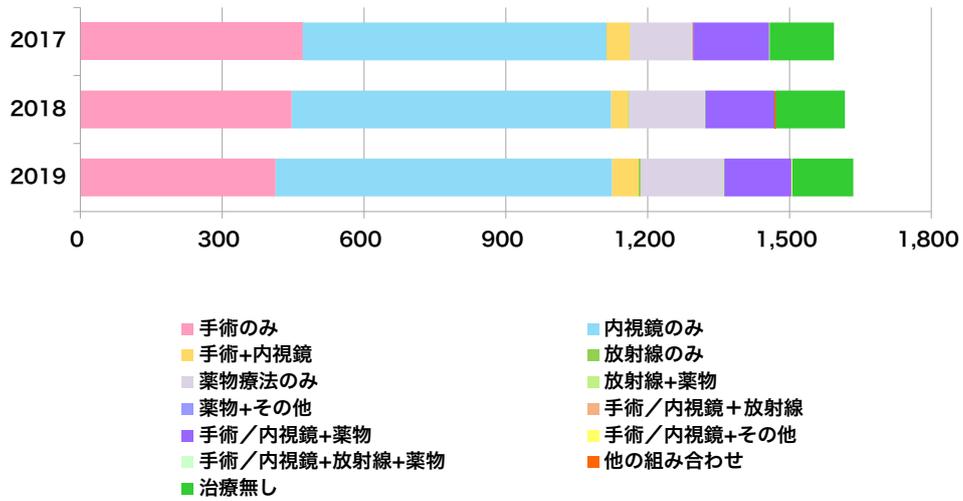
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	402
他疾患経過観察中の偶然発見	680
その他	548
不明	4~6
合計	1,635

※その他…自覚症状による受診を含む

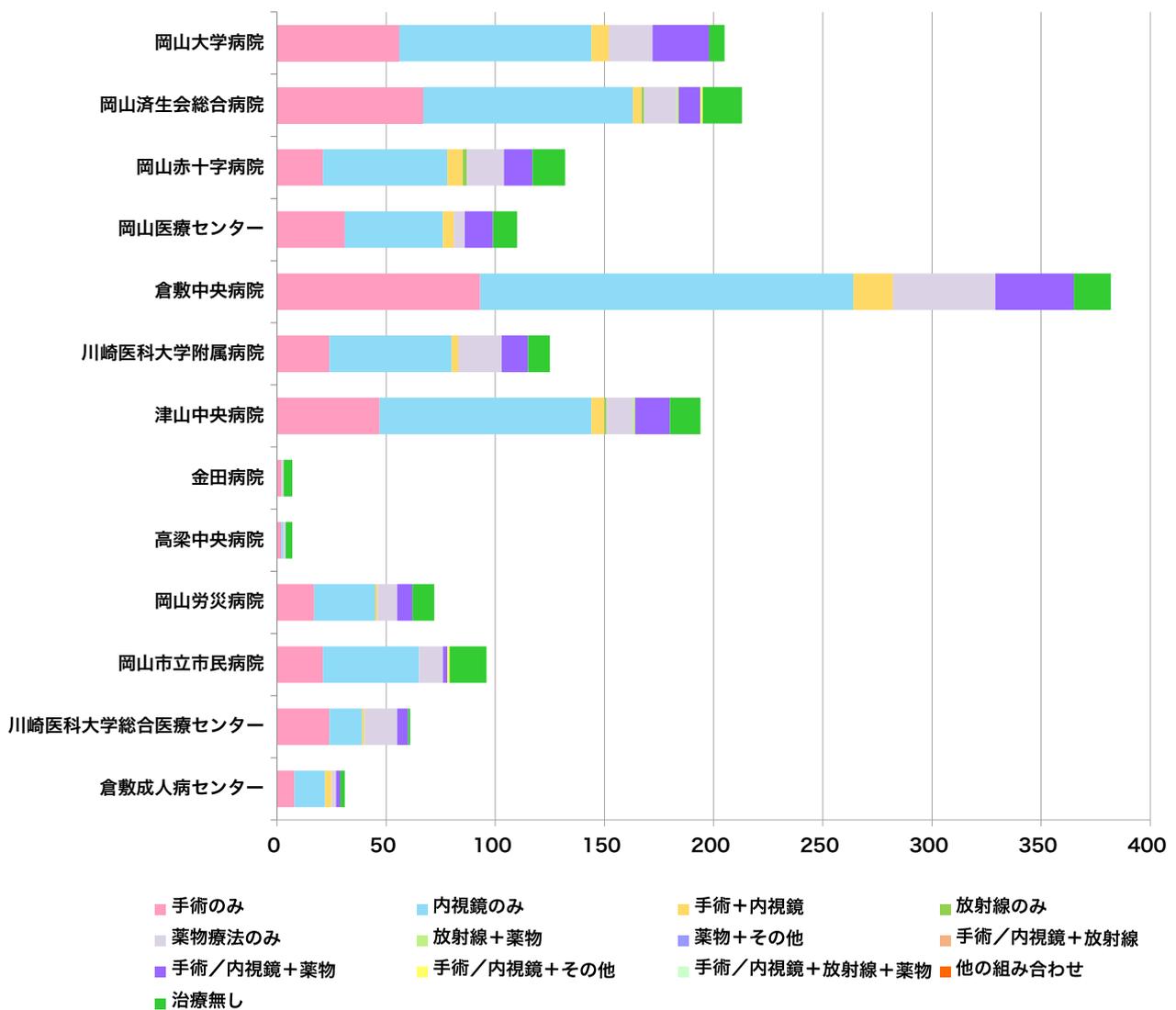
胃 ステージ 施設別



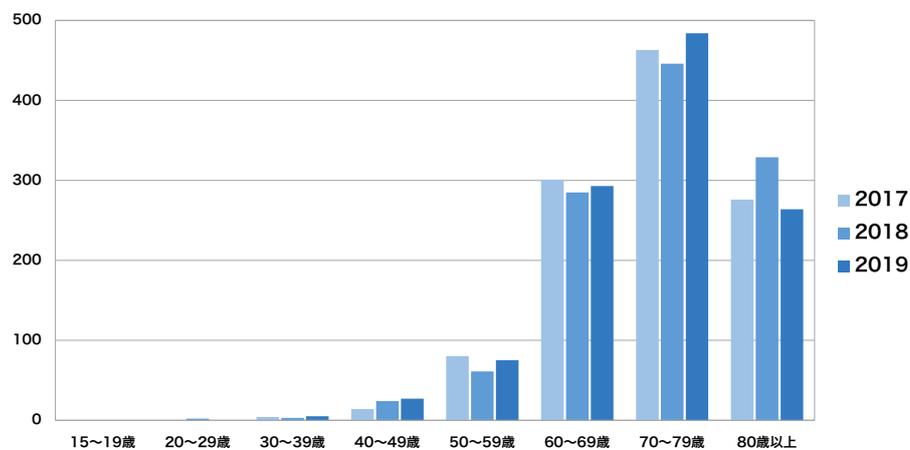
## 胃 初回治療法 年次推移



## 胃 初回治療法 施設別

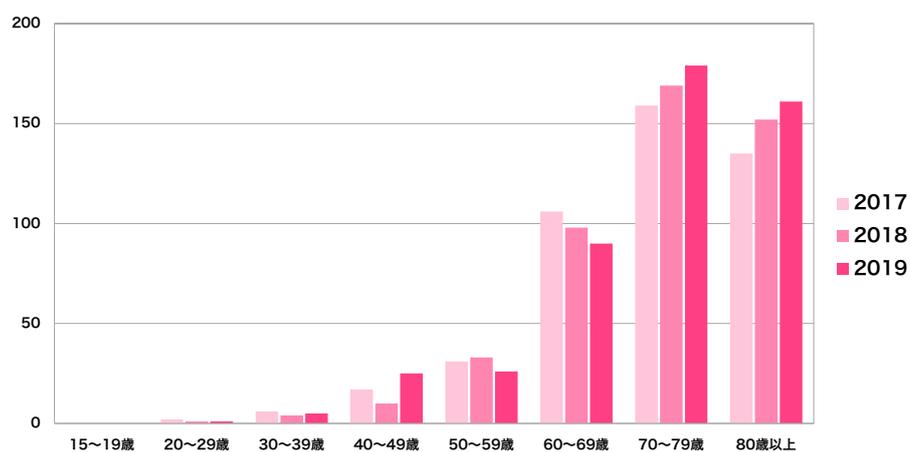


## 胃 年齢階級別 男性 年次推移



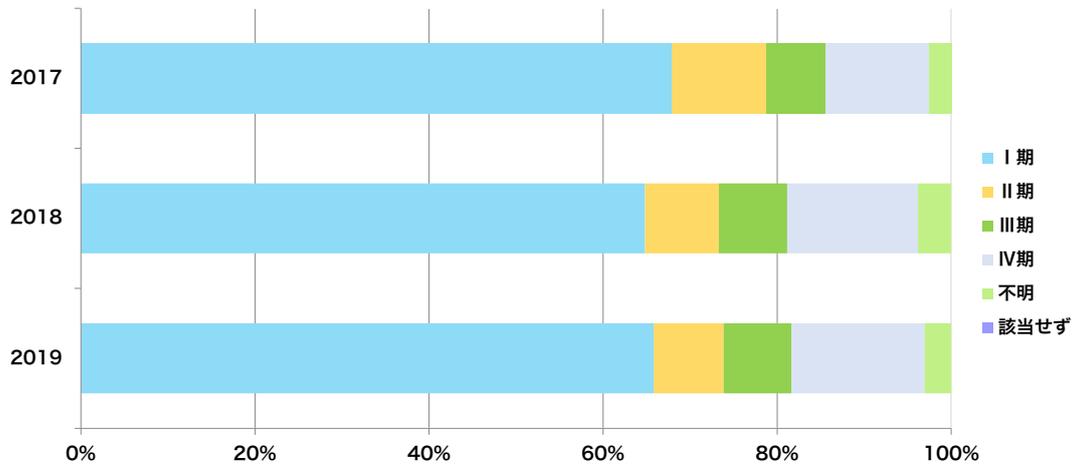
	2017	2018	2019
80歳以上	276	329	264
70~79歳	463	446	484
60~69歳	301	285	293
50~59歳	80	61	75
40~49歳	14	24	27
30~39歳	4~6	1~3	4~6
20~29歳		1~3	
15~19歳			
総計	1,138	1,150	1,148

## 胃 年齢階級別 女性 年次推移



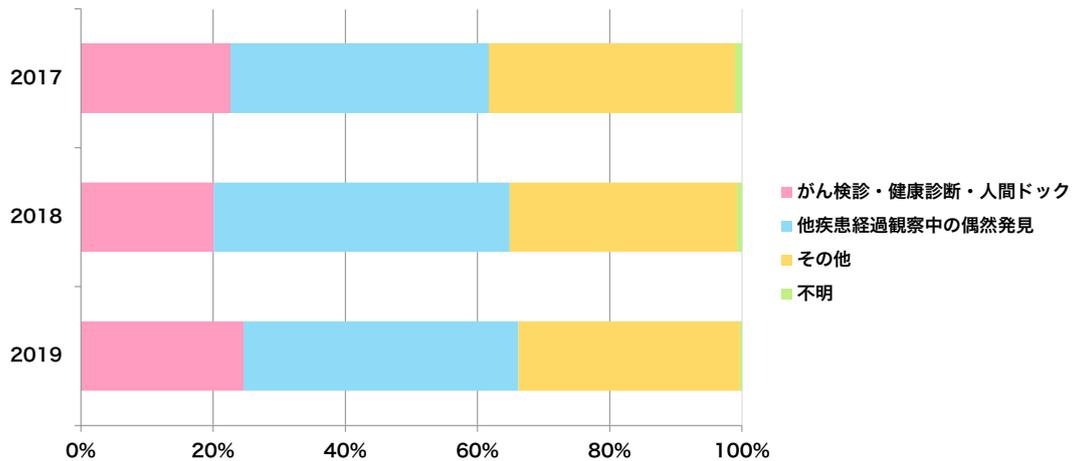
	2017	2018	2019
80歳以上	135	152	161
70~79歳	159	169	179
60~69歳	106	98	90
50~59歳	31	33	26
40~49歳	17	10	25
30~39歳	4~6	4~6	4~6
20~29歳	1~3	1~3	1~3
15~19歳			
総計	456	467	487

## 胃 ステージ別 年次推移



	2017	2018	2019
I期	1,083	1,048	1,076
II期	173	137	131
III期	108	127	128
IV期	189	243	250
不明	41	62	50
該当せず			
合計	1,594	1,617	1,635

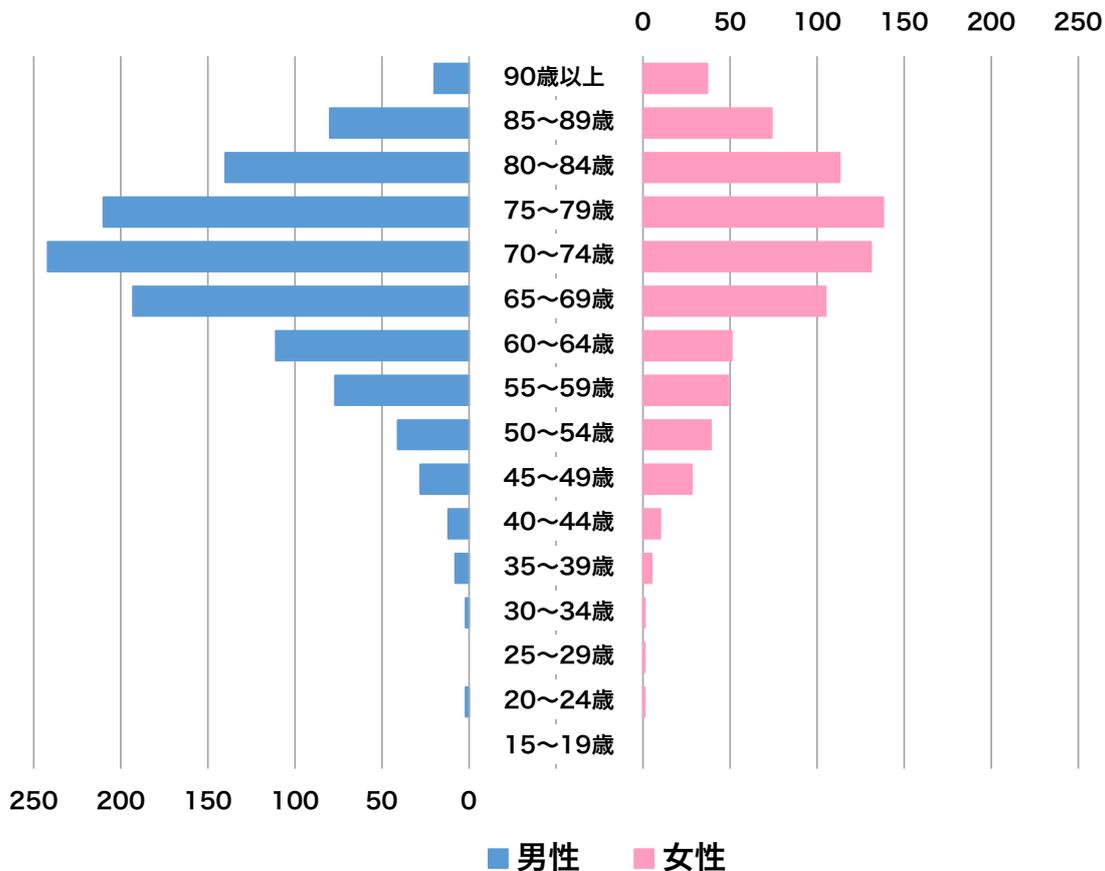
## 胃 発見経緯別 年次推移



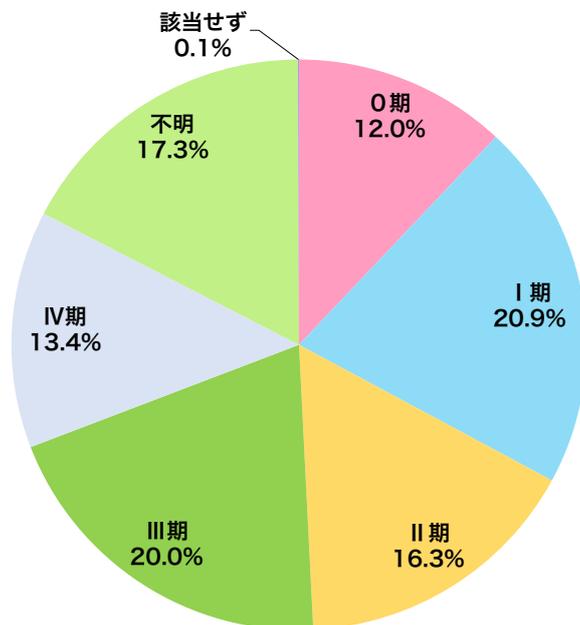
	2017	2018	2019
がん検診・健康診断・人間ドック	361	325	402
他疾患経過観察中の偶然発見	624	724	680
その他	594	556	548
不明	15	12	4~6
合計	1,594	1,617	1,635

大腸

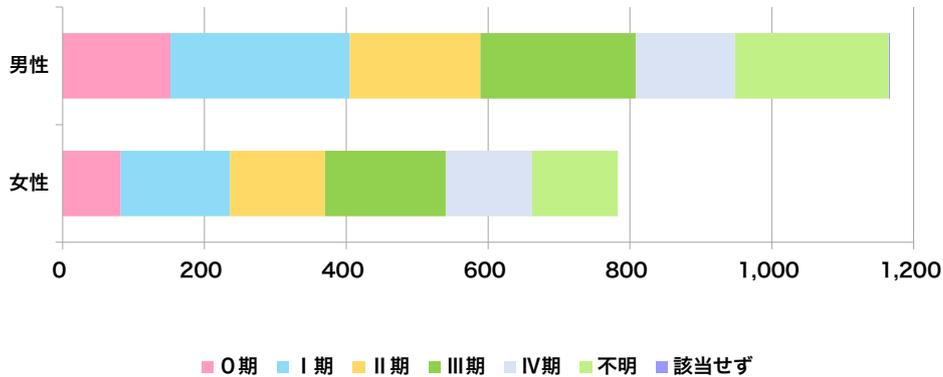
大腸 年齢階級別



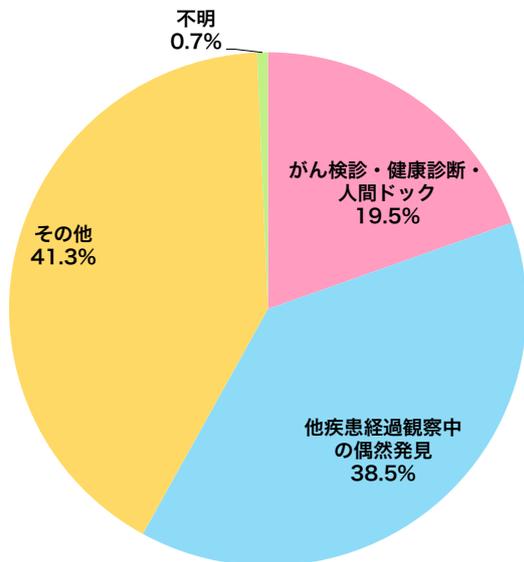
大腸 ステージ 全体



大腸 ステージ 性別



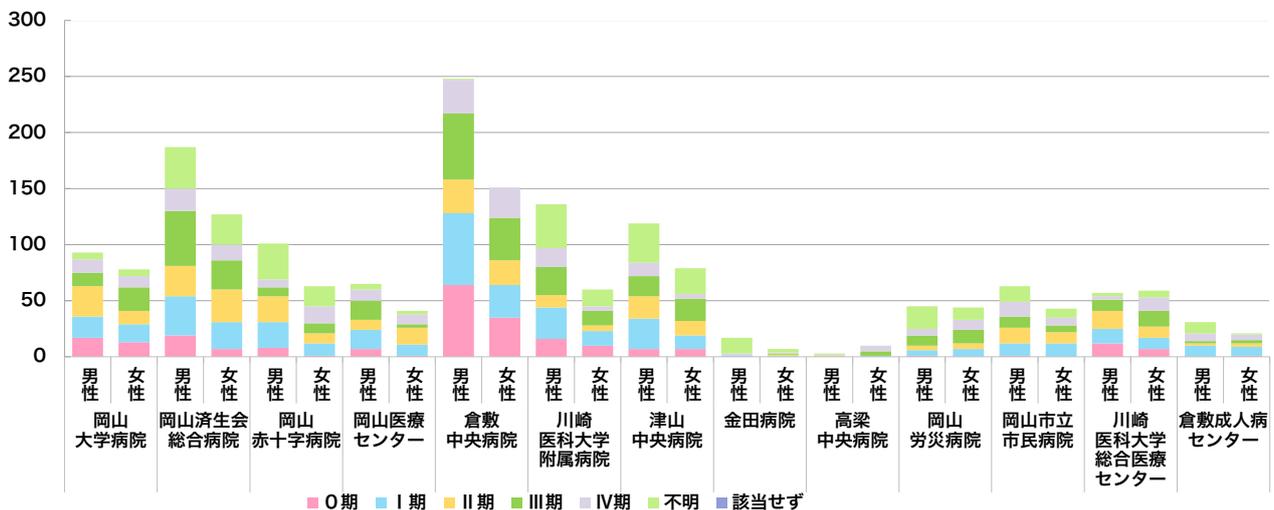
大腸 発見経緯 全体



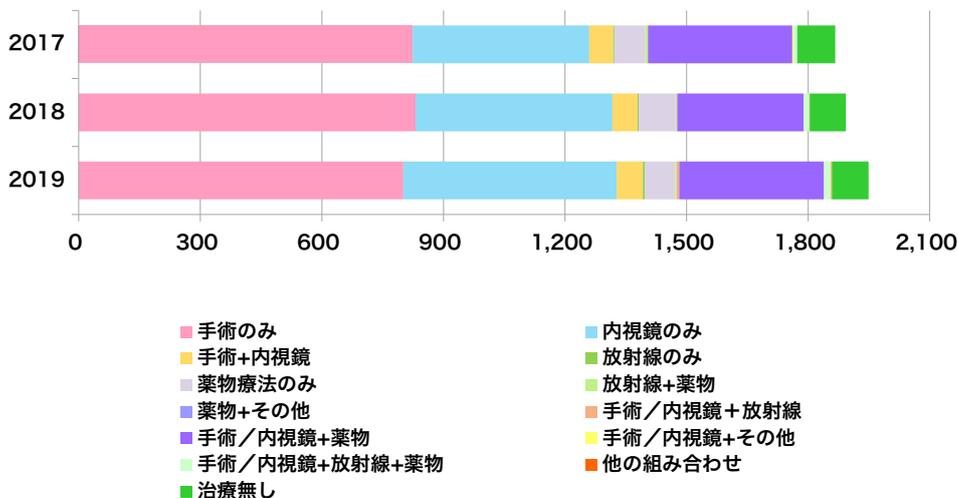
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	381
他疾患経過観察中の偶然発見	750
その他	805
不明	13
合計	1,949

※その他…自覚症状による受診を含む

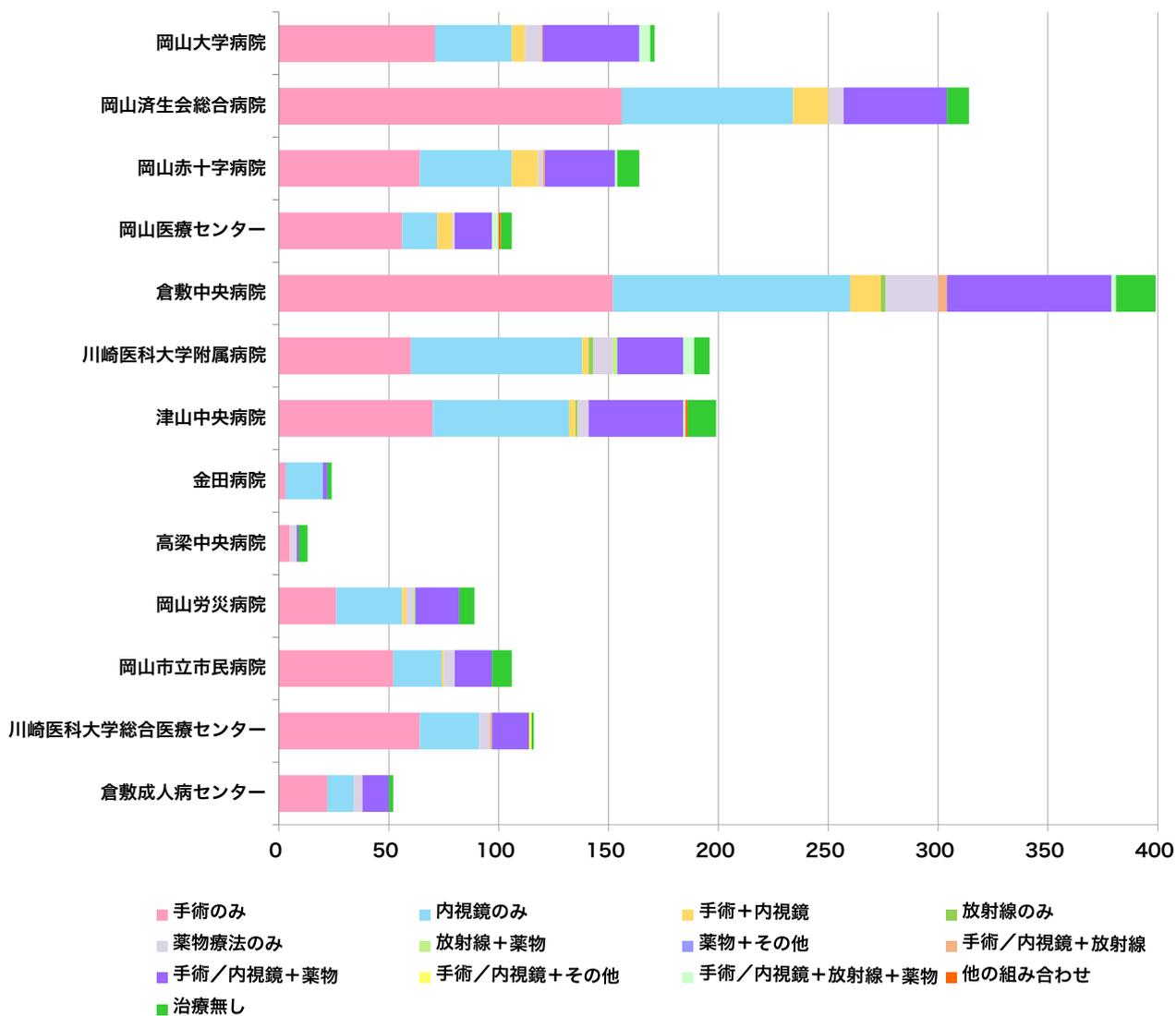
大腸 ステージ 施設別



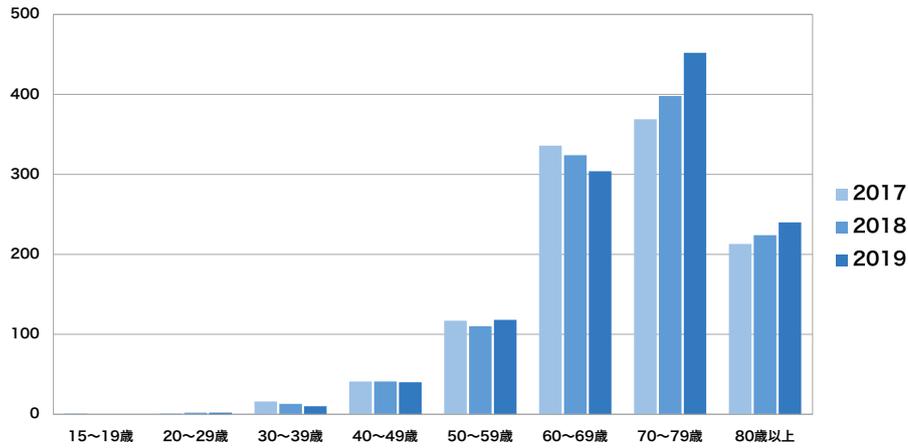
大腸 初回治療法 年次推移



大腸 初回治療法 施設別

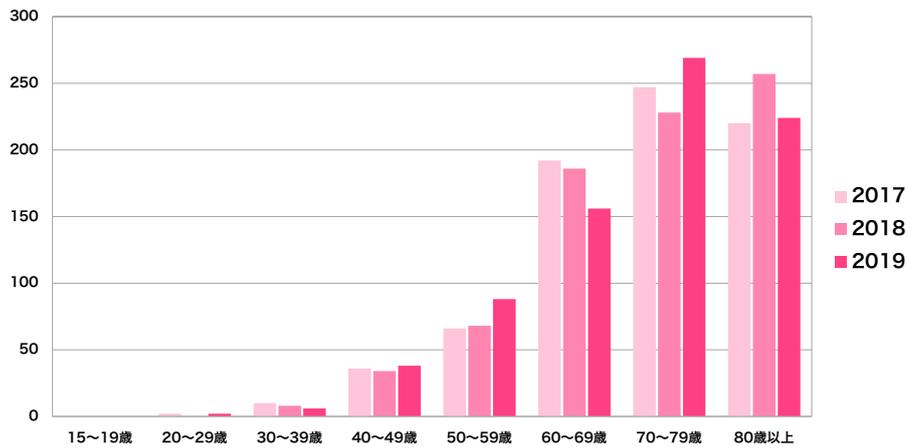


大腸 年齢階級別 男性 年次推移



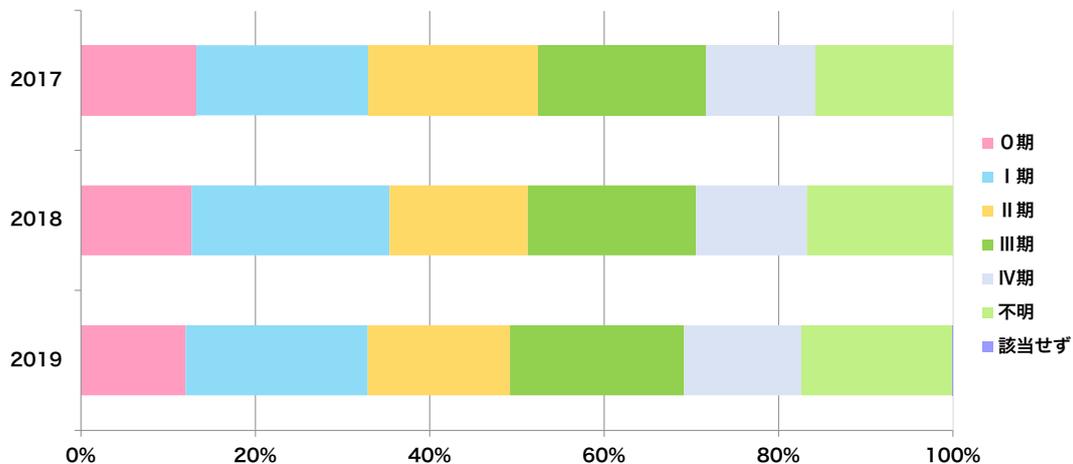
	2017	2018	2019
80歳以上	213	224	240
70~79歳	369	398	452
60~69歳	336	324	304
50~59歳	117	110	118
40~49歳	41	41	40
30~39歳	16	13	10
20~29歳	1~3	1~3	1~3
15~19歳	1~3		
総計	1,094	1,112	1,166

大腸 年齢階級別 女性 年次推移



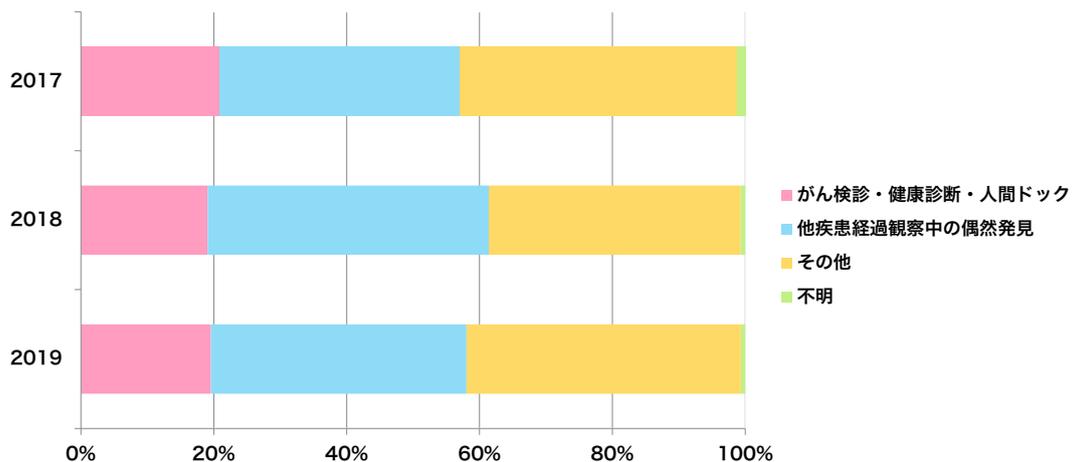
	2017	2018	2019
80歳以上	220	257	224
70~79歳	247	228	269
60~69歳	192	186	156
50~59歳	66	68	88
40~49歳	36	34	38
30~39歳	10	7~9	4~6
20~29歳	1~3		
15~19歳			
総計	773	781	783

大腸 ステージ別 年次推移



	2017	2018	2019
0期	247	240	234
I期	369	430	407
II期	364	300	318
III期	358	365	389
IV期	235	241	262
不明	294	317	338
該当せず			1~3
合計	1,867	1,893	1,949

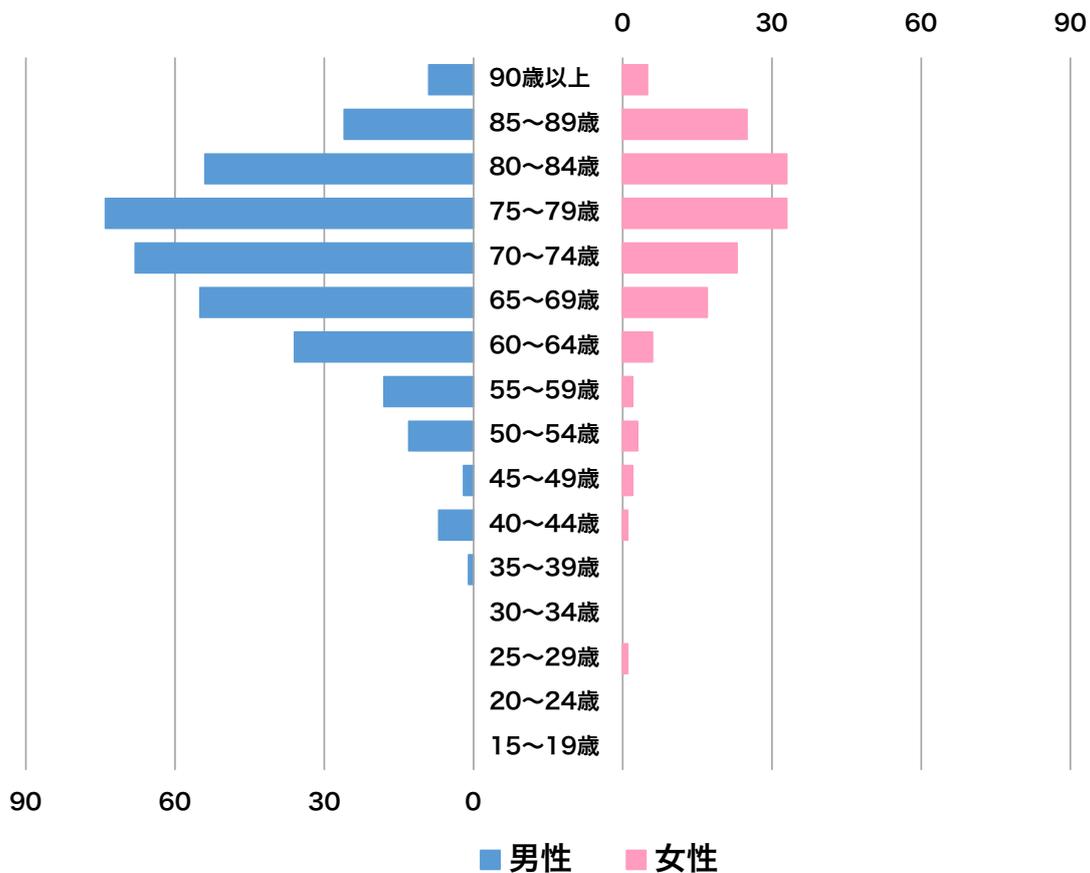
大腸 発見経緯別 年次推移



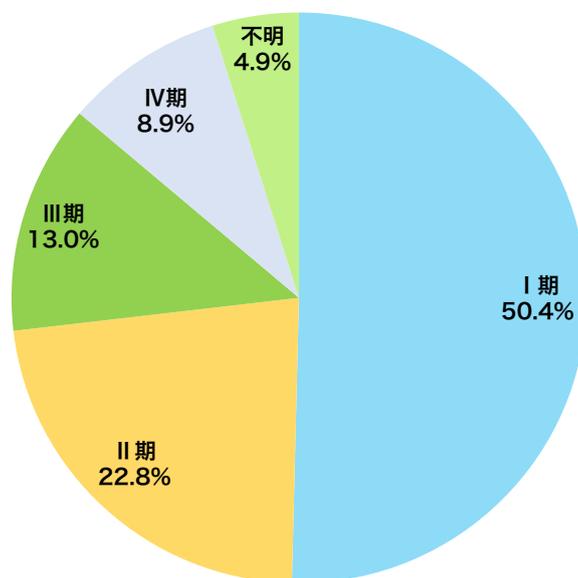
	2017	2018	2019
がん検診・健康診断・人間ドック	390	361	381
他疾患経過観察中の偶然発見	674	801	750
その他	780	718	805
不明	23	13	13
合計	1,867	1,893	1,949

## 肝臟

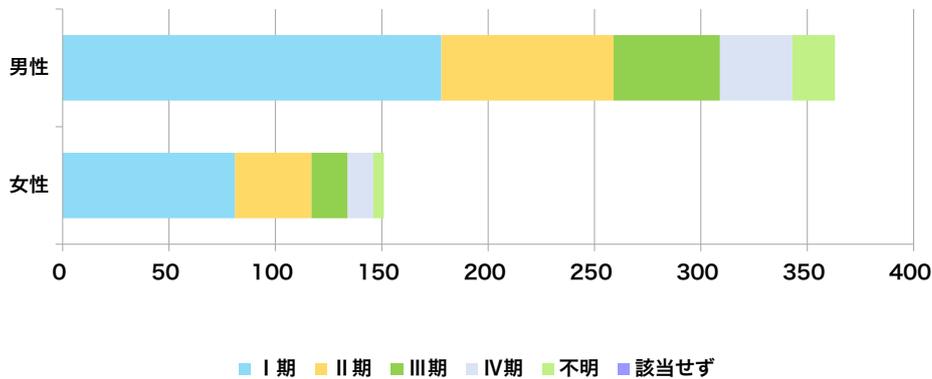
肝臓 年齢階級別



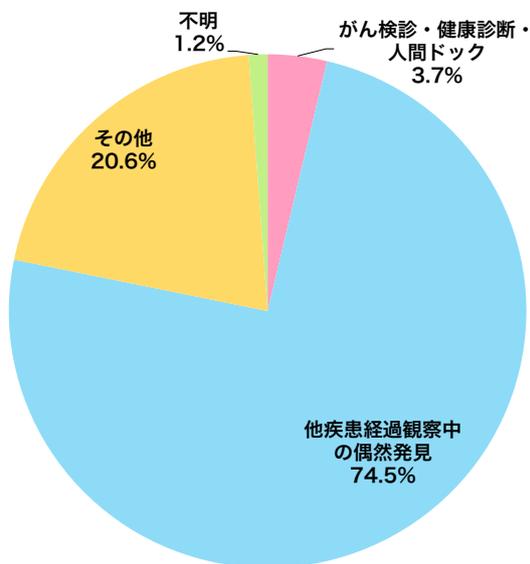
肝臓 ステージ 全体



肝臓 ステージ 性別



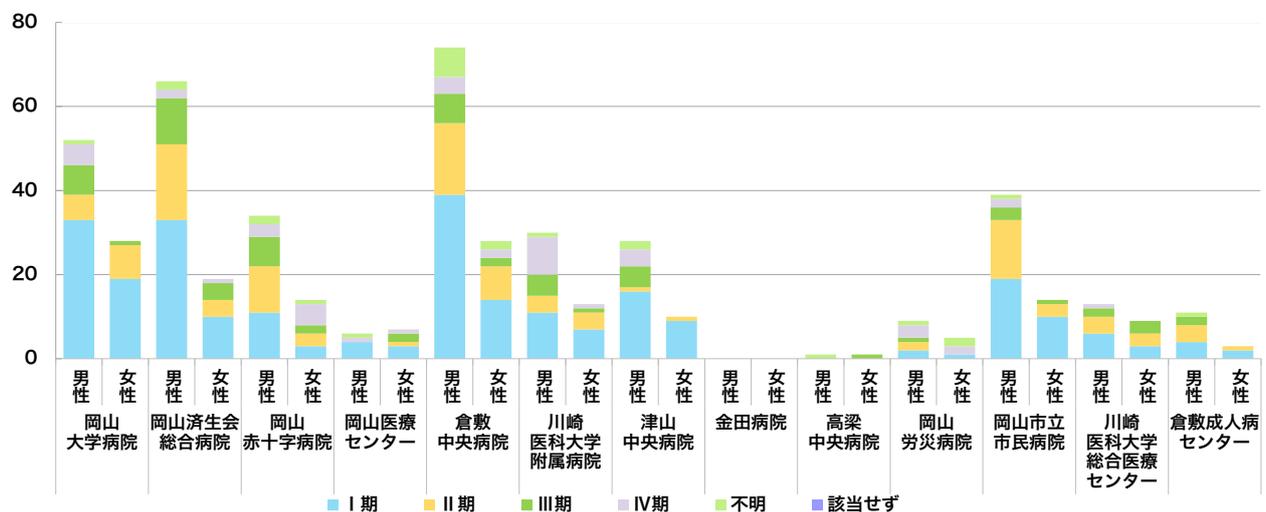
肝臓 発見経緯 全体



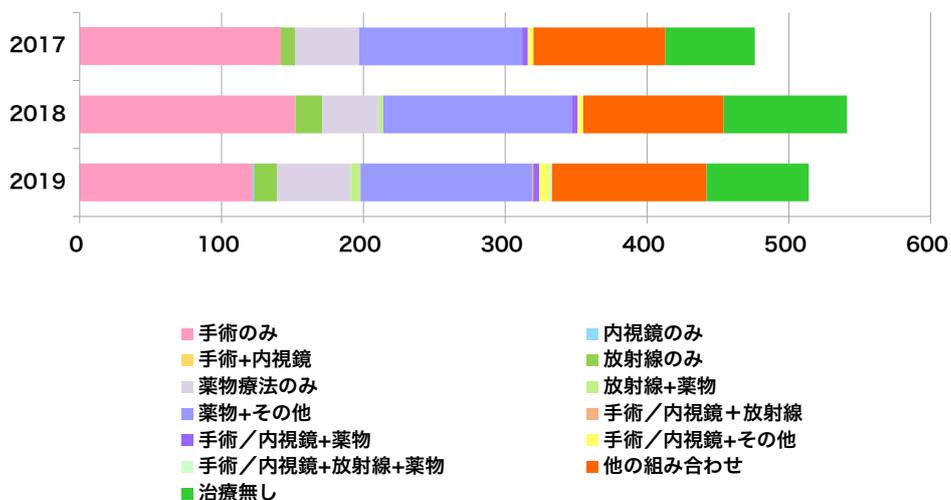
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	19
他疾患経過観察中の偶然発見	383
その他	106
不明	4~6
合計	514

※その他…自覚症状による受診を含む

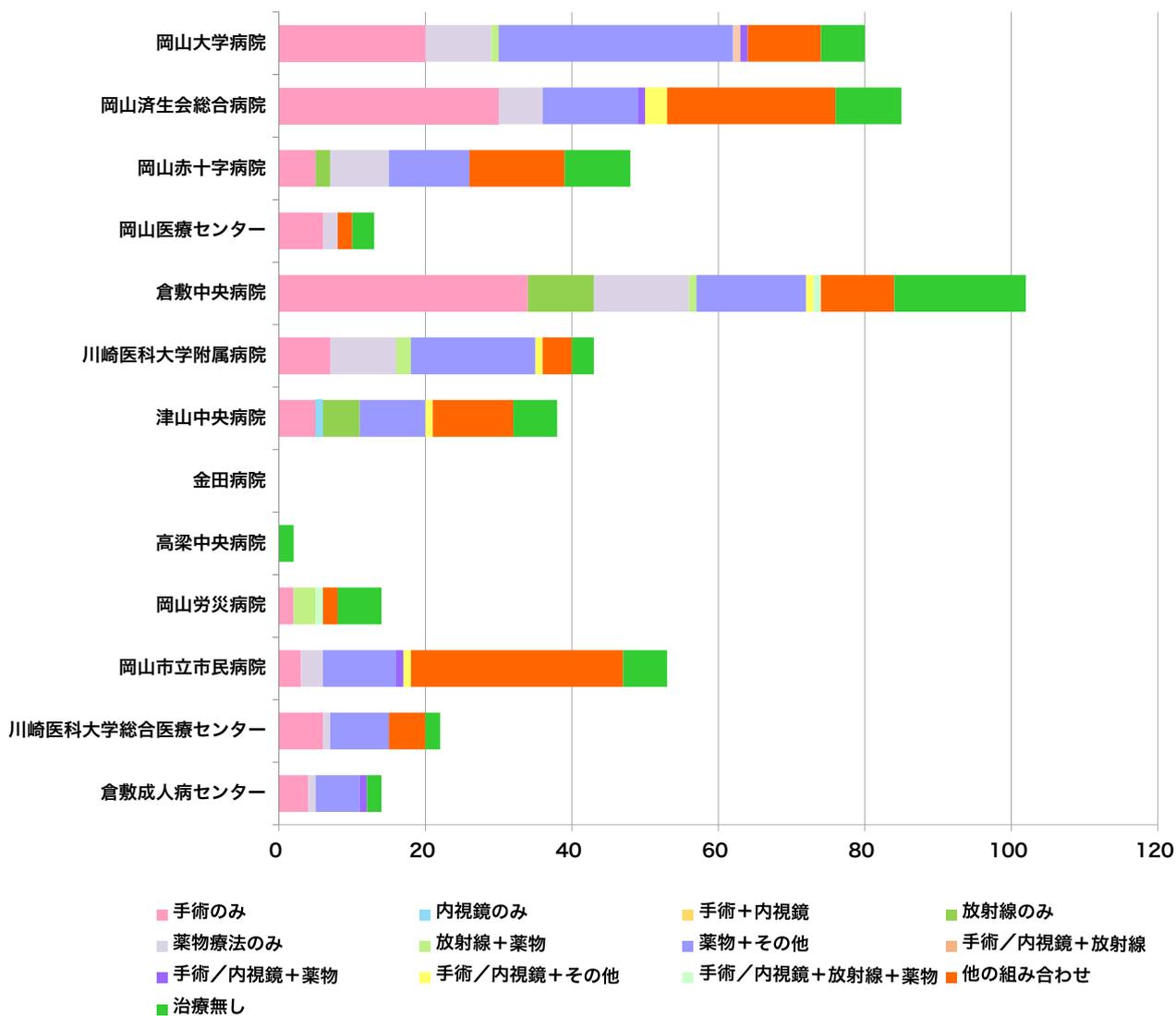
肝臓 ステージ 施設別



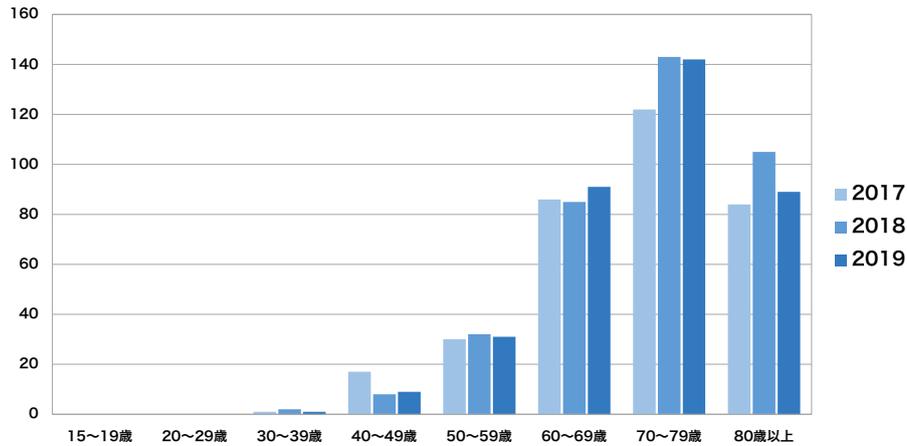
肝臓 初回治療法 年次推移



肝臓 初回治療法 施設別

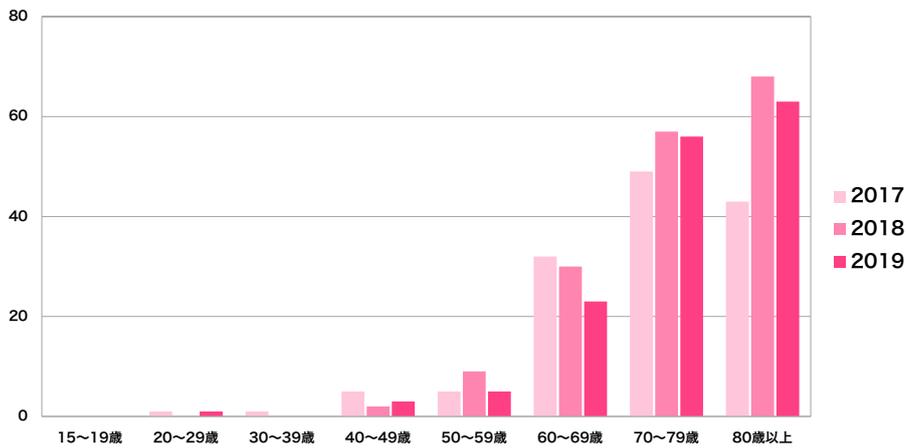


肝臟 年齡階級別 男性 年次推移



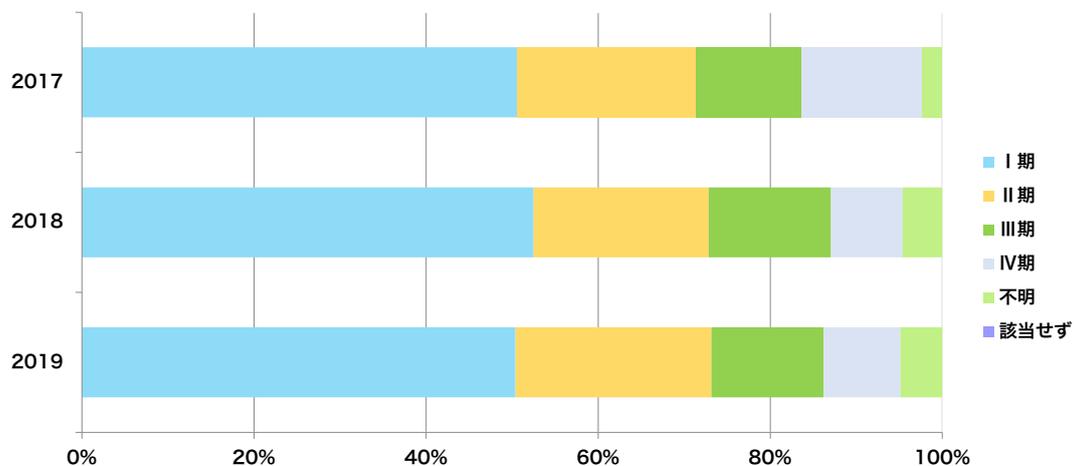
	2017	2018	2019
80歲以上	84	105	89
70~79歲	122	143	142
60~69歲	86	85	91
50~59歲	30	32	31
40~49歲	17	7~9	7~9
30~39歲	1~3	1~3	1~3
20~29歲			
15~19歲			
總計	340	375	363

肝臟 年齡階級別 女性 年次推移



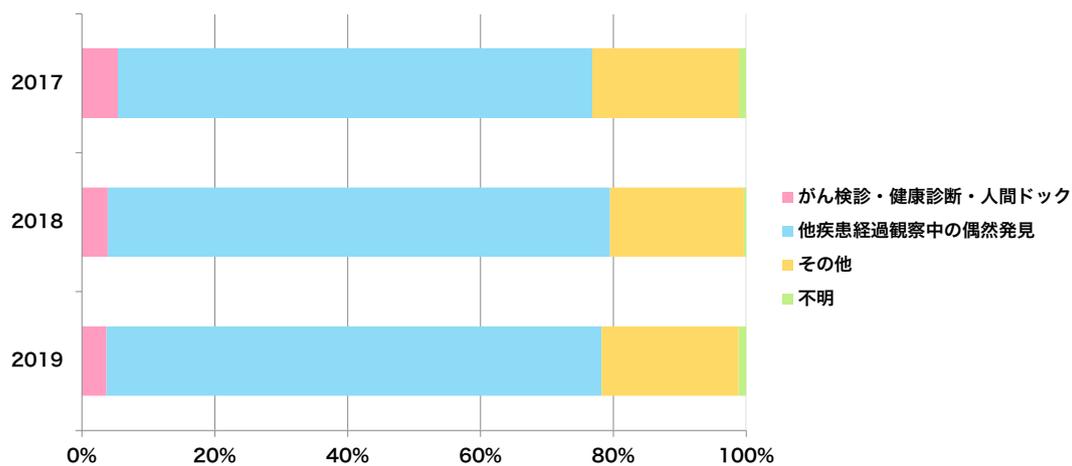
	2017	2018	2019
80歲以上	43	68	63
70~79歲	49	57	56
60~69歲	32	30	23
50~59歲	4~6	7~9	4~6
40~49歲	4~6	1~3	1~3
30~39歲	1~3		
20~29歲	1~3		1~3
15~19歲			
總計	136	166	151

肝臓 ステージ別 年次推移



	2017	2018	2019
I期	241	284	259
II期	99	110	117
III期	58	77	67
IV期	67	45	46
不明	11	25	25
該当せず			
合計	476	541	514

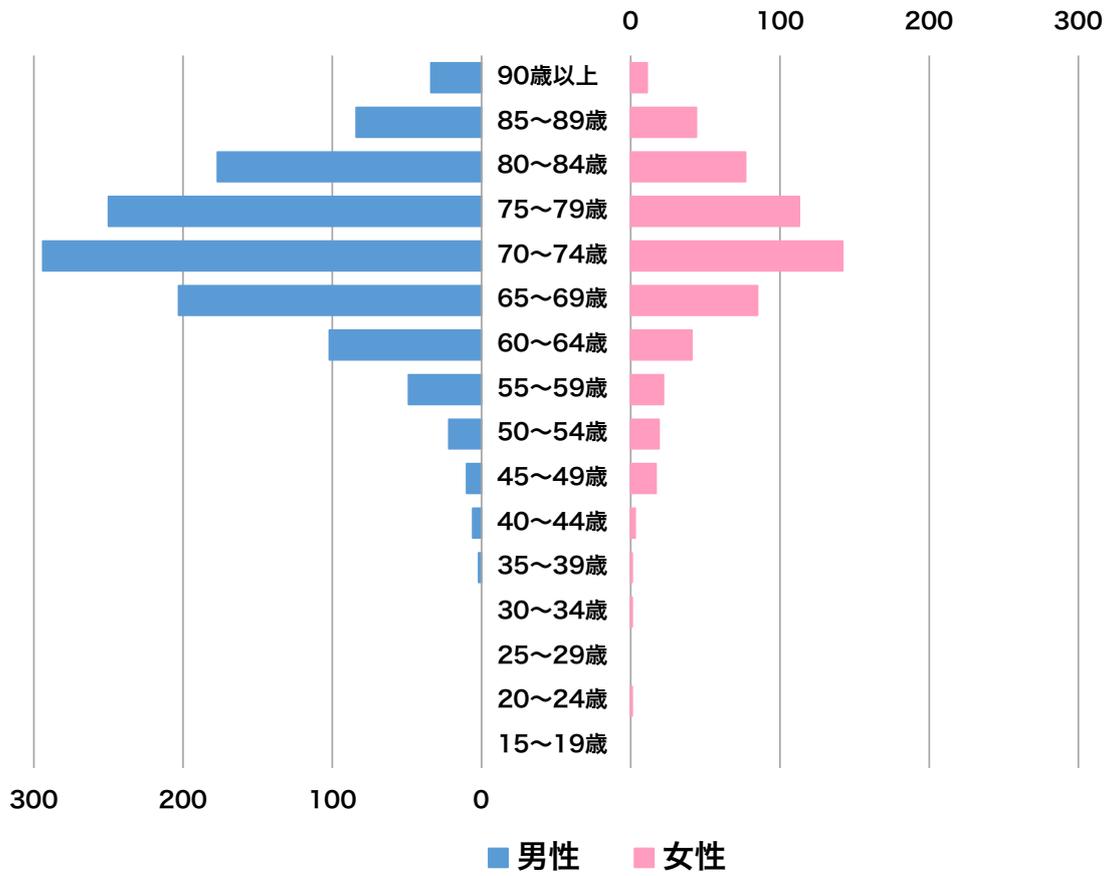
肝臓 発見経緯別 年次推移



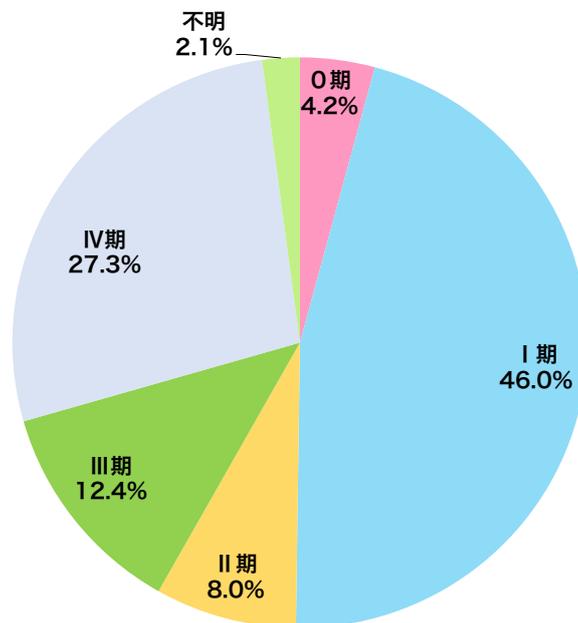
	2017	2018	2019
がん検診・健康診断・人間ドック	26	21	19
他疾患経過観察中の偶然発見	340	409	383
その他	105	109	106
不明	4~6	1~3	4~6
合計	476	541	514

肺

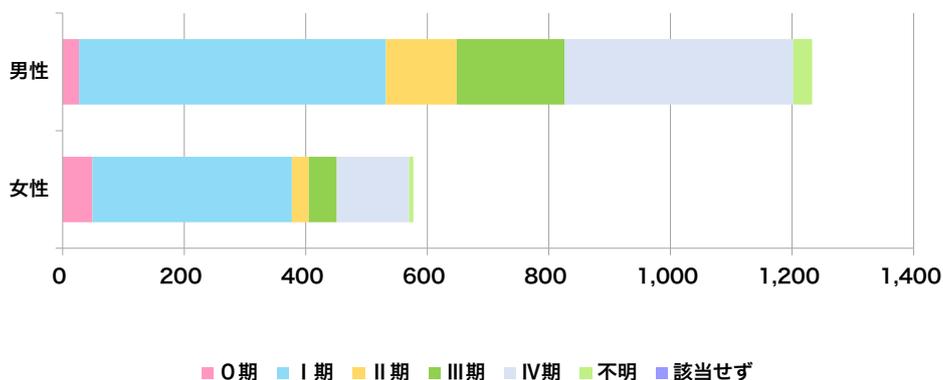
肺 年齢階級別



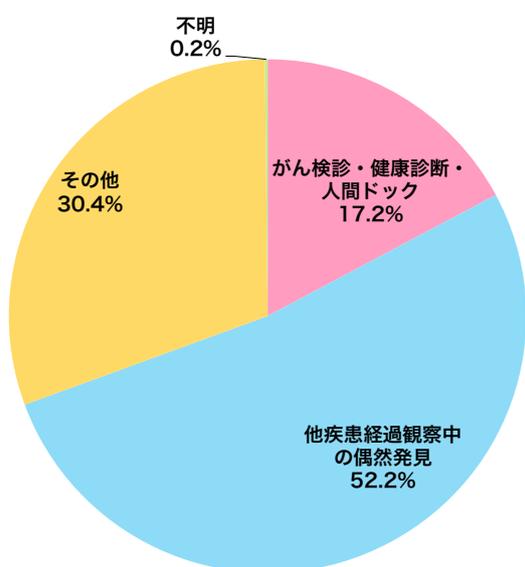
肺 ステージ 全体



肺 ステージ 性別



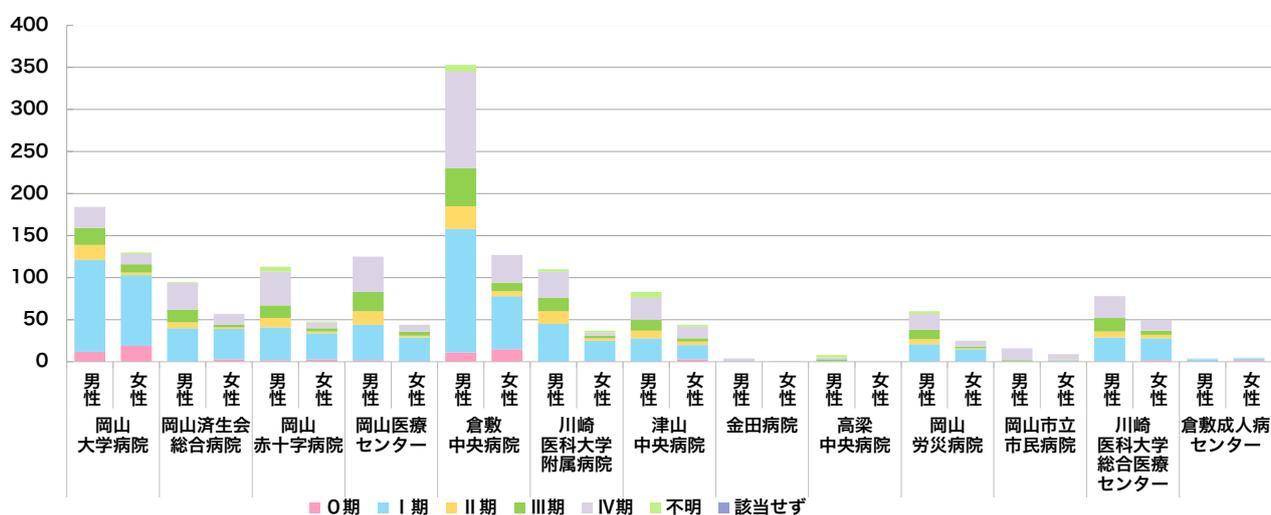
肺 発見経緯 全体



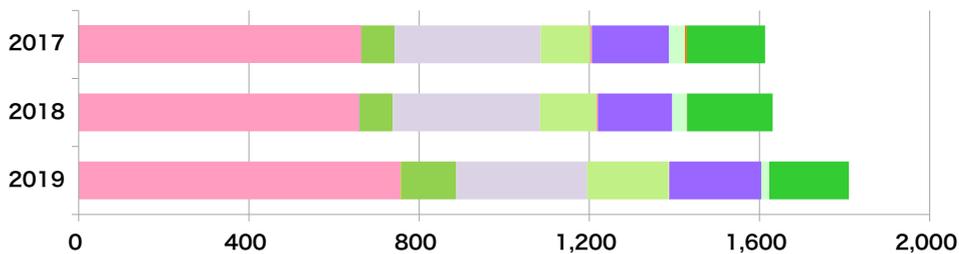
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	311
他疾患経過観察中の偶然発見	945
その他	551
不明	1~3
合計	1,810

※その他…自覚症状による受診を含む

肺 ステージ 施設別

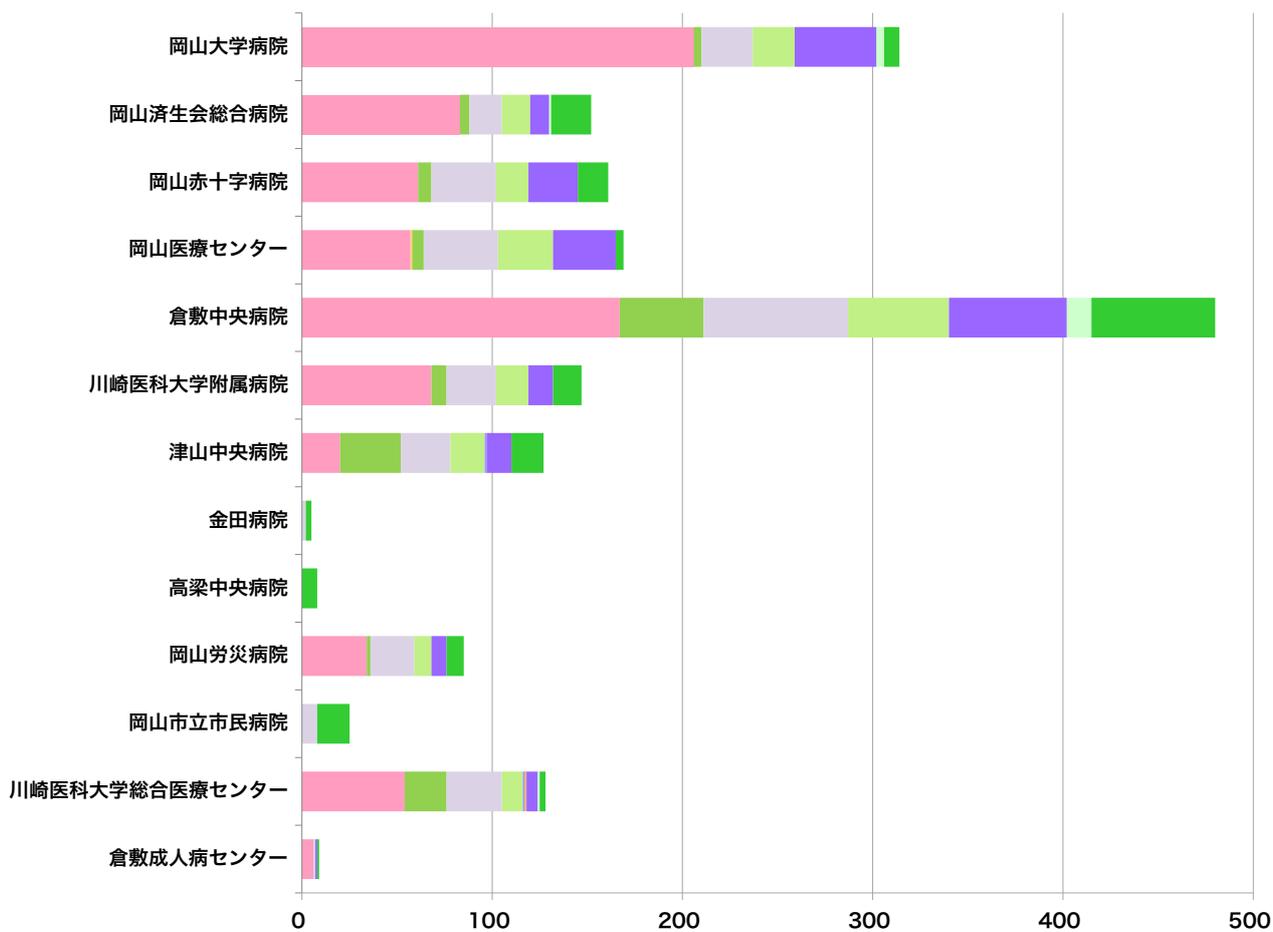


肺 初回治療法 年次推移



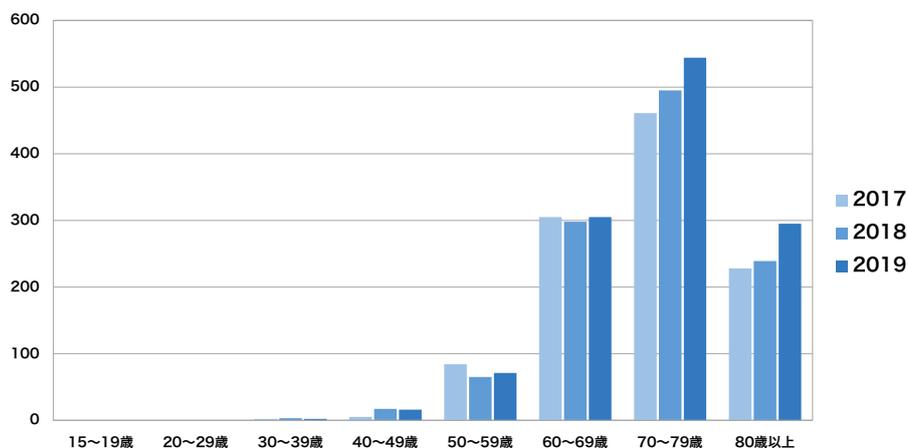
- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 他組み合わせ

肺 初回治療法 施設別



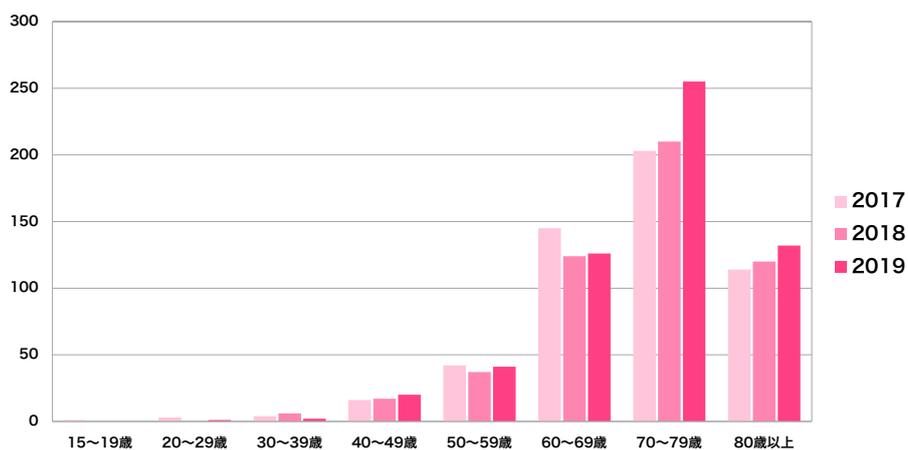
- 手術のみ
- 手術+内視鏡
- 薬物療法のみ
- 放射線のみ
- 放射線+薬物
- 手術/内視鏡+放射線
- 手術/内視鏡+その他
- 手術/内視鏡+薬物
- 手術/内視鏡+放射線+薬物
- 治療無し
- 内視鏡のみ
- 他組み合わせ

肺 年齢階級別 男性 年次推移



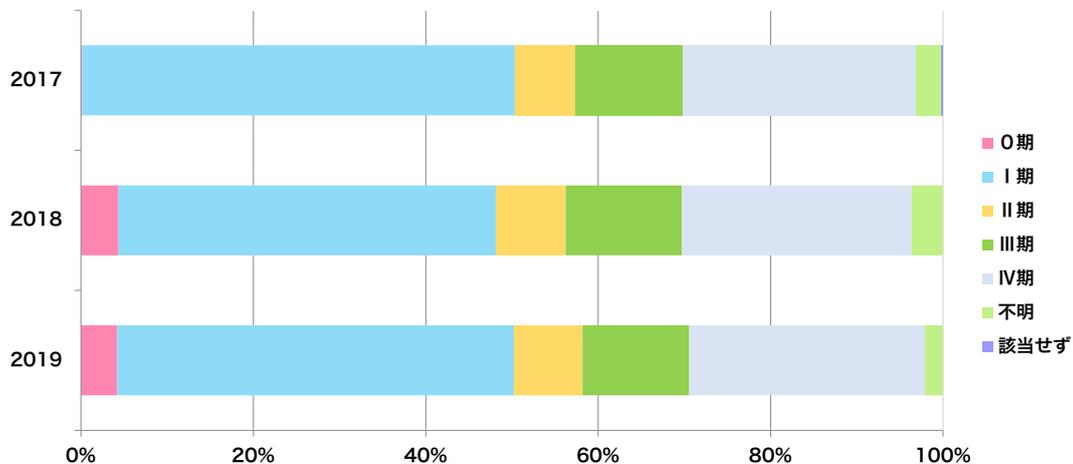
	2017	2018	2019
80歳以上	228	239	295
70~79歳	461	495	544
60~69歳	305	298	305
50~59歳	84	65	71
40~49歳	4~6	17	16
30~39歳	1~3	1~3	1~3
20~29歳			
15~19歳			
総計	1,085	1,117	1,233

肺 年齢階級別 女性 年次推移



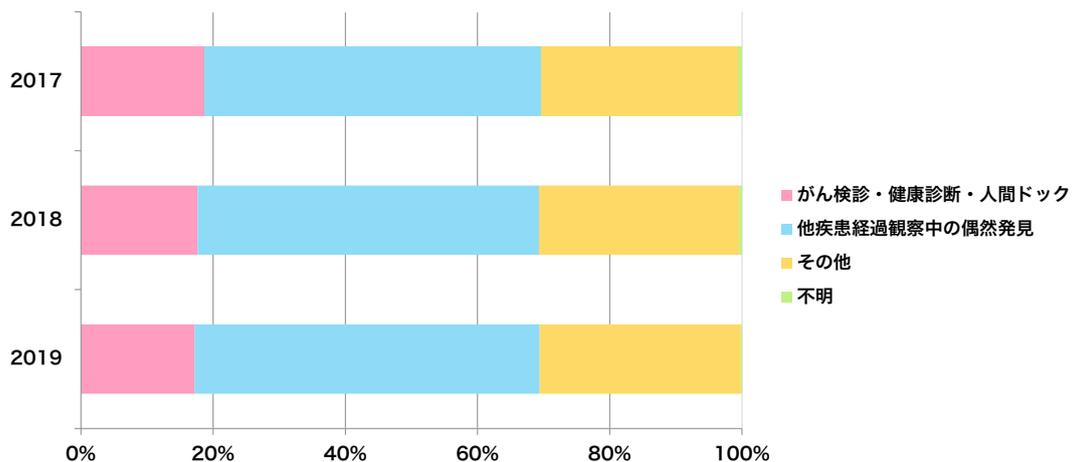
	2017	2018	2019
80歳以上	114	120	132
70~79歳	203	210	255
60~69歳	145	124	126
50~59歳	42	37	41
40~49歳	16	17	20
30~39歳	4~6	4~6	1~3
20~29歳	1~3		1~3
15~19歳	1~3		
総計	528	514	577

肺 ステージ別 年次推移



	2017	2018	2019
0期	1~3	71	76
I期	811	714	833
II期	111	132	144
III期	203	220	224
IV期	436	435	495
不明	48	59	38
該当せず	1~3		
合計	1,613	1,631	1,810

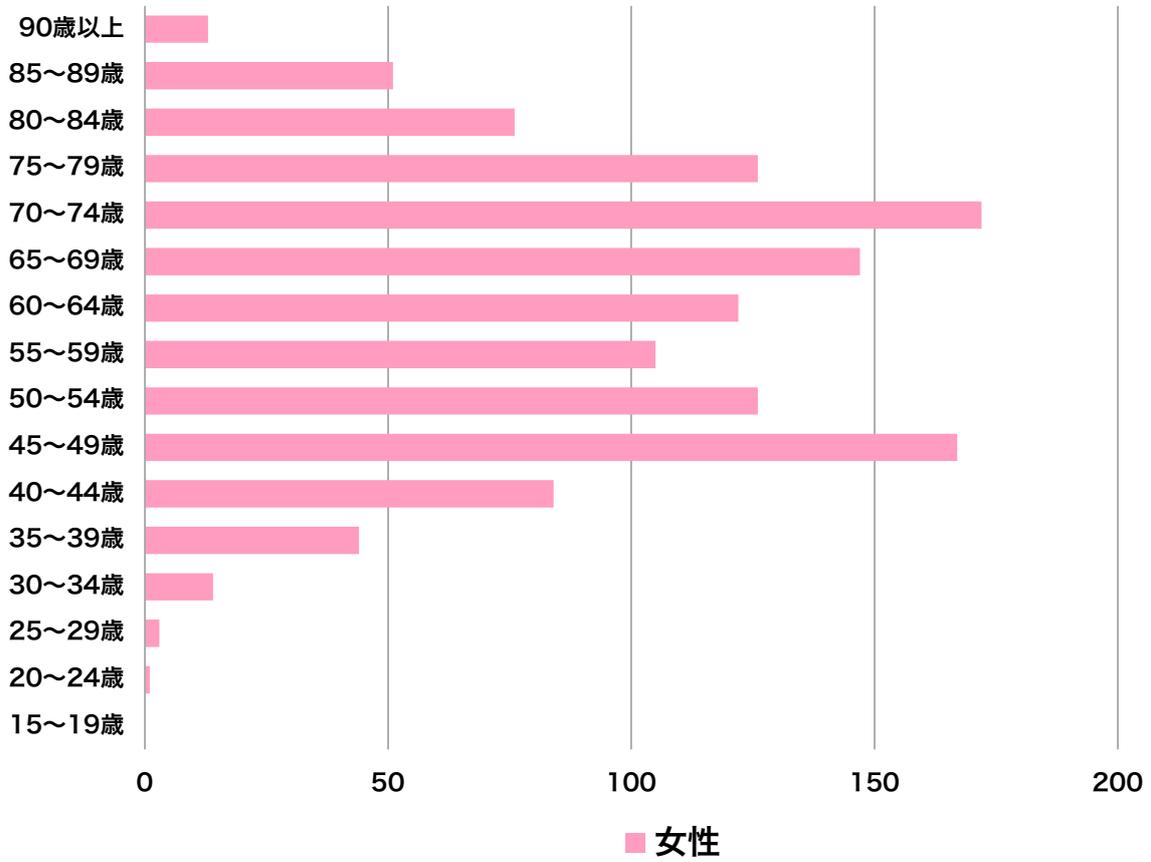
肺 発見経緯別 年次推移



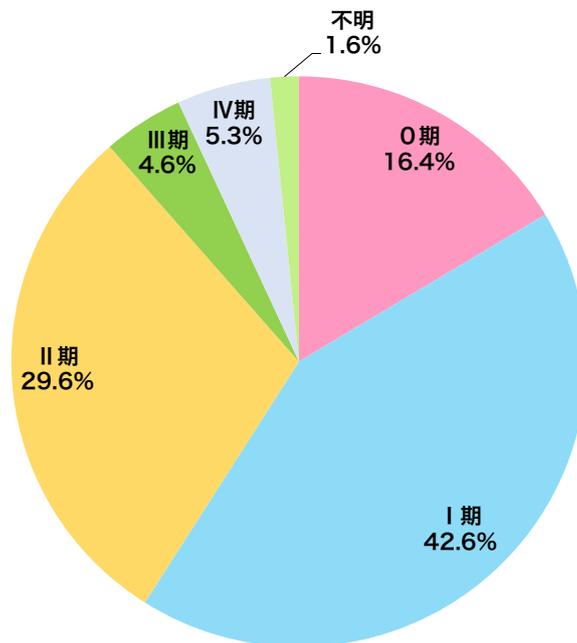
	2017	2018	2019
がん検診・健康診断・人間ドック	302	288	311
他疾患経過観察中の偶然発見	822	842	945
その他	480	494	551
不明	7~9	7~9	1~3
合計	1,613	1,631	1,810

乳房

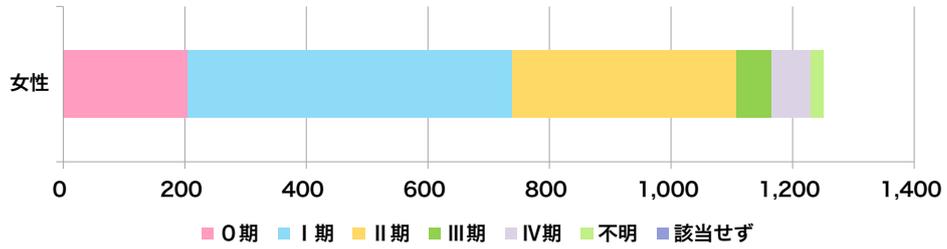
乳房 年齢階級別



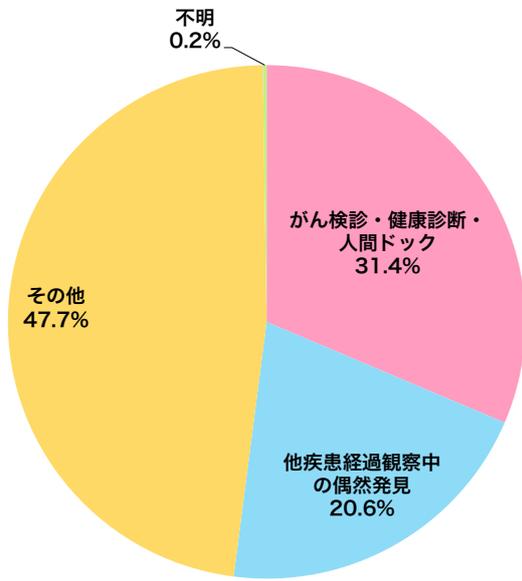
乳房 ステージ 全体



乳房 ステージ 性別



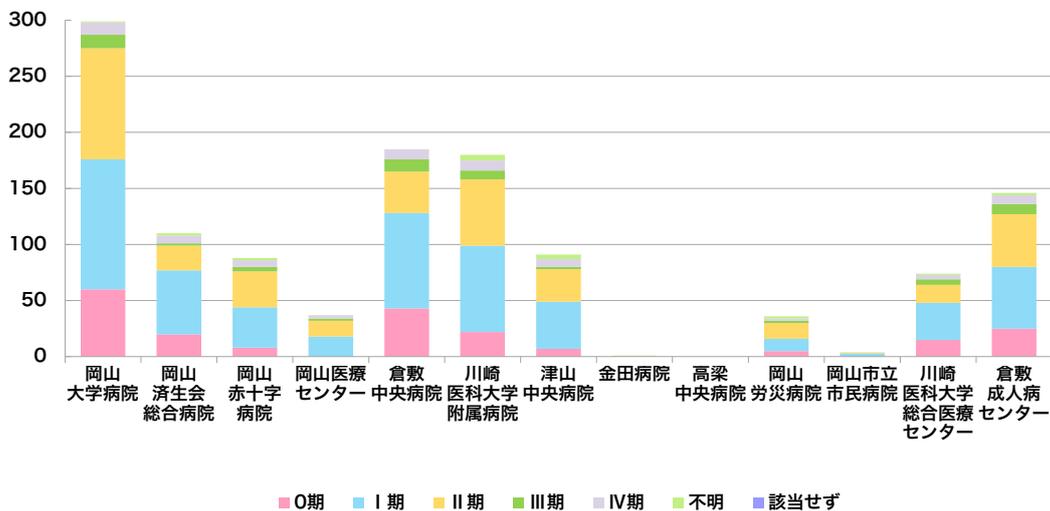
乳房 発見経緯 全体



発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	393
他疾患経過観察中の偶然発見	258
その他	597
不明	1~3
<b>合計</b>	<b>1,251</b>

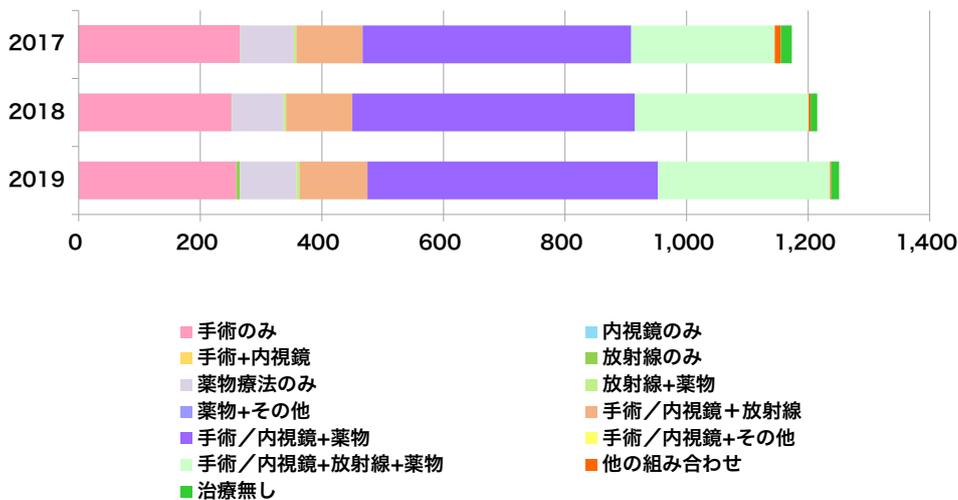
※その他…自覚症状による受診を含む

乳房 ステージ 施設別

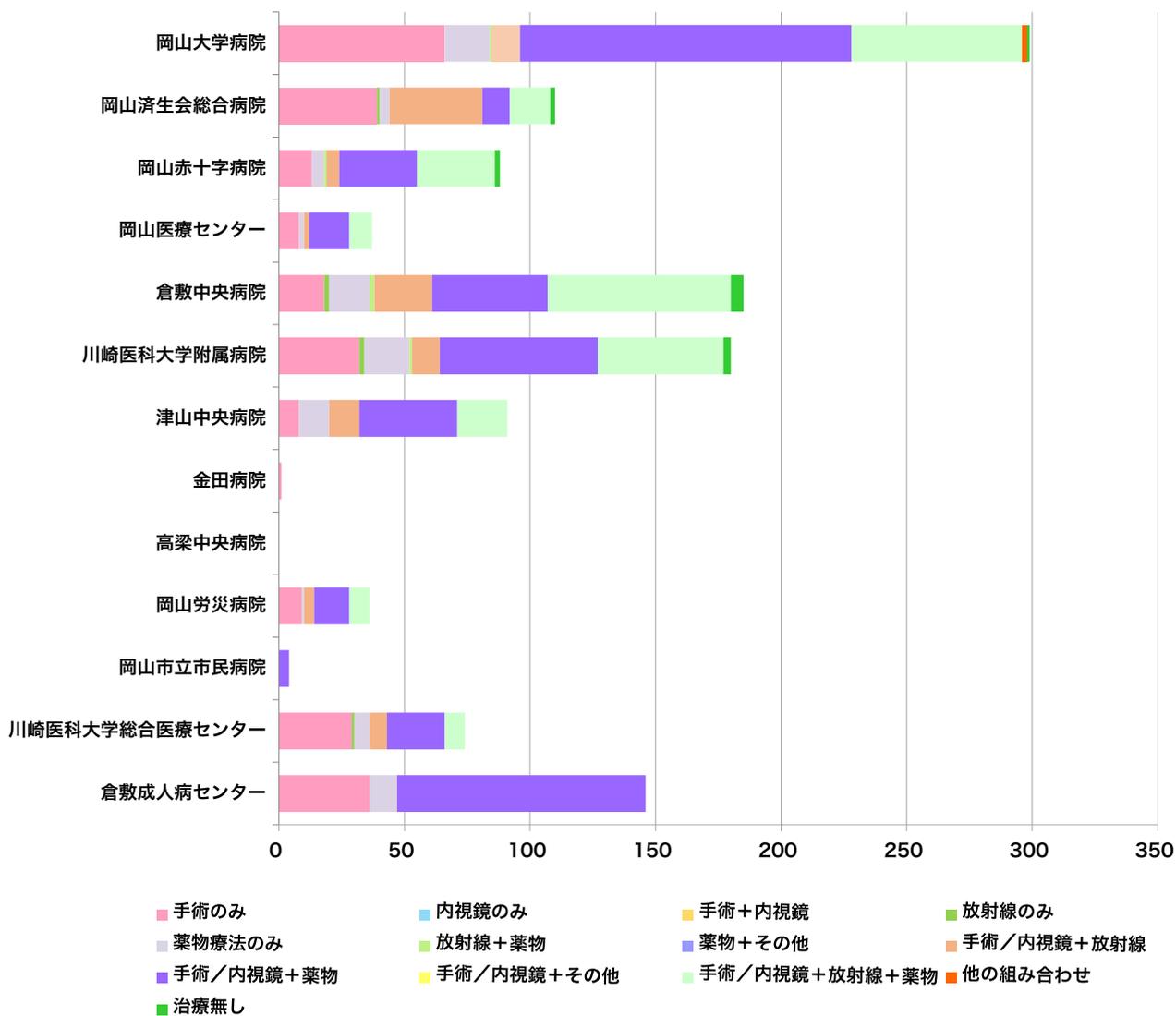


乳房

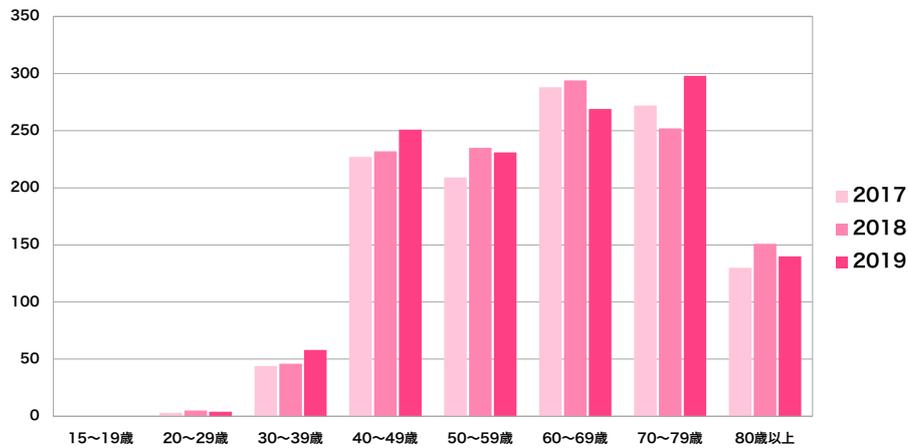
乳房 初回治療法 年次推移



乳房 初回治療法 施設別

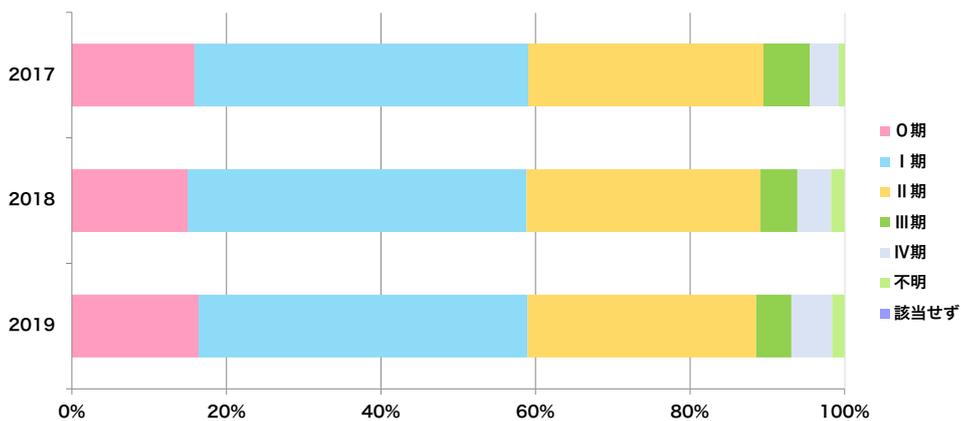


乳房 年齢階級別 年次推移



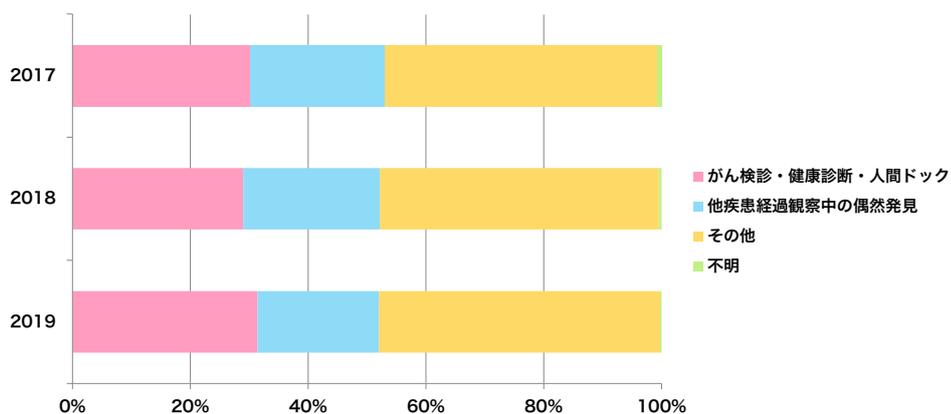
	2017	2018	2019
80歳以上	130	151	140
70~79歳	272	252	298
60~69歳	288	294	269
50~59歳	209	235	231
40~49歳	227	232	251
30~39歳	44	46	58
20~29歳	1~3	4~6	4~6
15~19歳			
総計	1,173	1,215	1,251

乳房 ステージ別 年次推移



	2017	2018	2019
0期	186	182	205
I期	507	533	533
II期	357	368	370
III期	70	58	57
IV期	45	53	66
不明	7~9	21	20
該当せず			
合計	1,173	1,215	1,251

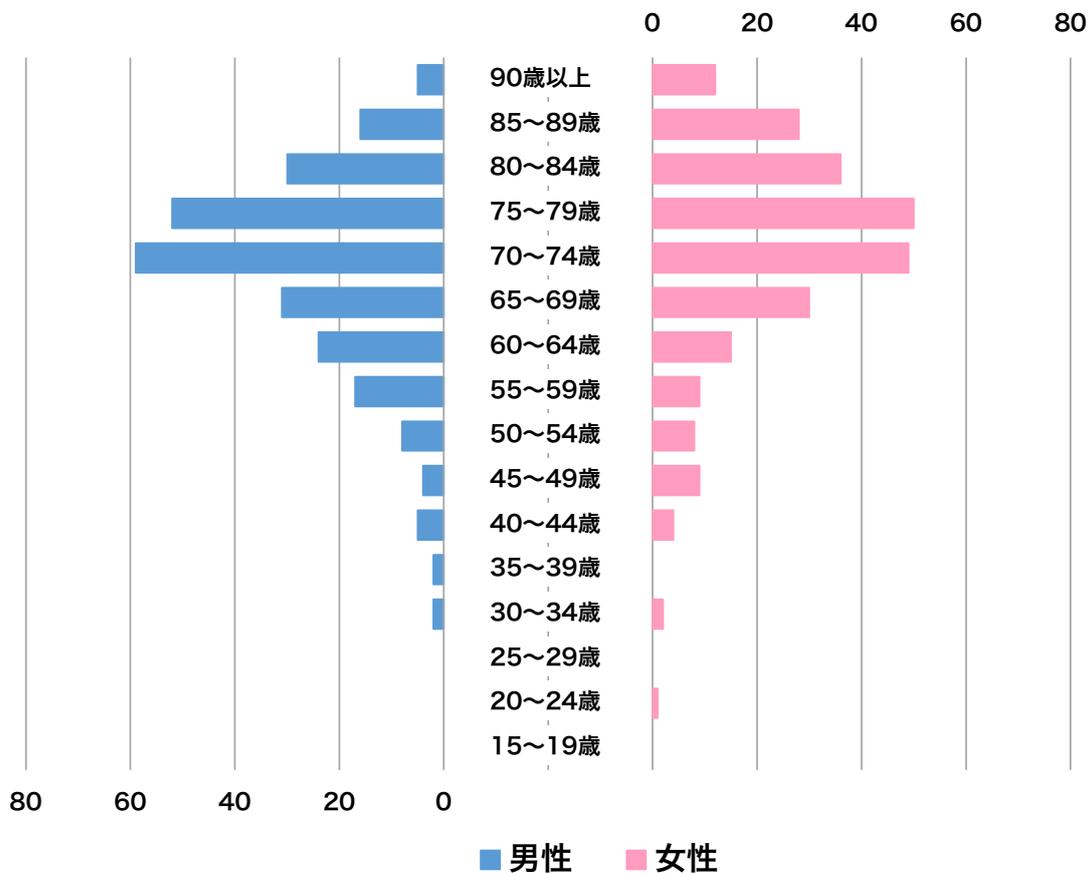
乳房 発見経緯別 年次推移



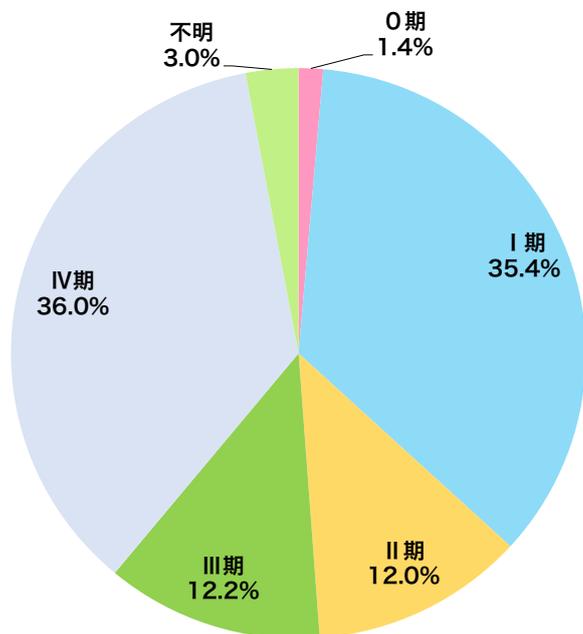
	2017	2018	2019
がん検診・健康診断・人間ドック	353	352	393
他疾患経過観察中の偶然発見	268	282	258
その他	544	575	597
不明	7~9	4~6	1~3
合計	1,173	1,215	1,251

瘁臧

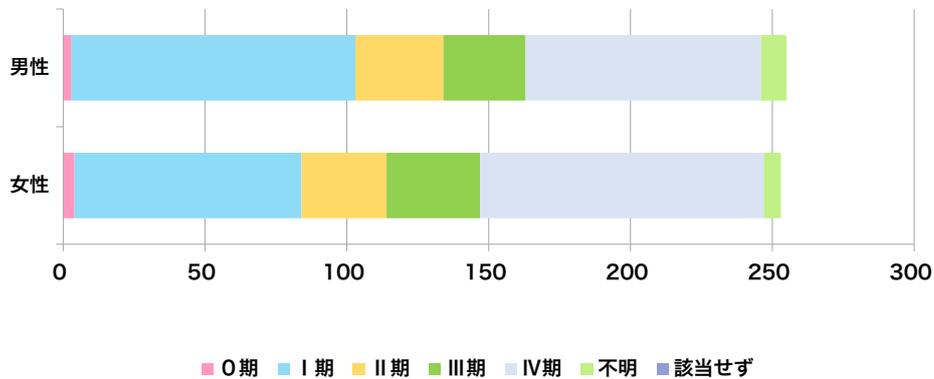
膵臓 年齢階級別



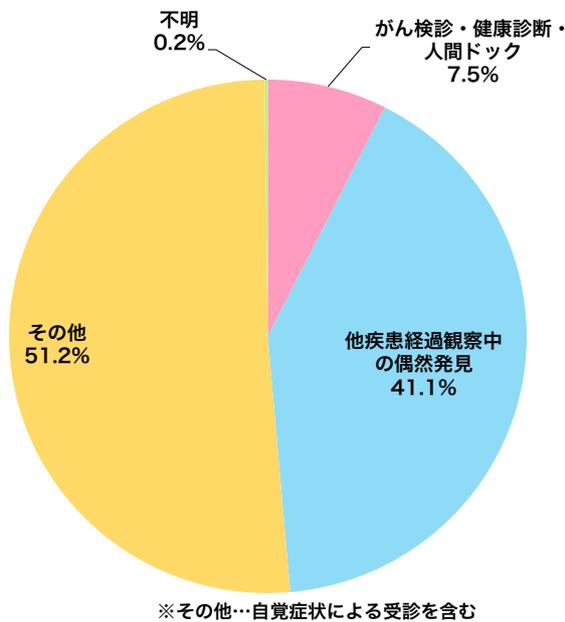
膵臓 ステージ 全体



膵臓 ステージ 性別

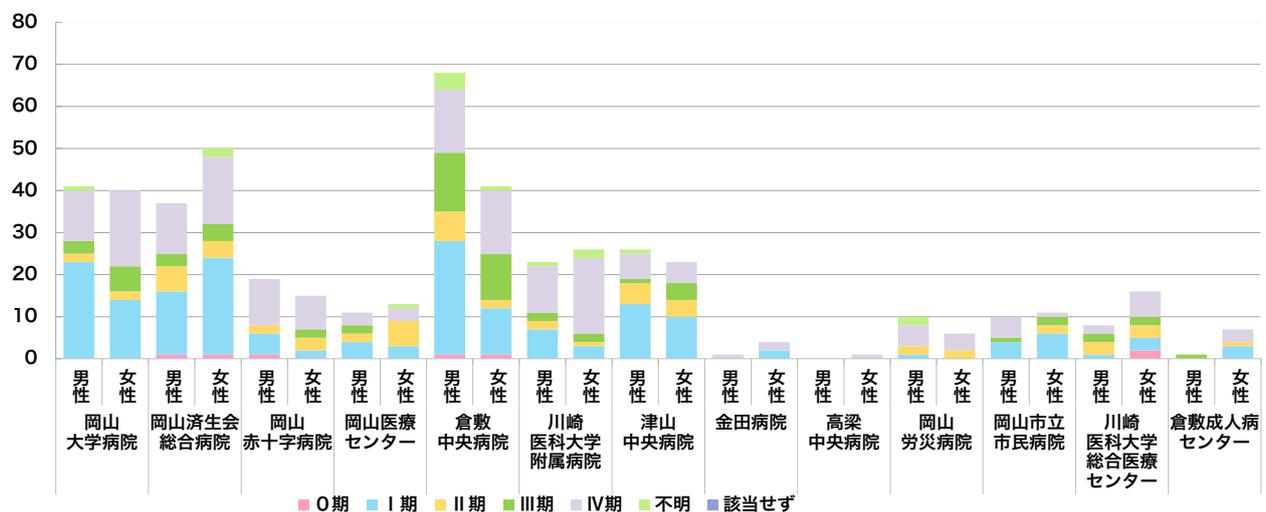


膵臓 発見経緯 全体



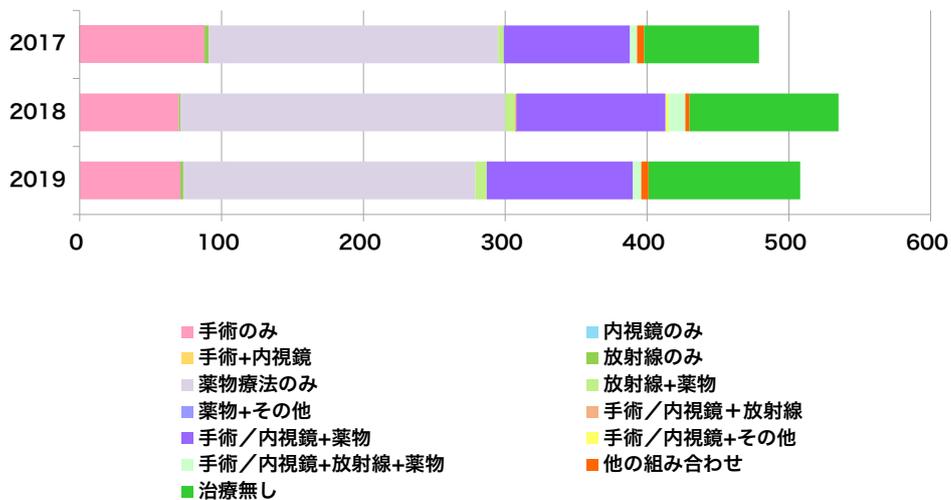
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	38
他疾患経過観察中の偶然発見	209
その他	260
不明	1~3
合計	508

膵臓 ステージ 施設別 (がん診療連携拠点病院)

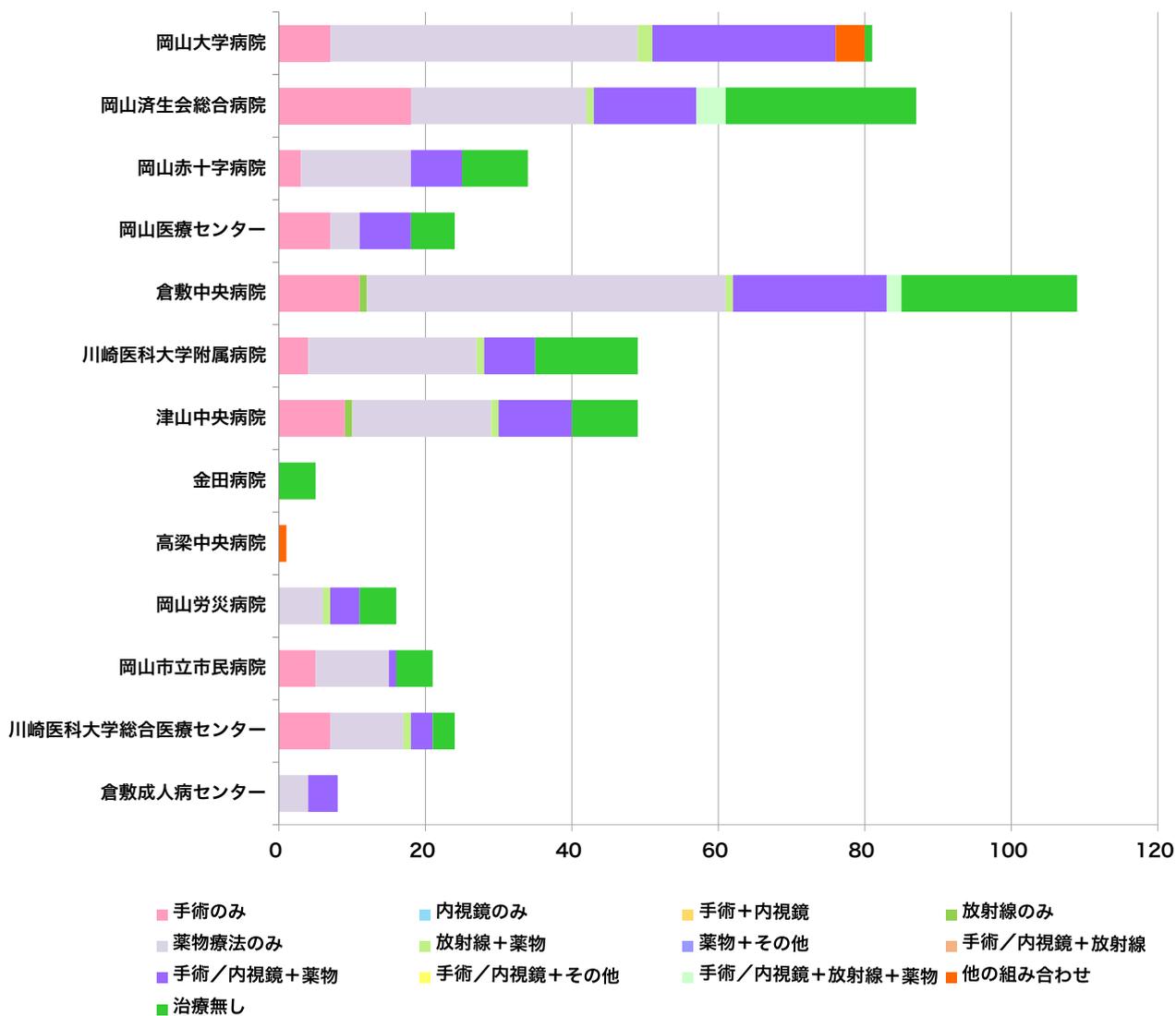


膵臓

膵臓 初回治療法 年次推移

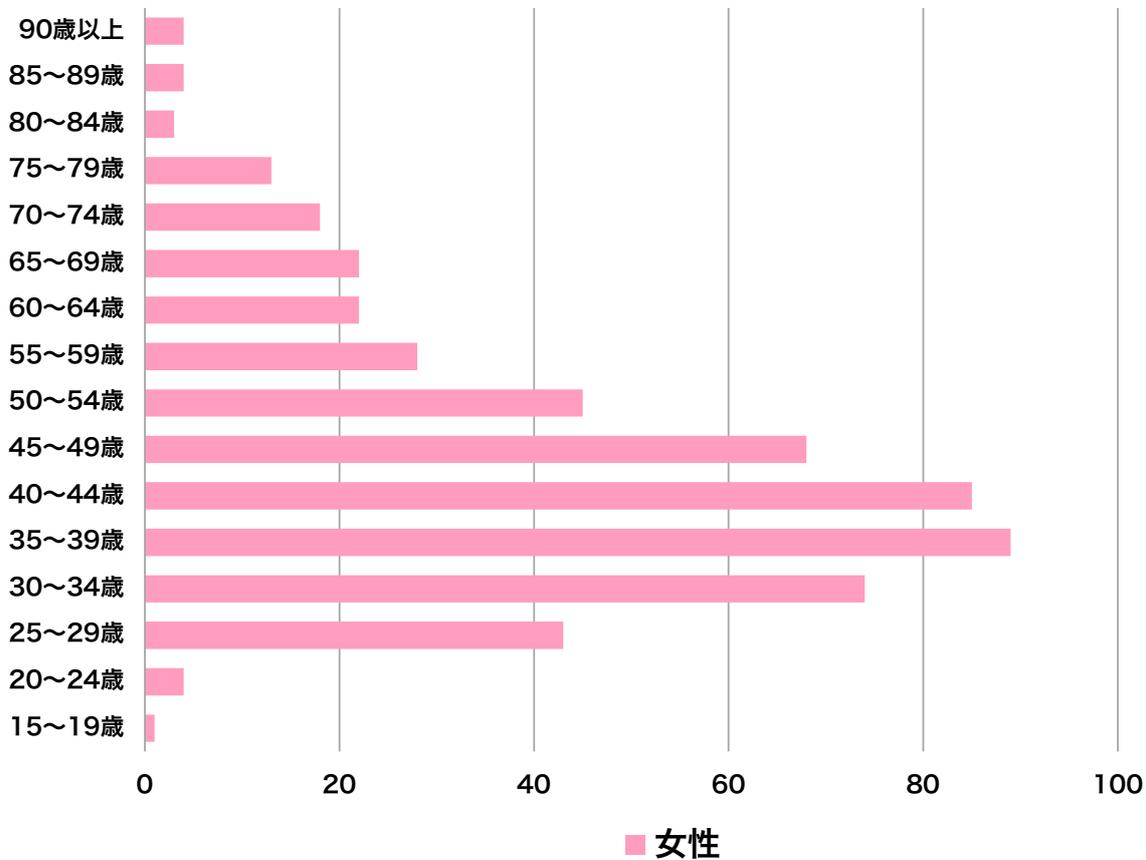


膵臓 初回治療法 施設別

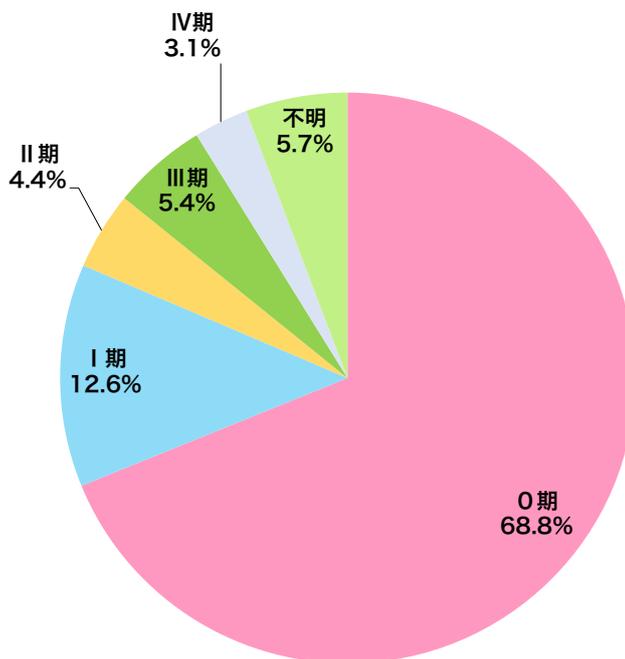


子宮 (頸部)

子宮（頸部） 年齢階級別



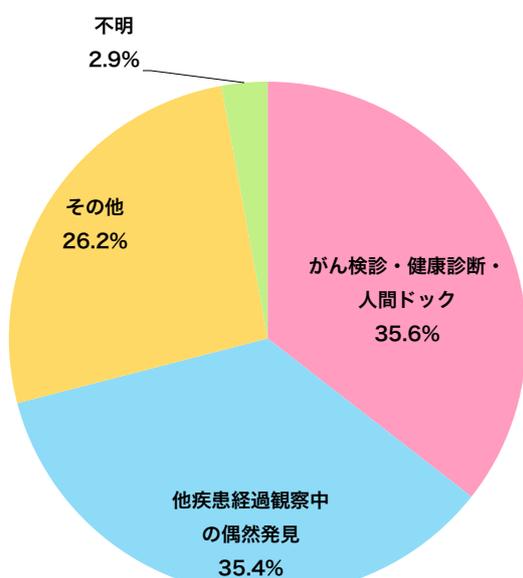
子宮（頸部） ステージ 全体



子宮（頸部） ステージ 性別



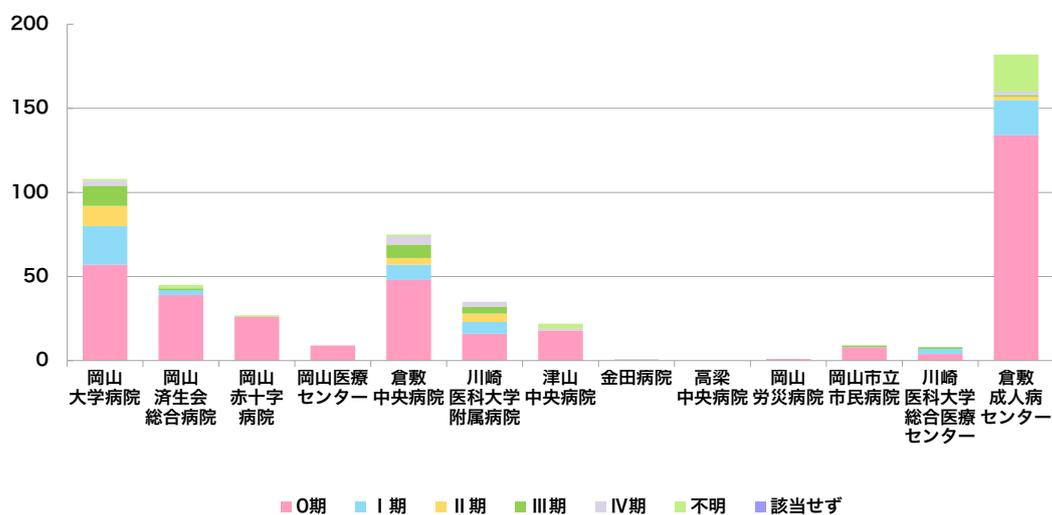
子宮（頸部） 発見経緯 全体



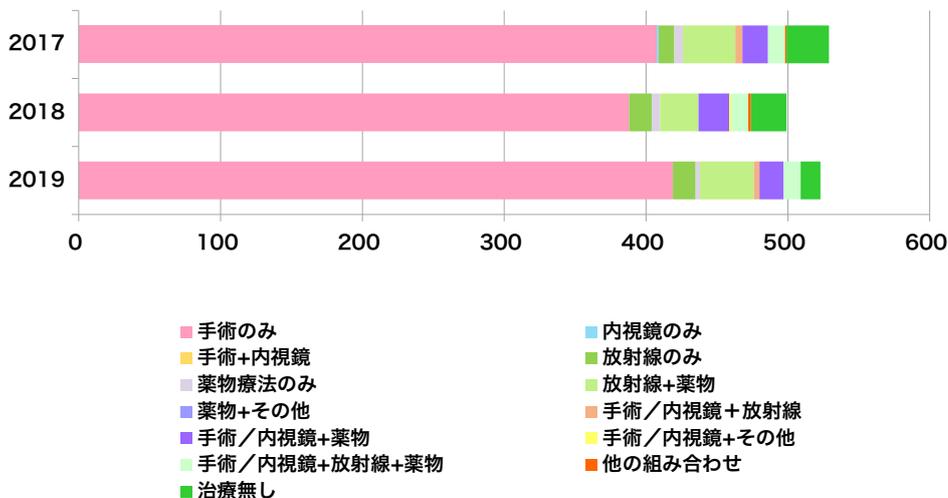
※その他…自覚症状による受診を含む

発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	186
他疾患経過観察中の偶然発見	185
その他	137
不明	15
<b>合計</b>	<b>523</b>

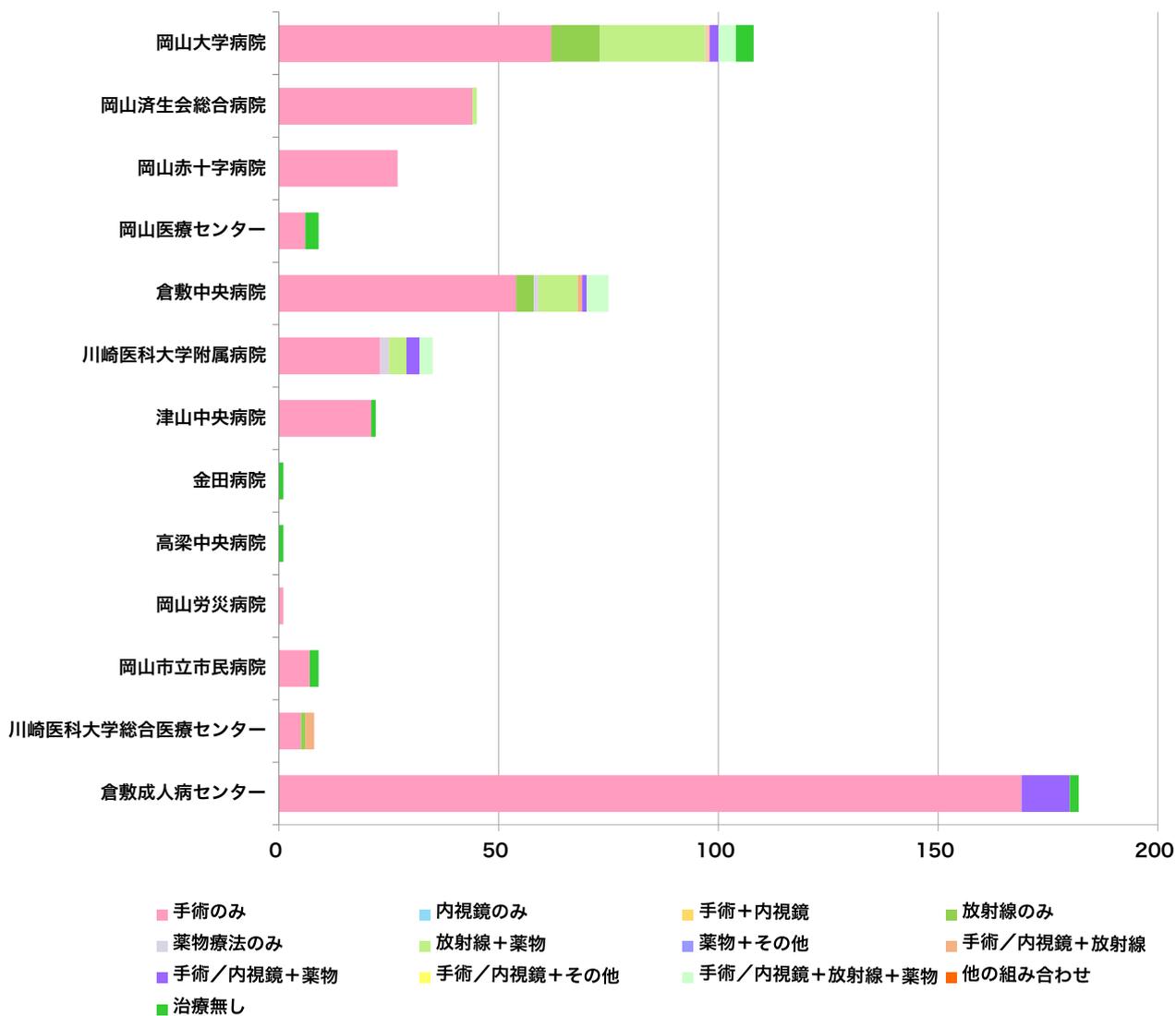
子宮（頸部） ステージ 施設別



子宮（頸部） 初回治療法 年次推移

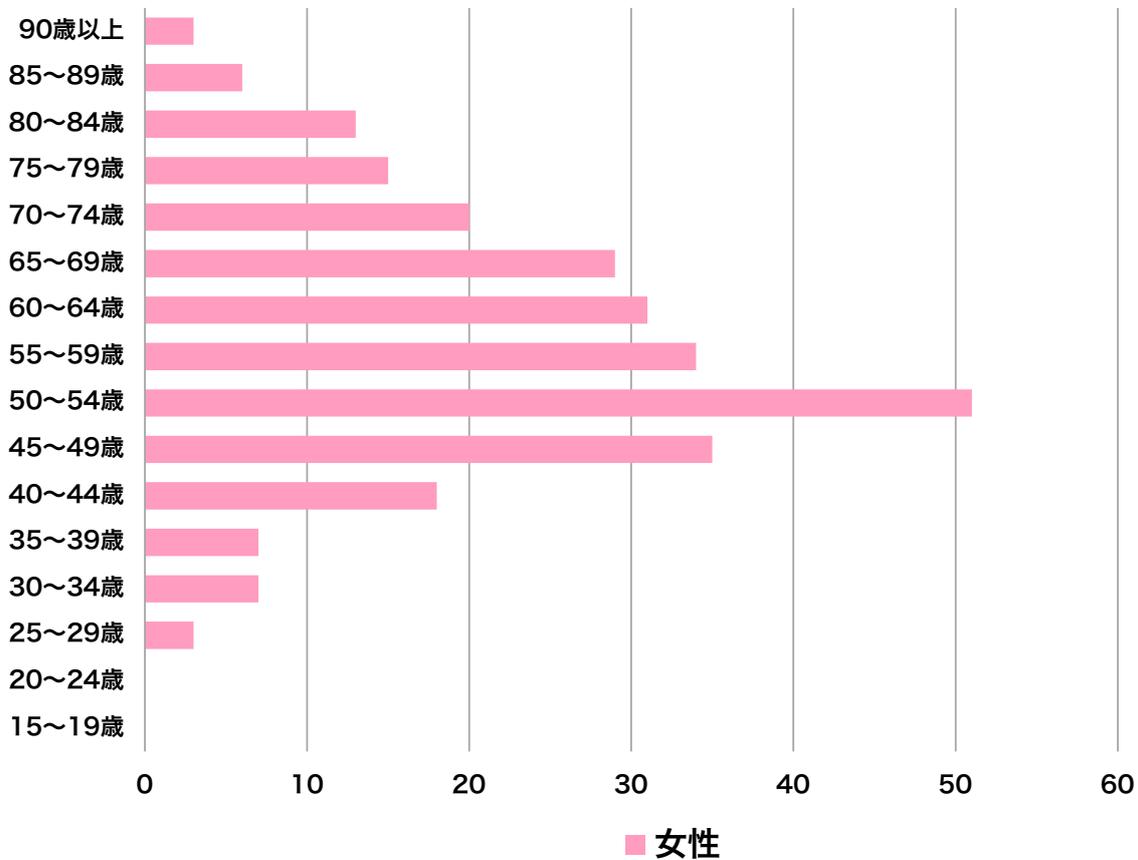


子宮（頸部） 初回治療法 施設別

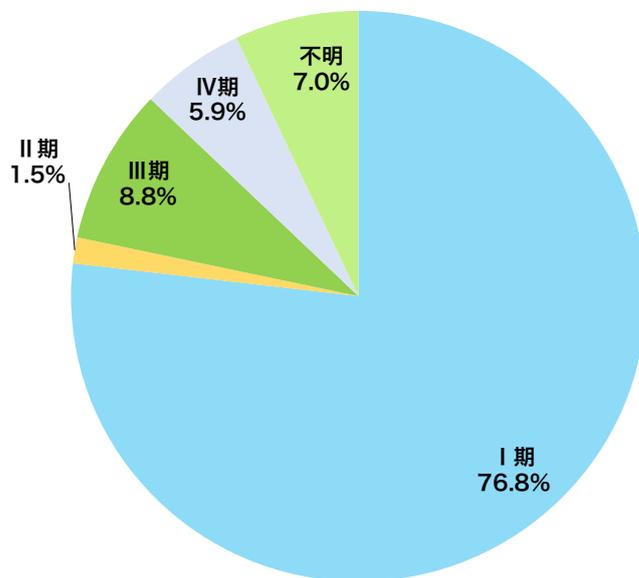


## 子宮（体部）

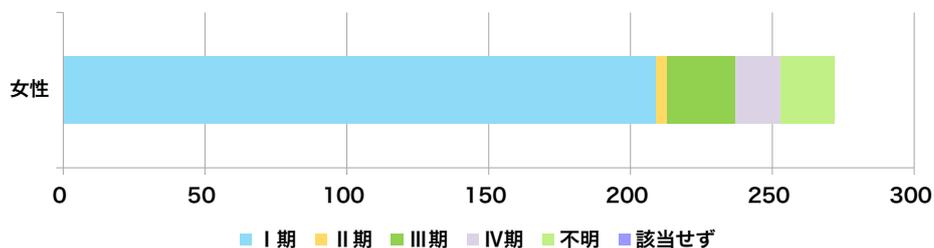
子宮（体部） 年齢階級別



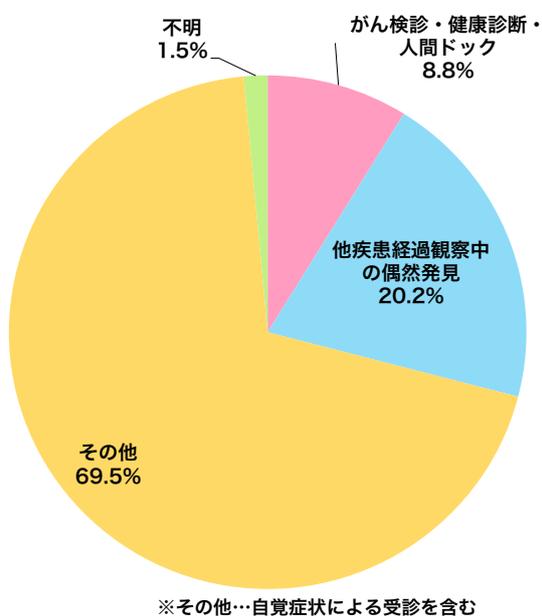
子宮（体部） ステージ 全体



子宮（体部） ステージ 性別

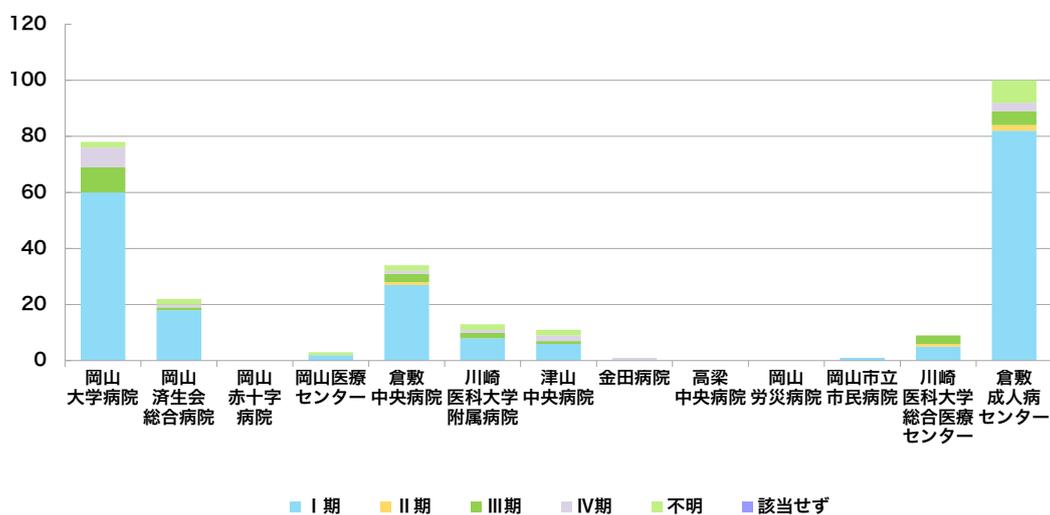


子宮（体部） 発見経緯 全体



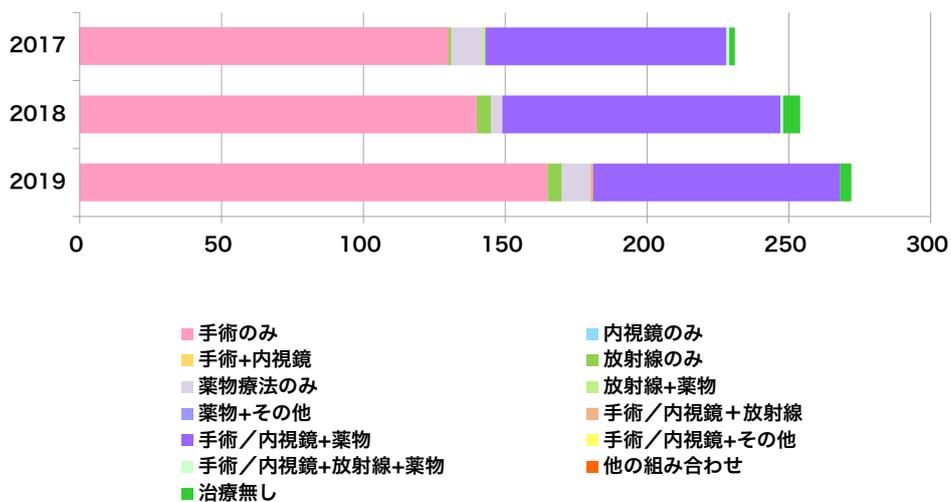
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	24
他疾患経過観察中の偶然発見	55
その他	189
不明	4~6
<b>合計</b>	<b>272</b>

子宮（体部） ステージ 施設別

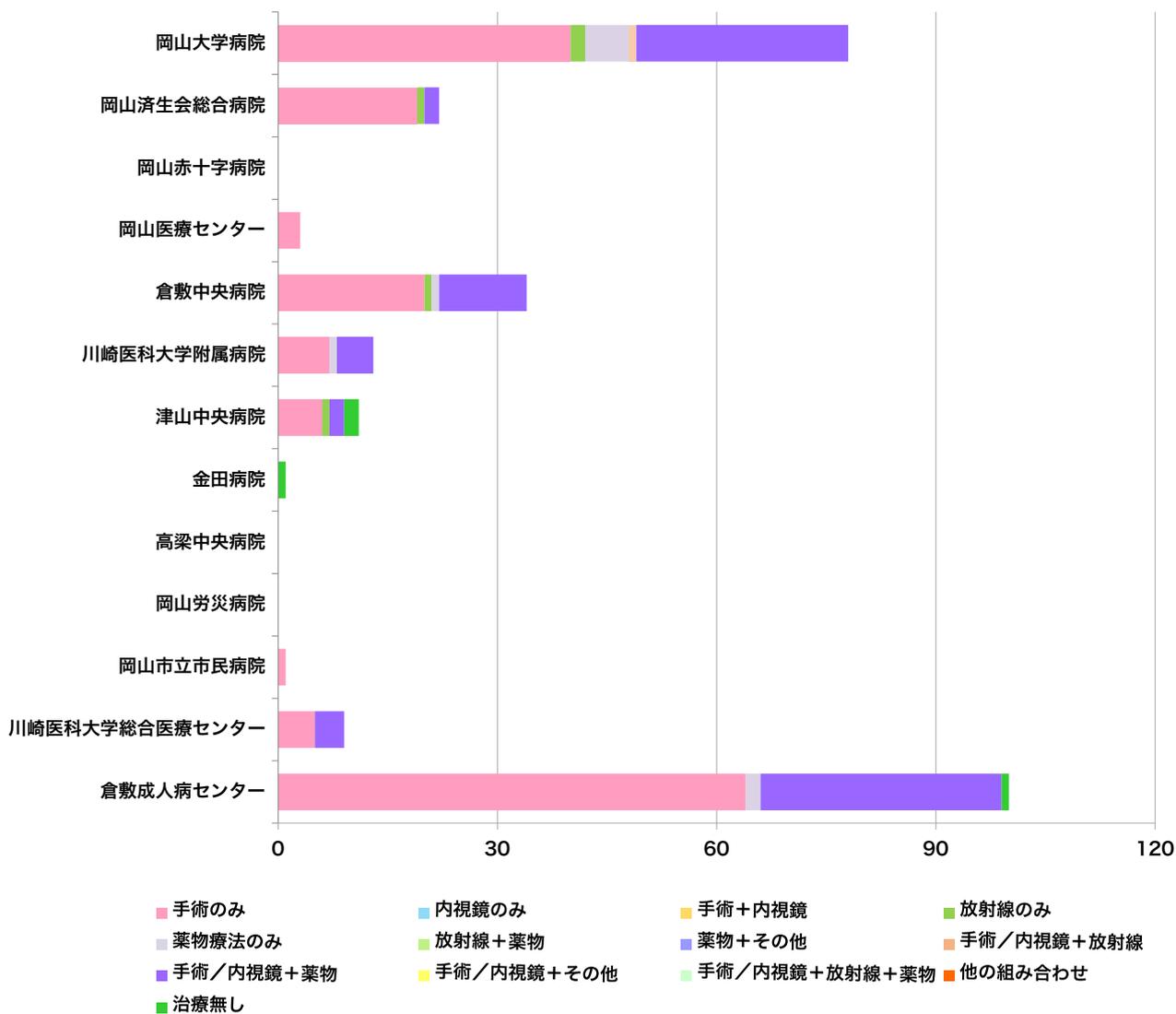


子宮（体部）

子宮（体部） 初回治療法 年次推移

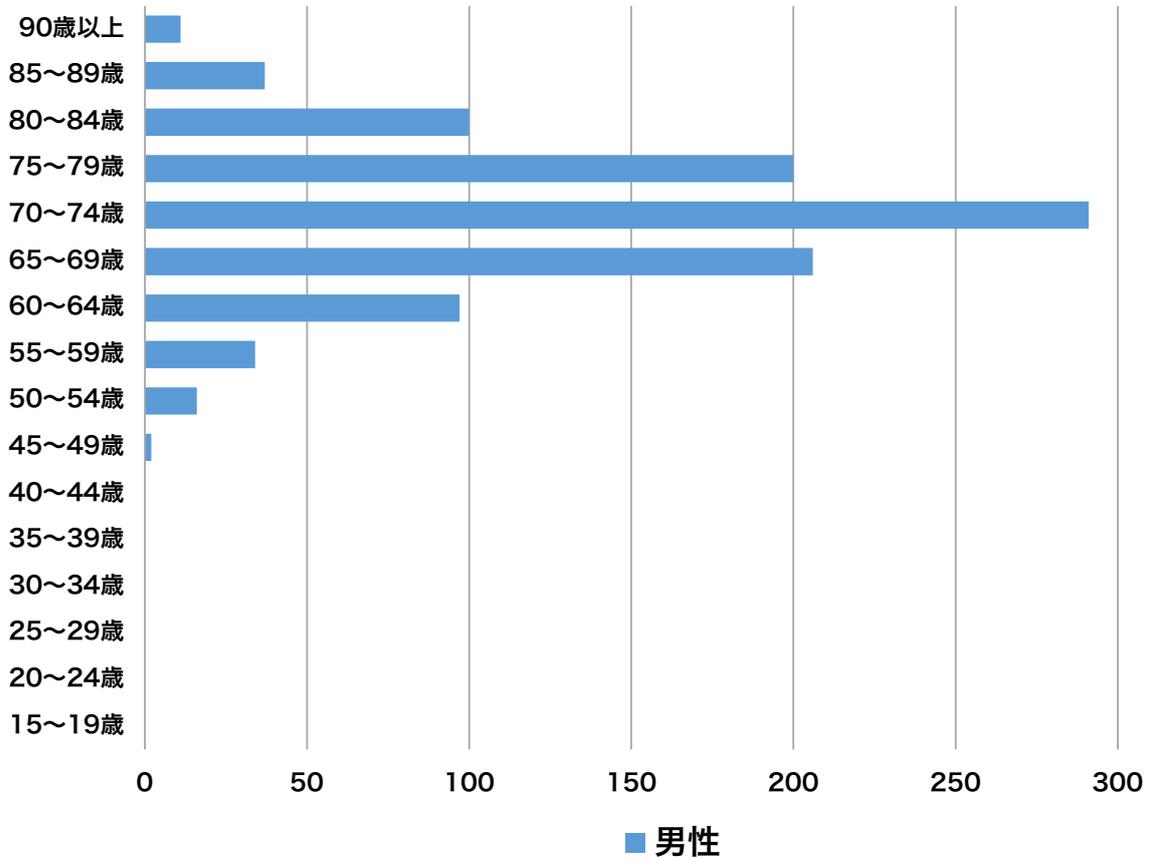


子宮（体部） 初回治療法 施設別

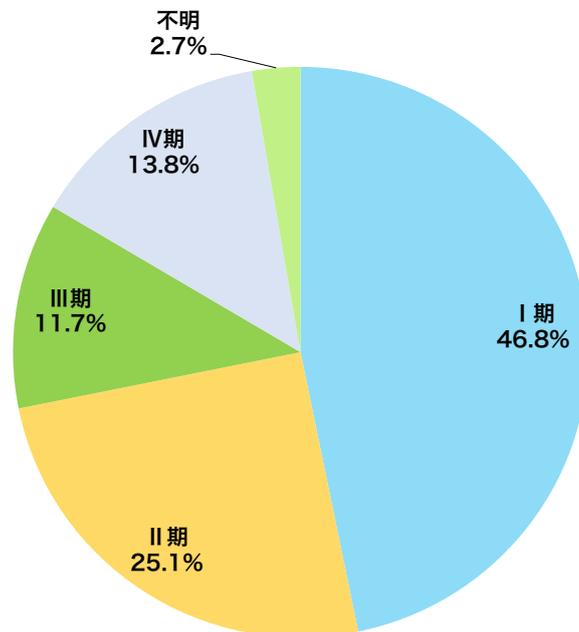


## 前立腺

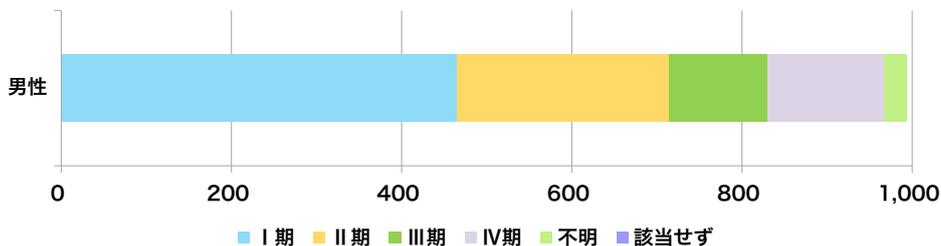
前立腺 年齢階級別



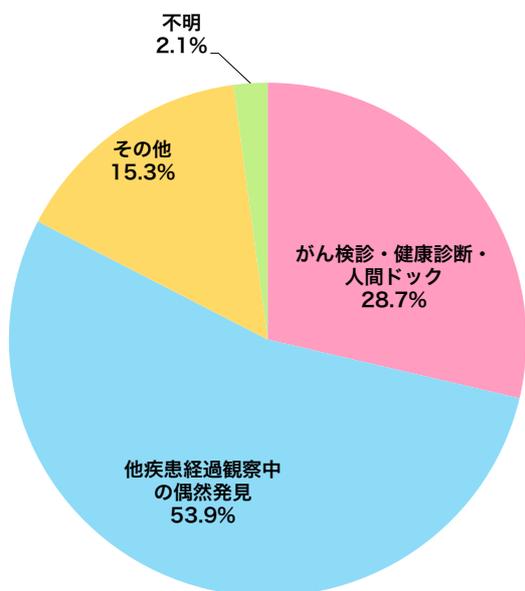
前立腺 ステージ 全体



前立腺 ステージ 性別



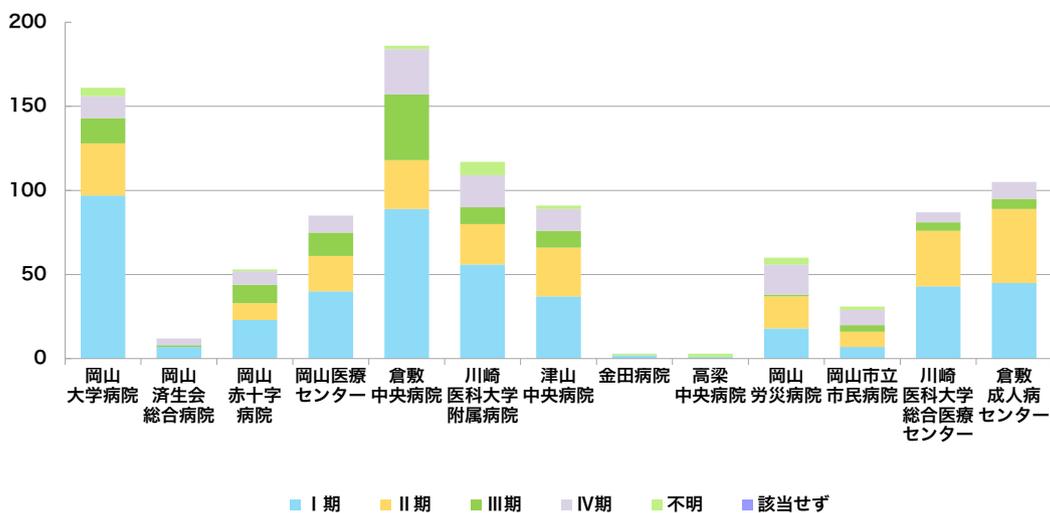
前立腺 発見経緯 全体



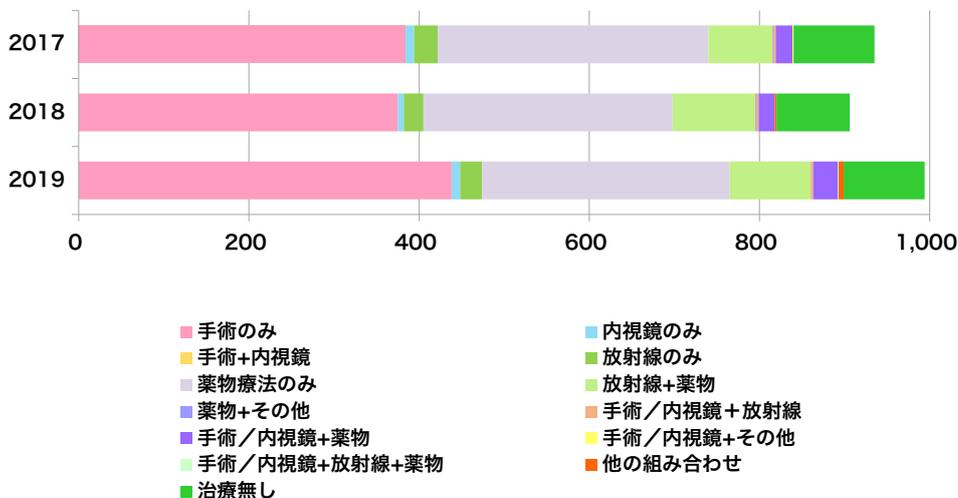
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	285
他疾患経過観察中の偶然発見	536
その他	152
不明	21
<b>合計</b>	<b>994</b>

※その他…自覚症状による受診を含む

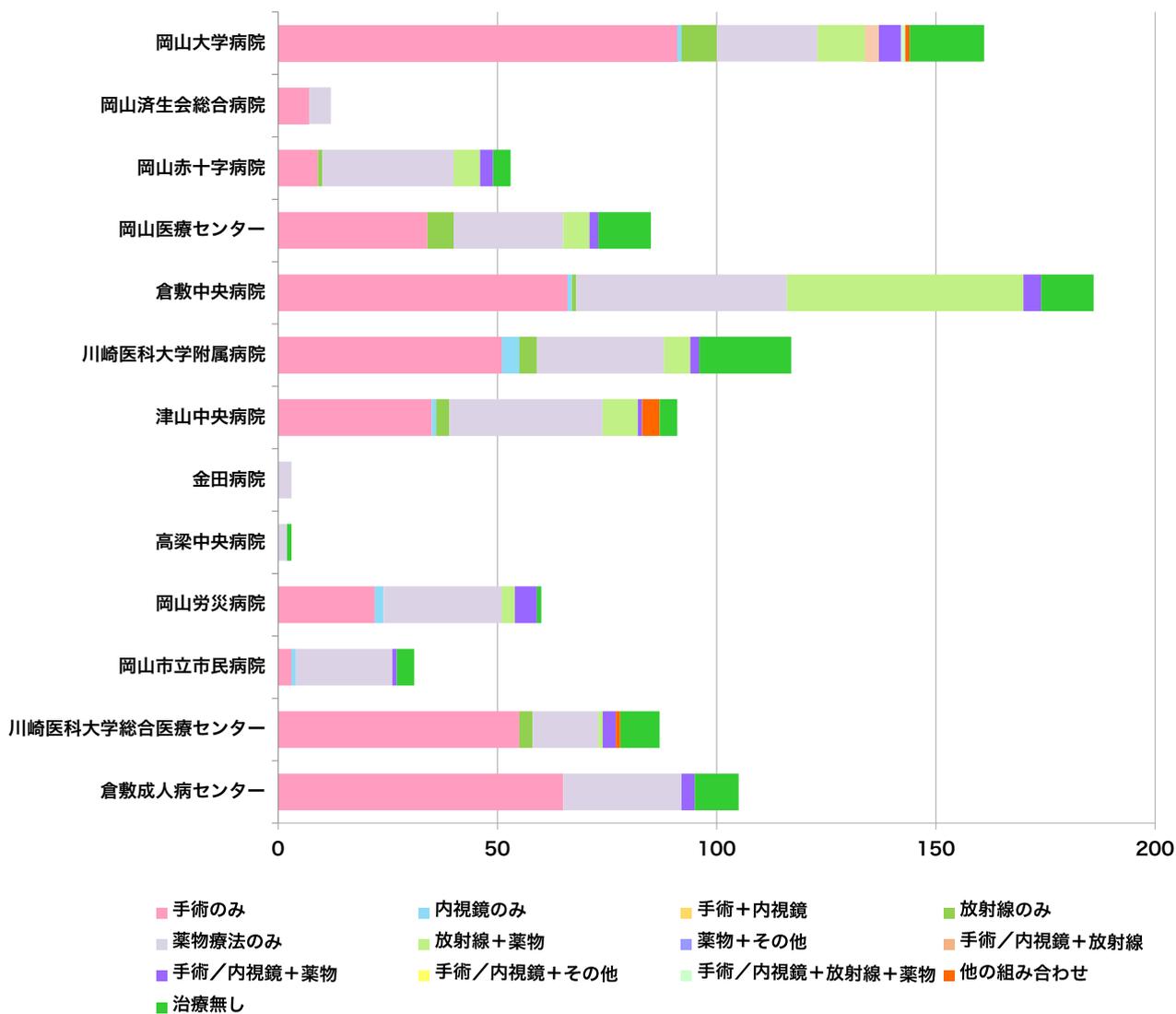
前立腺 ステージ 施設別



前立腺 初回治療法 年次推移

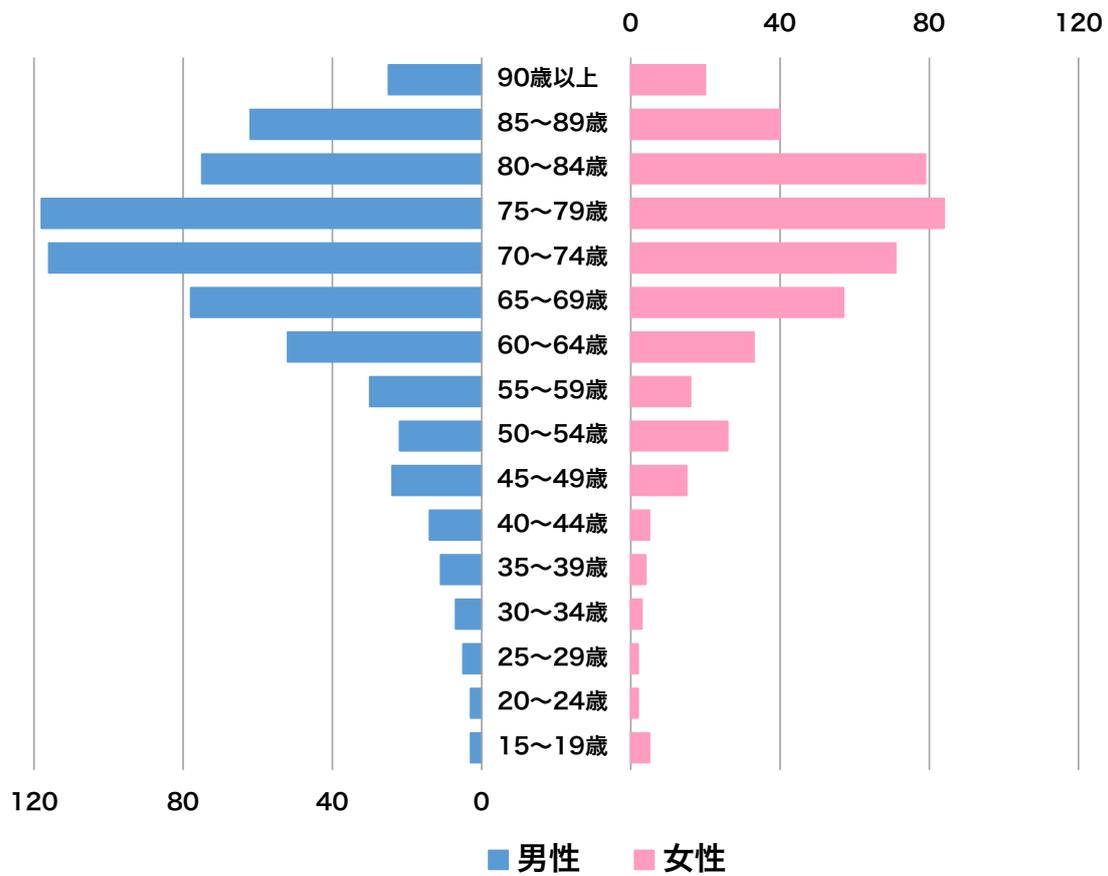


前立腺 初回治療法 施設別



## 血液腫瘍

血液腫瘍 年齡階級別

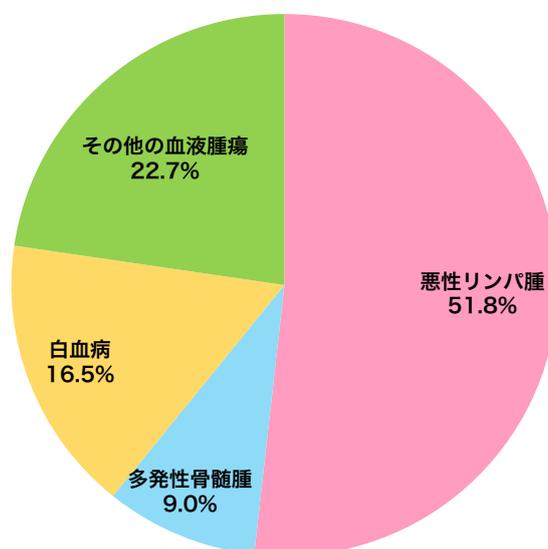


## 血液腫瘍 組織別登録数 年次推移

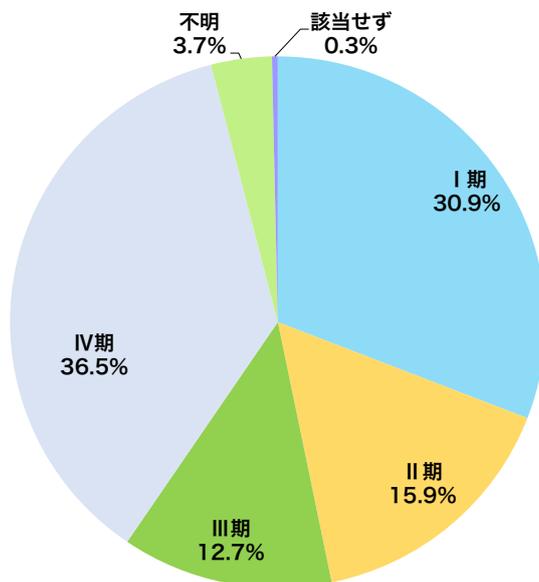
		2017	2018	2019	
悪性リンパ腫	成熟B細胞リンパ腫	びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫	241	249	280
		濾胞性リンパ腫	105	116	92
		辺縁層B細胞性リンパ腫	64	82	58
		成熟B細胞リンパ腫	31	28	48
	成熟T細胞及びNK細胞リンパ腫	43	49	51	
	ホジキンリンパ腫	21	26	25	
	悪性リンパ腫他	19	18	19	
多発性骨髄腫		102	94	100	
成人T細胞白血病/リンパ腫		4~6	11	7~9	
白血病	慢性骨髄性白血病	37	39	52	
	急性骨髄性白血病	76	74	74	
	慢性リンパ性白血病	7~9	7~9	12	
	急性リンパ性白血病	17	26	16	
	白血病他	7~9	10	20	
その他の血液腫瘍	骨髄異形成症候群	141	146	160	
	慢性骨髄増殖性疾患	38	58	74	
	その他※	18	24	17	
合計		974	1,059	1,107	

※9988/3：骨髄異形成症候群に伴う急性白血病など

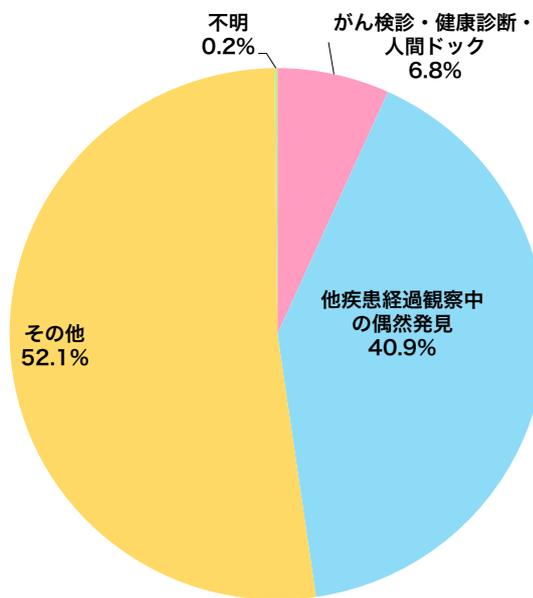
## 血液腫瘍 組織別登録数 割合（2018年症例）



血液腫瘍（悪性リンパ腫） ステージ 全体



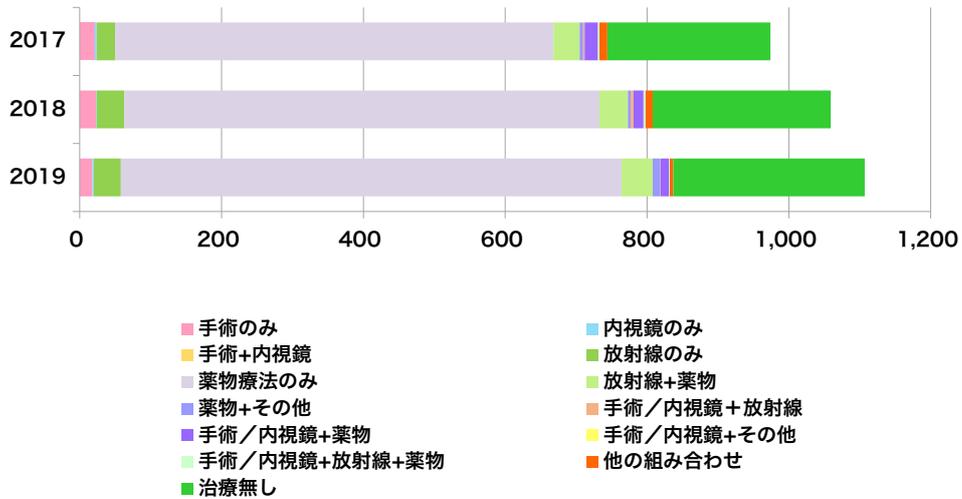
血液腫瘍 発見経緯 全体



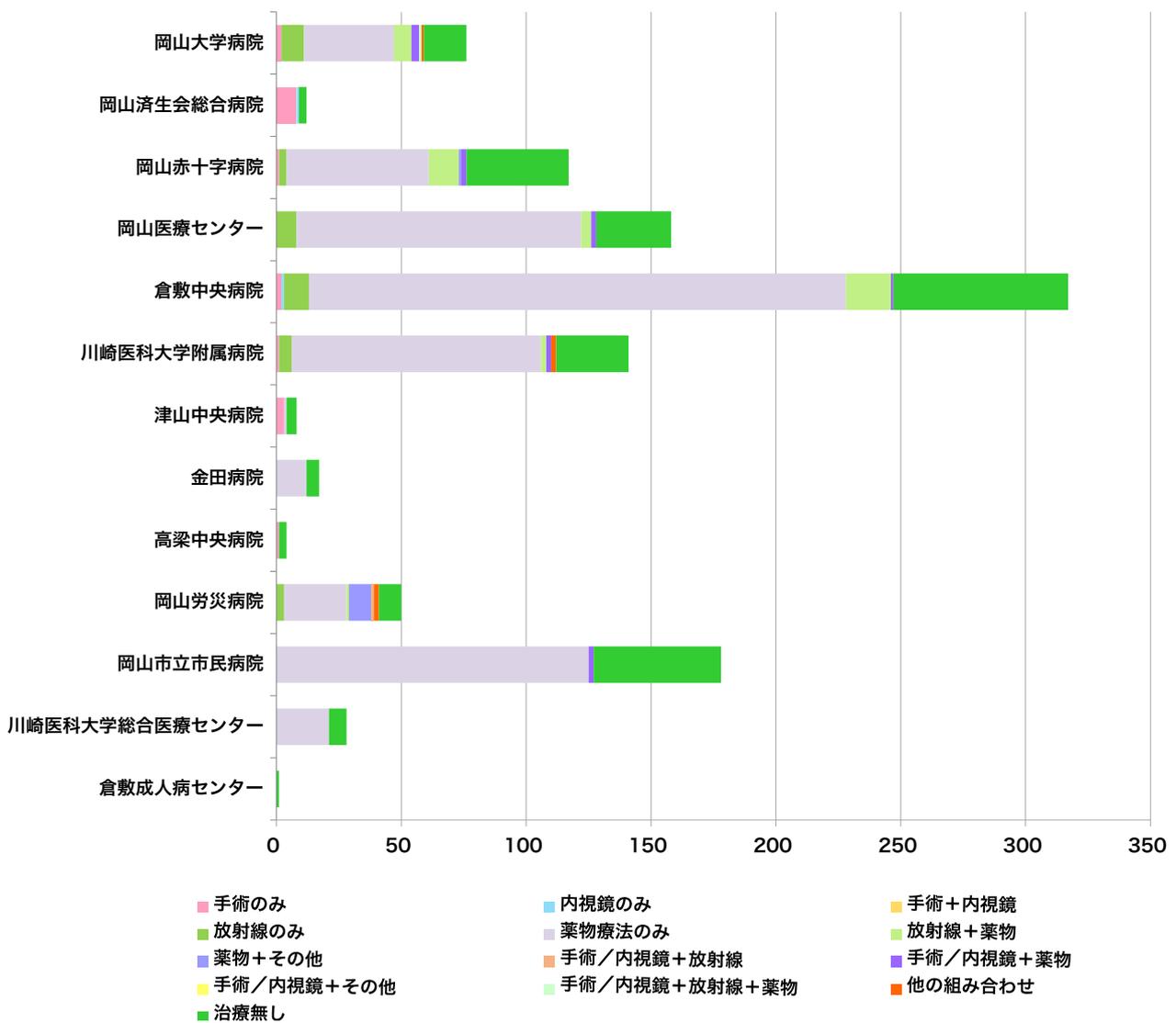
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	75
他疾患経過観察中の偶然発見	453
その他	577
不明	1~3
合計	1,107

※その他…自覚症状による受診を含む

血液腫瘍 初回治療法 年次推移



血液腫瘍 初回治療法 施設別

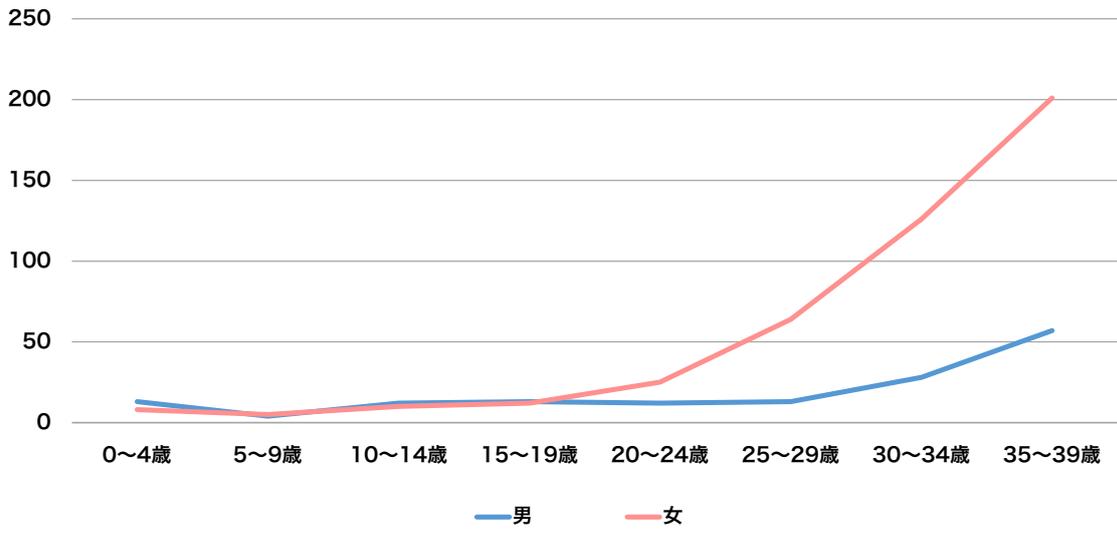


血液腫瘍

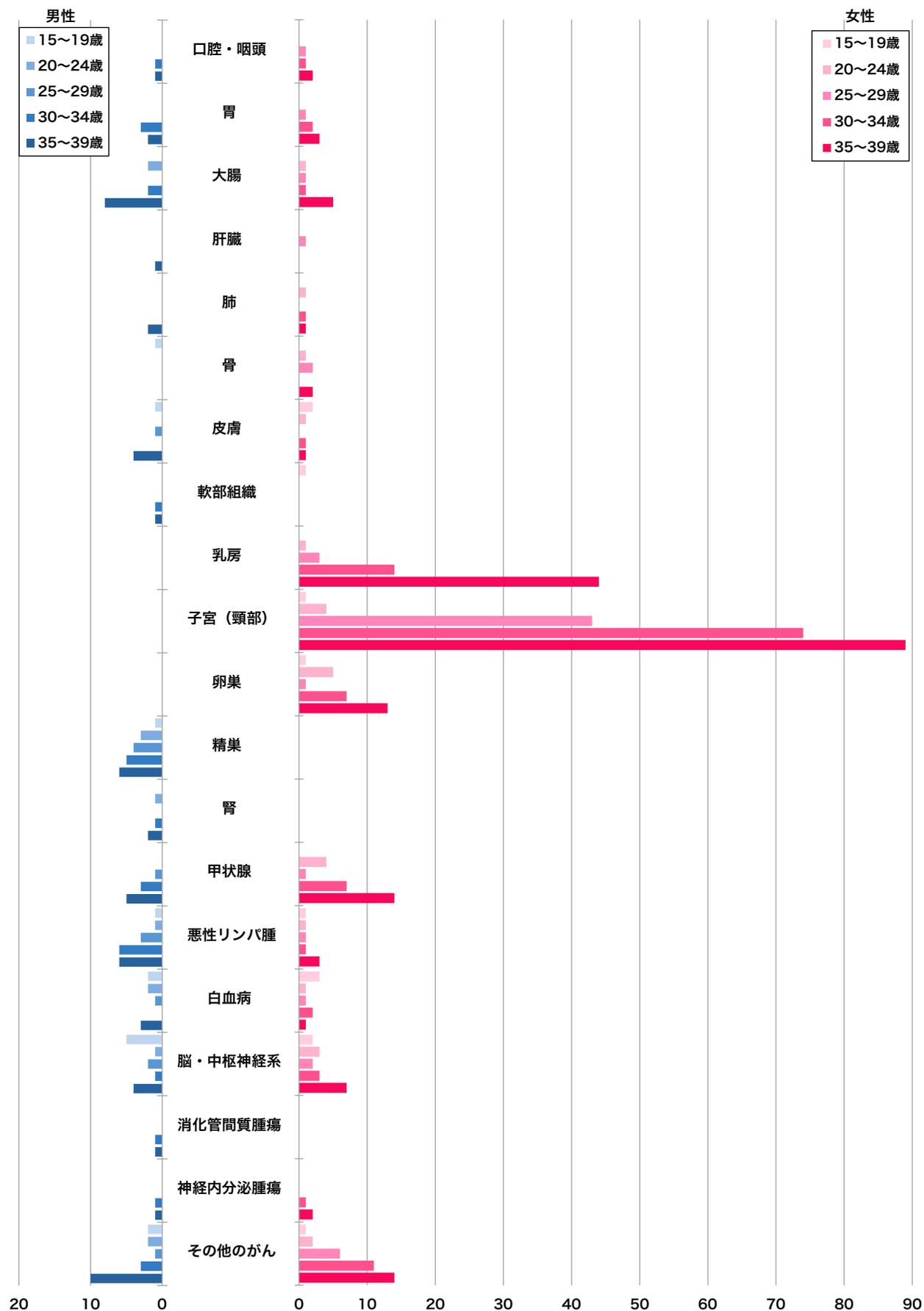


小児・AYA 世代

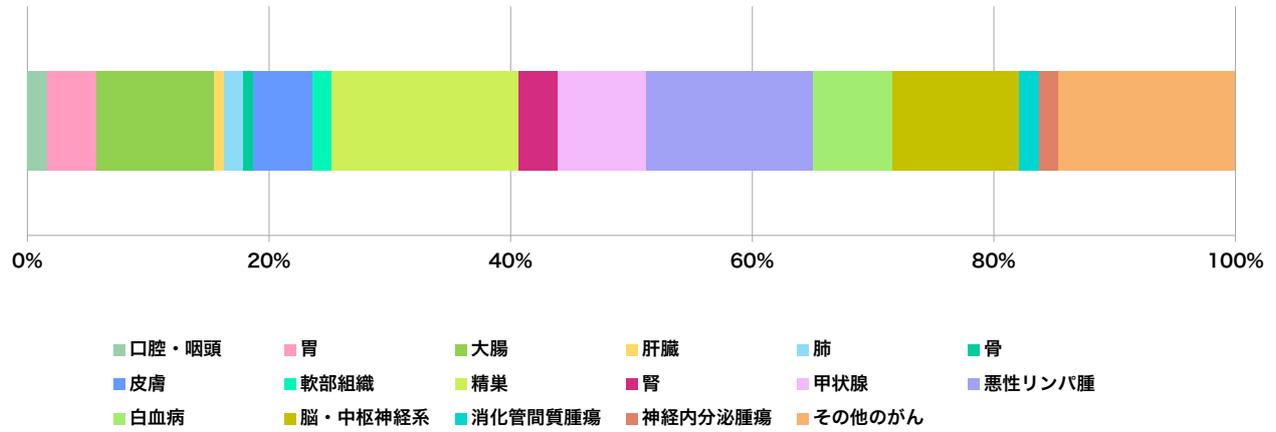
小児・AYA 世代 年齢階級別



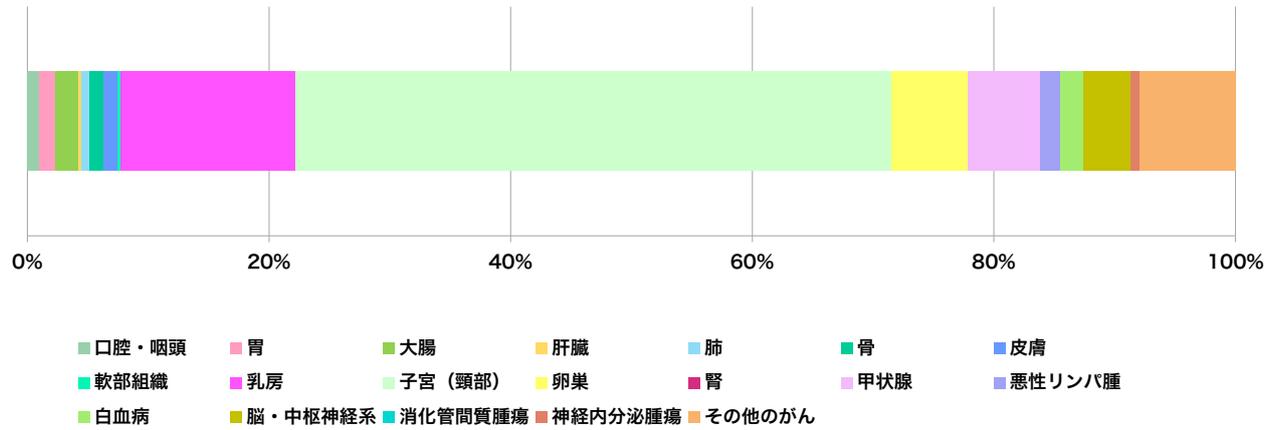
AYA世代 性別 部位別 年齢階級別集計



### AYA 世代 男性 部位別割合

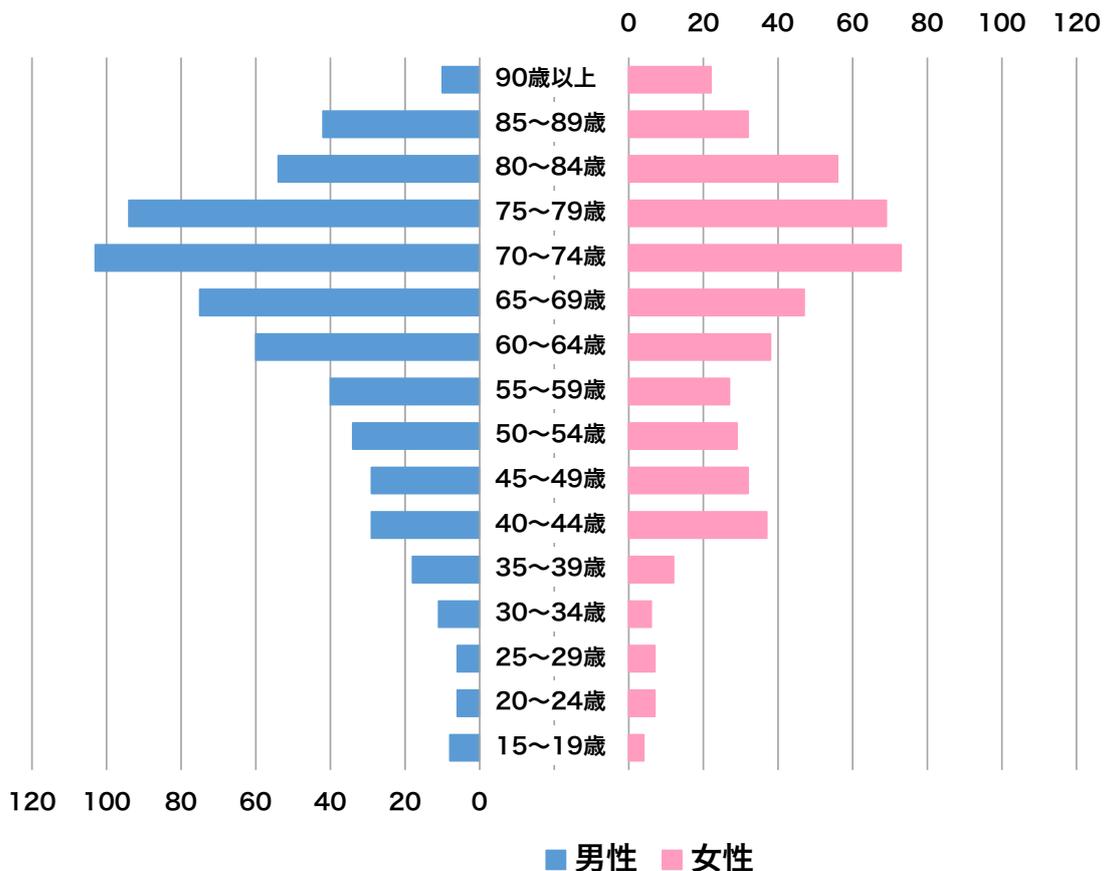


### AYA 世代 女性 部位別割合

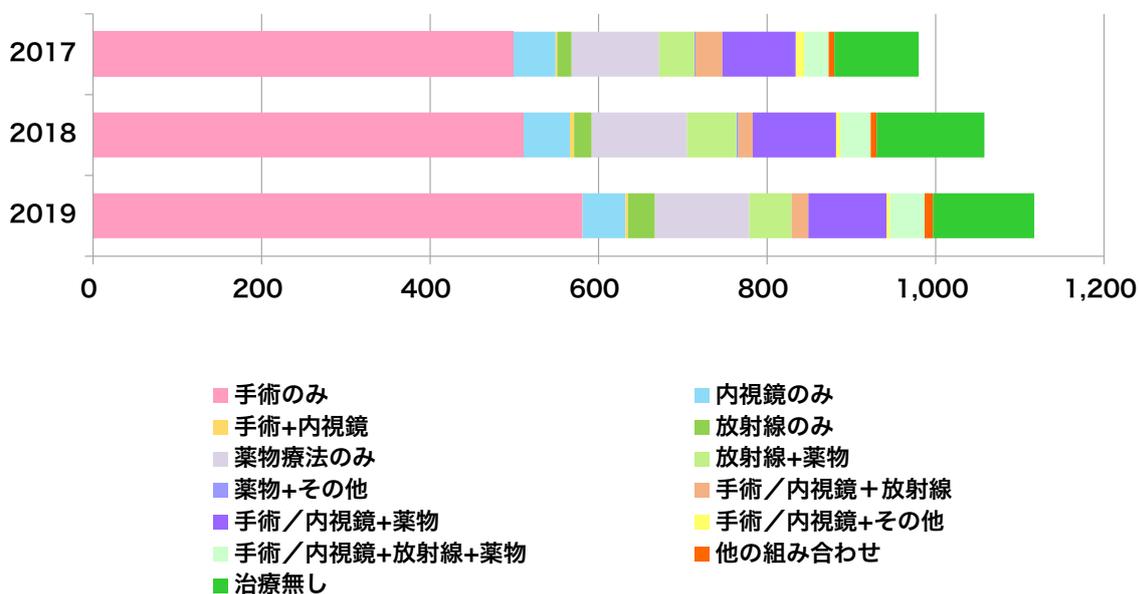


希少がん

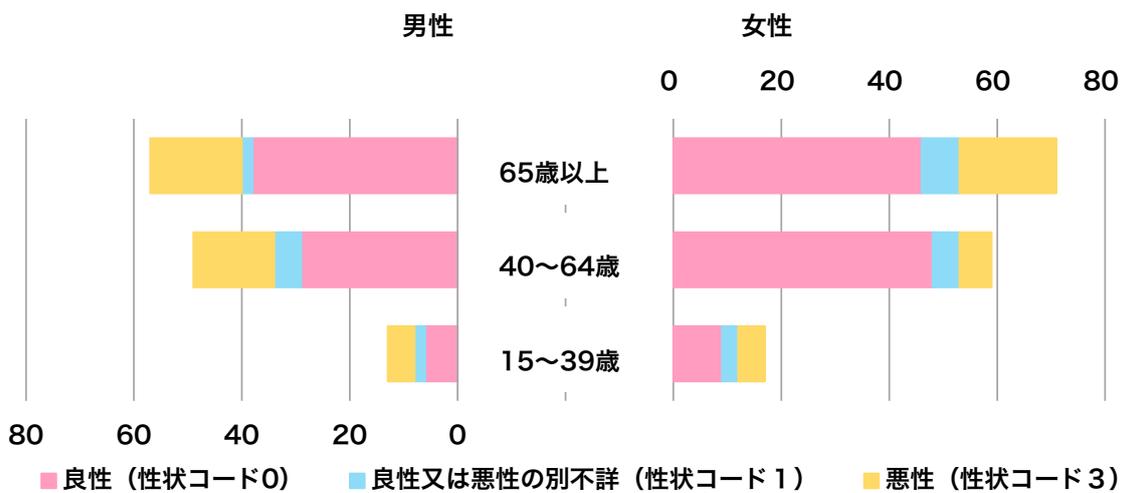
希少がん 年齢階級別



希少がん 初回治療法 年次推移



希少がん 脳・中枢神経 年齢 性別 良悪



発 行 岡山県がん診療連携協議会事務局（岡山大学病院）

発行日 2022年3月

本報告書に関する問合せ先

岡山県がん診療連携協議会事務局 岡山大学病院医事課

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

電話 086-235-7072

印 刷 友野印刷株式会社